



# 119情報

区連会 1月定例会  
令和7年1月21日  
都筑消防署

## ■ 区内の火災状況

都筑消防署

区分 / 年別		令和6年		令和5年		累計前年比 増△減
		12月	累計	12月	累計	
火災件数 (件)		2	18	5	34	△ 16
火災種別	建物火災 (件)	0	12	2	20	△ 8
	車両火災 (件)	0	3	2	5	△ 2
	その他の火災 (件)	2	3	1	9	△ 6
焼損面積 (㎡)		0	260	172	2,603	△ 2,343
死者 (人)		0	0	1	1	△ 1

【12月中2件】 12月12日 大熊町 その他火災  
12月18日 池辺町 その他火災

## ■ 区内の救急状況

救急車を呼ぶか迷ったら #7119



区分 / 年別		令和6年		令和5年		累計前年比 増△減
		12月	累計	12月	累計	
救急件数 (件)		1,073	10,987	1,054	11,176	△ 189
救急種別	急病 (件)	781	7,721	740	8,017	△ 296
	交通事故 (件)	73	582	60	548	34
	一般負傷 (件)	165	1,987	198	1,911	76
	その他 (件)	54	697	56	700	△ 3

※ 数値は速報値のため、変更になる場合があります。

令和7年1月29日訓練実施

# 第71回 「文化財防火デー」

都筑民家園 2018年撮影

みんなで作ろう文化財



住宅用火災警報器は**10年**を目安に

**点検 交換** をしましょう!!

詳しい点検方法やご案内は  
**都筑消防署**  
までお問合せください

☎045-945-0119

都筑消防署・都筑消防団・都筑火災予防協会

# ケガの予防：はさまれる

「はさまれる」は大人と乳幼児で多く発生しています。

## 1.世代に分けた主な事故

### 【高齢者】

- ・自動ドアにはさまれる



### 【大人】

- ・電車とホームの間に足がはさまれる



### 【子ども・乳幼児】

- ・ドアに手をはさまれる
- ・エレベーターのドアが開いたときに、戸袋に手をはさまれる



## 2.事故予防対策

- ・機械にはさまれると重症化…操作方法を知らない人は使用しないことはもちろん重機などには近寄らないようにしましょう。
- ・周囲の方が注意…ドアの開閉時に子供がどこにいるのかよく確認しましょう。

小さな子どもの事故は、ドアによるものが多く発生しています。  
ドアの隙間を保護する製品もありますので、取り付けるのも良いでしょう。



## 都筑消防署からのお知らせ

救急車は緊急時に使ってください！



救急隊員の生の声  
24時間頑張っています！



# 危険な“がけ地”の安全対策

県と市で分かれている相談先

もっとスピーディーに解決するために  
特別市制度が必要です!

## 「特別市」説明会

開催  
日時

2月13日(木)

15:00~16:30(開場:14:30)

【対象】

各自治会町内会の皆様  
委嘱委員等各団体の皆様  
地域で活動されている皆様

会場

都筑区役所6階大会議室

内容

山中竹春横浜市長による  
「特別市」講演など



詳しくは裏面をご覧ください。

ミライへの  
選択肢

# なぜ?特別市

がけ地などの防災対策はもっと早く  
対応できないの?



時間がかかる様々な原因の一つは、横  
浜市だけではできないことが多いこと  
です。それを解決するのが「**特別市**」です。



どうやったら特別市になれるの?



まずは特別市の法律をつくることが必要  
です。そのためには、**地域の皆様の理解**  
**が広く浸透していくことが必要**なんです。



説明会では、“特別市になるとどう変わるのか”

“皆さんの生活にどう関わるのか” 山中市長からご説明します。

特別市の実現に向けて、理解を深めてみませんか?

二次元コード又は同封の申込書から、説明会にお申込みいただけます。  
皆様のご参加をお待ちしています。



全ての自治会町内会長あてお送りしています。  
すでにお申し込んでいる方は再度のお申し込みは不要です。

## 「特別市」説明会参加申込書

2月7日(金)までに、本用紙をFAXいただくか、  
右の二次元コードからお申し込みをお願いします。



【送付先】 都筑区区政推進課 企画調整係あて  
FAX：948-2399

### 1 参加者

自治会町内会名	
---------	--

	氏名(ふりがな)	前回説明会 (R6.2.1開催)
(代表者) 参加者1	( )	参加・不参加
参加者2	( )	参加・不参加
参加者3	( )	参加・不参加
参加者4	( )	参加・不参加

※参加者が4名を超える場合は、担当(都筑区区政推進課)までご連絡ください。

代表者電話番号	—	—
---------	---	---

### 2 特別市について質問したい事項がございましたら、ご記入をお願いします。

--

## 特別市の実現に向けた機運醸成の取組について【情報提供】

### 1 趣旨

横浜市にふさわしい大都市制度「特別市」の早期法制化の実現に向けて機運を醸成していくための取組にご協力いただきありがとうございます。現在の取組状況と今後の取組について、ご説明させていただきます。

### 2 お願いしたいこと

【区連長】 ご承知おきください。

【地区連長】 地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】 単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

シンポジウムにお誘いあわせの上ご参加ください。「特別市」に興味のある方、よく知りたいという方のご参加をお待ちしています。

### 3 特別市に関する地域説明会

区連会の皆様にご協力いただき、各区で順次開催している特別市に関する地域説明会は、これまでに 11 区で開催しました。3 月までに全 18 区で開催する予定です。

#### <開催状況>

令和 6 年 12 月末時点

	開催日	開催区
1	8 月 28 日	泉 区
2	11 月 5 日	緑 区
3	11 月 7 日	保土ヶ谷区
4	11 月 27 日	中 区
5	12 月 4 日	神奈川区
6	12 月 9 日	港北区

	開催日	開催区
7	12 月 12 日	戸塚区
8	12 月 13 日	西 区
9	12 月 16 日	南 区
10	12 月 17 日	鶴見区
11	12 月 25 日	磯子区

- <内 容> ○「横浜市が目指す特別市とは」（説明者：山中 竹春 横浜市長）  
○ 意見交換・その他

## 4 国に対する働きかけの状況

### (1) 横浜市の取組

国の令和7年度予算編成が終盤を迎えつつある時機をとらえ、国の予算の確保等を図るため、「国の制度及び予算に関する提案・要望書」を取りまとめました。

11月21日に、古川直季 総務大臣政務官に対し、特別市の早期法制化の実現に関する要望を行いました。



(左から) 山中横浜市長、古川総務大臣政務官

### (2) 指定都市市長会の取組

11月18日に、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」を開催し、同日の指定都市市長会議において、「人口減少時代を見据えた多様な大都市制度の早期実現に関する提言（素案）」を採択しました。

11月19日に、久元 喜造 神戸市長（会長）・福田 紀彦 川崎市長（プロジェクト担当市長）から村上 誠一郎 総務大臣に「次期地方制度調査会における調査審議に関する指定都市市長会要請」を行うとともに、提言（素案）についても説明しました。

### (3) 国における動き

特別市などの大都市に関する制度等に関し、具体的な課題の整理及び対応の方策について議論を行うため、学識者などで構成される「大都市における行政課題への対応に関するワーキンググループ」が総務省に設置され、昨年12月16日に第1回の会合が開催されました。

## 5 「特別市」シンポジウムの開催結果

特別市の必要性や、特別市の実現による効果などについて分かりやすくお知らせするため、広く市民の皆様を対象としたシンポジウムを開催しました。

### <開催概要>

日 時：令和6年11月23日（土）14時～16時

会 場：港南区民文化センター ひまわりの郷

参加人数：240人

内 容：	第1部 基調講演	辻 琢也 さん（一橋大学教授）
	第2部 座談会	山中 竹春（横浜市長） 原 日出子 さん（俳優） 辻 琢也 さん（一橋大学教授）

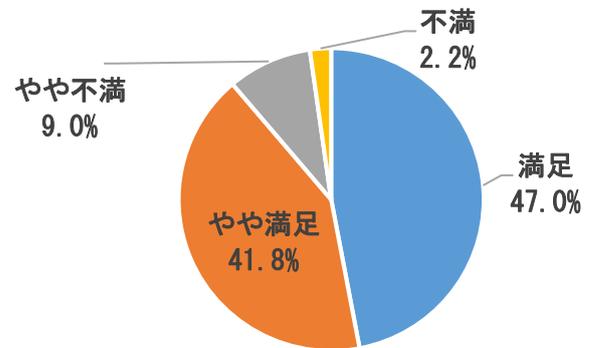
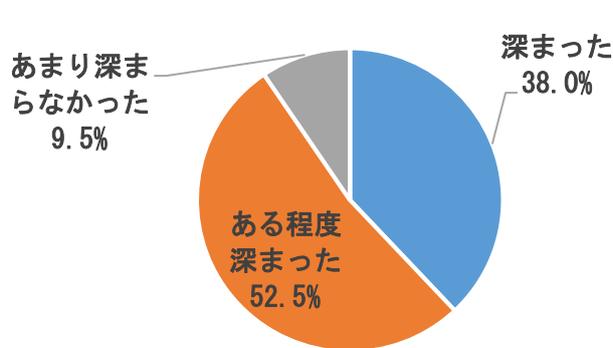
### <アンケート結果>

【質問】シンポジウムに参加して、特別市制度について理解が深まりましたか。

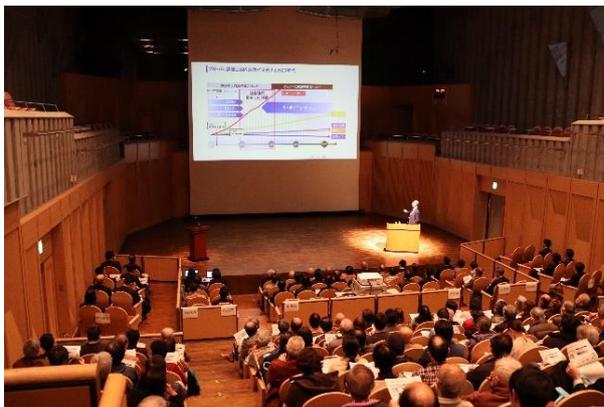
【質問】シンポジウムについての満足度をお聞かせください。

深まった・ある程度深まった 90.5%

満足・やや満足 88.8%



### <シンポジウムの様子>



基調講演



座談会

## 6 指定都市市長会シンポジウム

指定都市市長会との共催により、新たな大都市制度について分かりやすくお伝えするため、広く市民の皆様を対象にシンポジウムを開催します。

### (1) 開催概要

日時：令和7年3月8日（土）14時開始（13時30分開場）

会場：戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール

定員：300人（参加費無料）※申込者多数の場合は抽選

### (2) その他

今月の各区の区連会において、ご案内させていただくとともに、配送ルートにより、各単位町内会長宛てにチラシ兼FAX申込書を送付させていただきます。

#### 【シンポジウム担当】

政策経営局制度企画課 山口・鈴木

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

TEL:045-671-2952 FAX:045-663-6561

Eメール: ss-seidokikaku@city.yokohama.lg.jp

# 横浜市

# 未来の選択

横浜の未来を考える  
指定都市市長会  
シンポジウム  
～新たな大都市制度について～

登壇者



古川 直季氏  
総務大臣政務官



山中 竹春  
横浜市長



辻 琢也氏  
一橋大学大学院  
法学研究科教授

2025 (令和7年) 3/8 土

開始 14:00 開場 13:30

会場 戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール  
戸塚区総合庁舎内4階  
(JR・横浜市営地下鉄 戸塚駅西口 徒歩約2分)

定員 300名 参加費無料 (事前申込制)

参加申込みは  
こちら



お問合せ: 横浜市政策経営局制度企画課 TEL 045-671-2952

—主催—



—共催—



# 横浜の未来を考える指定都市市長会シンポジウム

～新たな大都市制度について～

## 登壇者プロフィール



### 山中 竹春

横浜市長

1972年生。早稲田大学政治経済学部卒、同大学理工学部数学科卒。博士(理学)。アメリカ国立衛生研究所(National Institutes of Health)研究員、国立がん研究センター部長、横浜市立大学特命副学長・同大学医学部教授などを歴任。世界気候エネルギー首長誓約(GCoM)理事(東アジア地域代表)、経済協力開発機構(OECD)チャンピオン・メイヤー。



### 古川 直季氏

総務大臣政務官

希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、同大学公共政策大学院修了。横浜銀行、議員秘書を経て1995年横浜市議員初当選(7期連続26年)、2021年衆議院議員初当選(第49回総選挙)、2024年衆議院議員当選(第50回総選挙)、2024年11月総務大臣政務官に就任(第2次石破内閣)。



### 辻 琢也氏

一橋大学大学院法学研究科教授

東京大学大学院博士(学術)  
専門分野: 行政学・地方自治論  
主な役職: 内閣府「税制調査会」委員、総務省「国地方係争処理委員会」委員長代理、横浜市大都市自治研究会座長、第30次・第31次地方制度調査会委員、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」アドバイザー。

## お申込み方法

# 申込締切: 3月5日(水)

※手話・筆記通訳をご希望の方は**2月26日(水)**までにお申込みください。  
※申込者多数により参加不可の場合は**3月6日(木)**までに連絡します。

WEB  
から

申込みフォーム →



FAX  
から

# 045-663-6561

●下の「FAX申込用記入欄」にご記入の上  
ご送信ください。

## アクセス

戸塚区民文化センター さくらプラザ ホール  
戸塚区総合庁舎内4階 (横浜市戸塚区戸塚町16番地17)

JR・横浜市営地下鉄  
「戸塚駅」西口から  
徒歩約2分

※シンポジウムに關しまして、  
会場へのお問い合わせは  
ご遠慮ください。  
※ご来館の際には、できるだ  
け電車・バスなど公共交通  
機関をご利用ください。



## FAX 申込用記入欄

フリガナ

電話番号

氏名

メールアドレス

年代

19歳以下  20代  30代  40代  50代  60代  70代  80代以上

居住地

横浜市内( )区  神奈川県内  神奈川県外

アンケート

- ①「特別市」について、知っていますか?  
 名称も内容もよく知っている  名称は知っているが、内容は知らない  名称も内容も知らない
- ②「特別市」について、質問があれば自由にご記載ください。

ご希望の方のみ

車いす席  手話通訳  筆記通訳 ※手話・筆記通訳をご希望の方は**2月26日(水)**まで

※参加証はございません。※申込にあたっていただいた情報は、シンポジウム申込者としての把握のためであり、目的外には使用いたしません。

## 指定都市市長会とは

横浜市をはじめ全国20の指定都市で構成。大都市行財政の円滑な推進と伸張を図ることを目的として、大都市共通の課題に関する調査・研究や、地方分権改革の推進、新たな大都市制度の創設、国の予算編成等に関する政策提言・意見表明を行っている。

## GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた取組状況について【情報提供】

### 1 事業の趣旨

GREEN×EXPO 2027 開催に向けた各事業の進捗状況について、情報提供させていただきます。

### 2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】ご承知おきください。

### 3 報告概要（詳細は別添資料をご確認ください。）

#### (1) GREEN×EXPO 2027 に向けた機運醸成の取組について

- ・イベントや国際会議におけるプロモーション
- ・公共空間を活用した公共プロモーション
- ・「GREEN×EXPO 2027」地域説明会の開催

#### (2) GREEN×EXPO を契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成の取組について

- ・ヨコハマ未来創造会議
- ・新規プロジェクト『STYLE100』

#### (3) 会場計画について

- ・EXPO で目指すゴール
- ・出展者等公募企業の状況
- ・イメージ図

CITY OF YOKOHAMA

別紙

# GREEN × EXPO 2027の開催に向けた 取組状況について

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER

# 目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

# 目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

# 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 イベントや国際会議におけるプロモーション

秋のイベントシーズンに合わせて区民まつりや大規模イベント等での集中的なプロモーションを展開  
国際会議においてPRブースの設置やセッションの実施等、国内外からの参加者に向けて情報発信

## 区民まつりでのPR、大規模イベント出展等

- ・秋の里山ガーデンフェスタ（9月～10月）
- ・新横浜パフォーマンス（10月）
- ・ワールドフェスタ・ヨコハマ（10月）・横浜マラソン（10月）
- ・Live!横浜（11月）



区民まつりでのPR



新横浜パフォーマンス:フォトコーナー



横浜マラソン:横断幕設置



Live!横浜:出展ブースのにぎわい

## 国際会議やEXPO関連事業でのプロモーション

- ・アジア・スマートシティ会議(ASCC) (10月)
- ・SDGs未来都市・環境絵日記展 (11月)
- ・国際熱帯木材機関 (ITTO) 理事会 (12月)



ASCC:GREEN×EXPO 2027セッションの様子



ASCC:セッション会場の様子



ASCC:ユースセッションの様子



SDGs未来都市・環境絵日記展:  
横浜市長奨励賞(GREEN×EXPO部門)の表彰

# 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 公共空間を活用した広報プロモーション

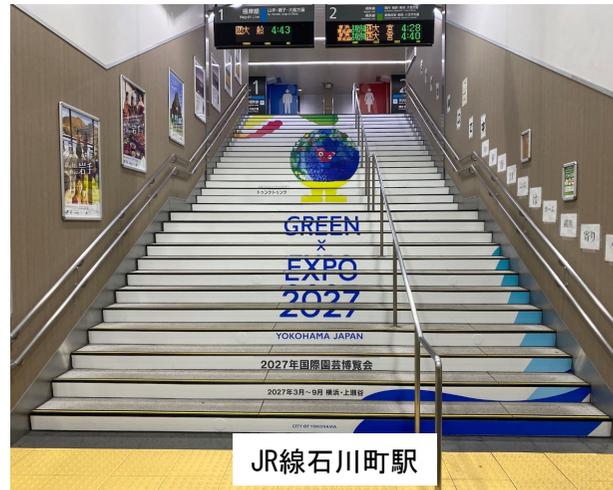
乗降客数が多い駅や公共空間において、令和6年10月から統一的なデザインによる階段広告等を実施

## ■階段広告

区	掲出場所
鶴見区	J R鶴見駅
神奈川区	J R東神奈川駅
西区	MM線みなとみらい駅、JR横浜駅
中区	MM線元町・中華街駅、JR石川町駅、新港サークルウォーク
南区	京急弘明寺駅
港南区	JR港南台駅
保土ヶ谷区	相鉄星川駅
旭区	相鉄二俣川駅
磯子区	J R磯子駅（フロア広告）
金沢区	京急金沢文庫駅
港北区	JR新横浜駅
緑区	JR十日市場駅、JR中山駅
青葉区	地下鉄あざみ野駅、田園都市線たまプラーザ駅
都筑区	地下鉄センター南駅
戸塚区	J R戸塚駅、JR東戸塚駅
栄区	JR大船駅
泉区	ゆめが丘ソラトス（相鉄ゆめが丘駅）
瀬谷区	相鉄瀬谷駅

## ■主要駅における広報プロモーション

乗降客数が多い横浜駅・新横浜駅を中心に柱巻き広告やトウクトウクのマスコットバルーンを設置



JR線石川町駅



横浜駅西口

※放映期間：R6. 11. 13～R7. 2. 14



横浜駅柱巻き広告



新横浜駅（～R6. 10. 11）

# 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

## 【18区の地域説明会開催の経緯】

- 令和6年3月29日に横浜市町内会連合会（市連会）から、『「GREEN×EXPO 2027」の成功に向けた機運醸成の取組の推進について』の意見書を受領

<意見書の主な内容>

地域において自然環境の保全などに取り組んでいただいている公園愛護会など様々な団体への説明も進めてほしい。

- 意見書をふまえ、日頃からGREEN×EXPOの開催意義・理念との親和性が高い、環境活動を担っている皆様に積極的にご参画いただきたいという趣旨から、5月から10月にかけて18区にて説明会を開催

## 【開催概要】

- ・ 対象：単位自治会・町内会、公園愛護会、水辺愛護会、ハマロードサポーター、環境事業推進委員、横浜の森づくり活動団体 等
- ・ 会場：各区公会堂、区民文化センター 等
- ・ 内容：①市長による講演（開催概要、地域活動とEXPOの繋がり等）  
②各環境活動団体の代表との意見交換
- ・ 参加人数：3,882人（全区合計）（18区平均215人）



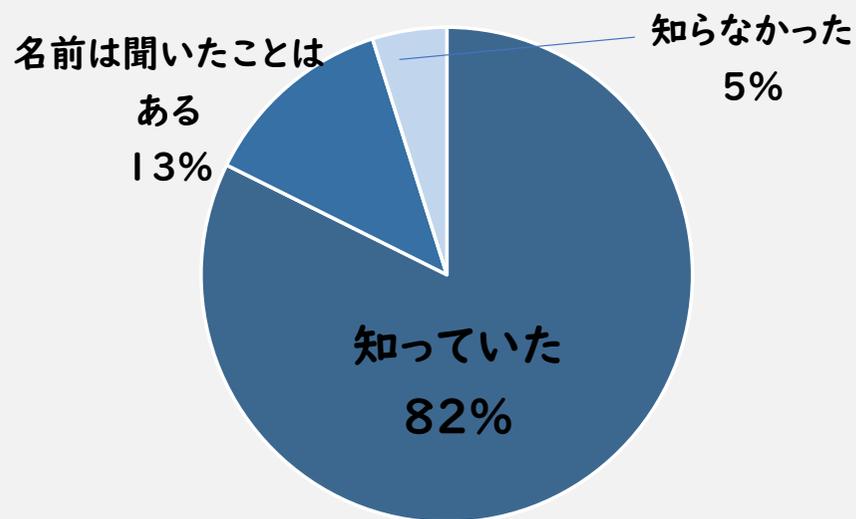
5月31日（金）泉区説明会 会場の様子

# 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成

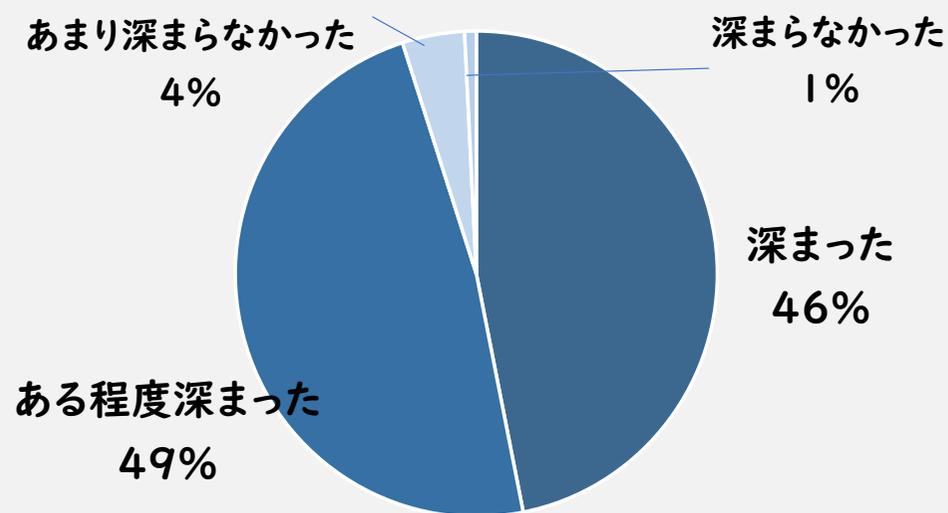
# 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

## ■参加者アンケート集計結果（18区全体）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027へどのような形で参加したいと思いましたか。（複数回答可）

1位 一般来場客としての参加

2位 ボランティア参加（植物・運営等）

3位 催事での参加（一般参加催事等）

4位 その他

5位 花緑での参加（出展、市民参加花壇等）

※自由意見欄でいただいたご意見・ご感想は、横浜市ホームページに掲載しています。

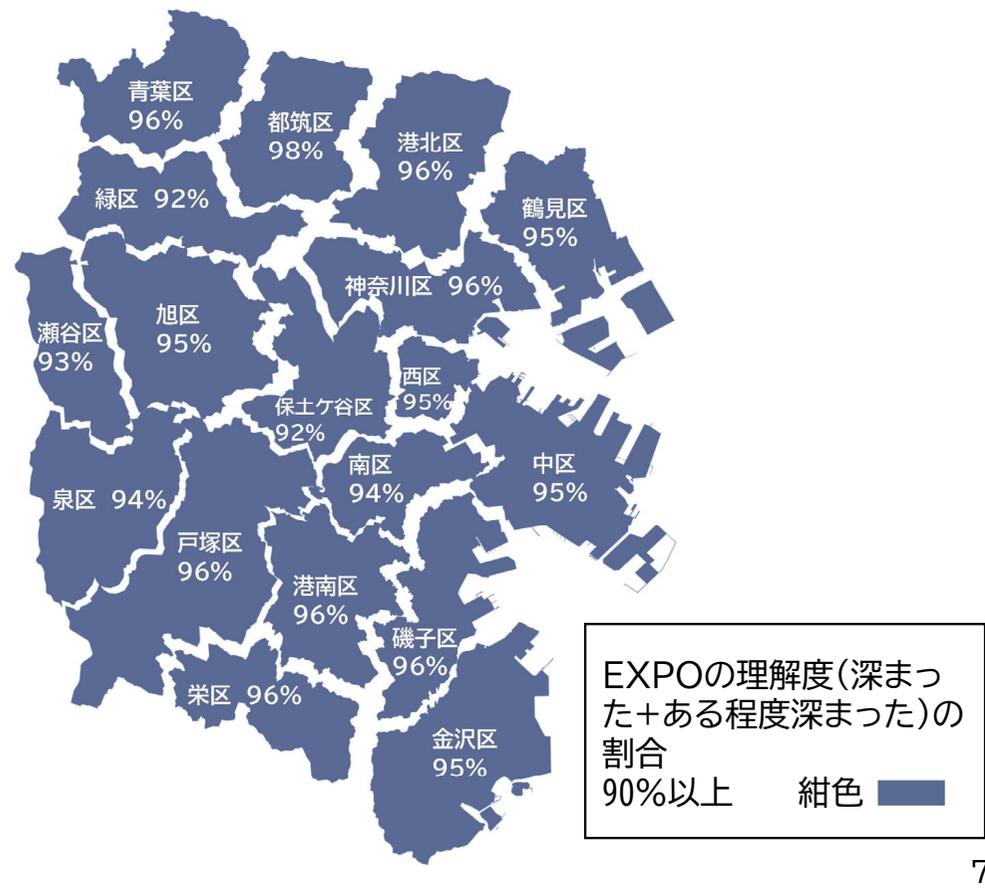
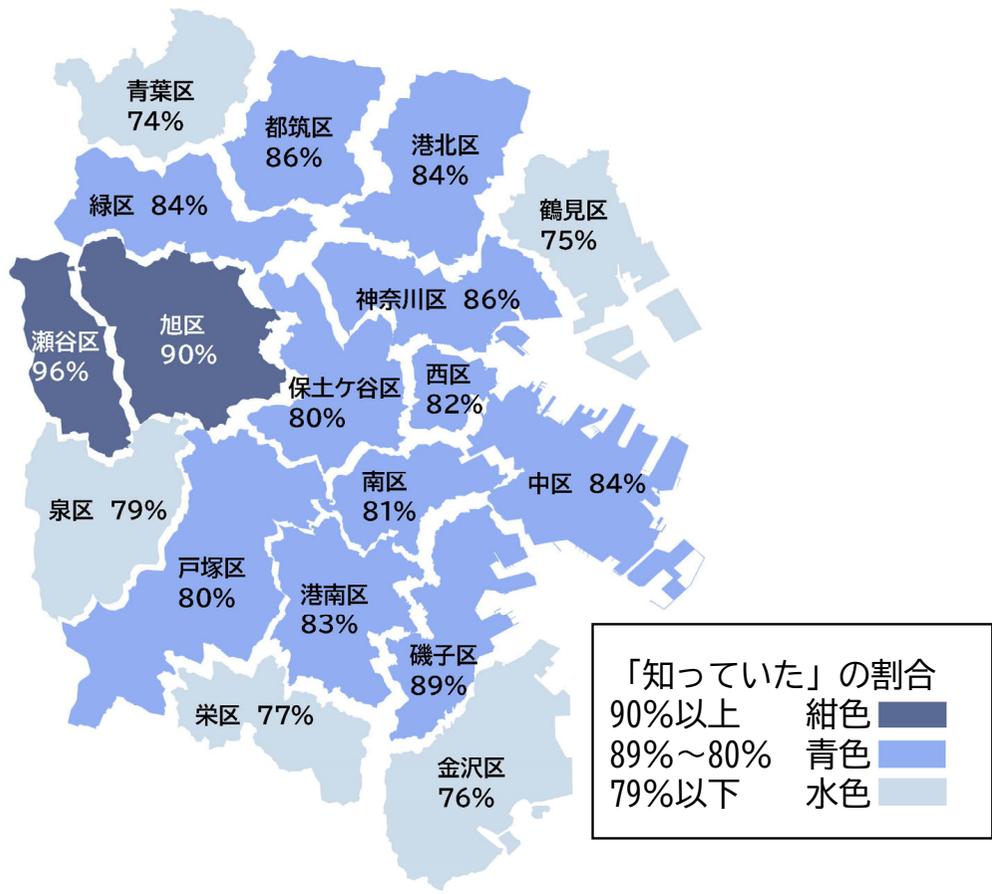
# 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成

# 「GREEN×EXPO 2027」地域説明会

## ■参加者アンケート集計結果（区別）

Q. 説明会に参加する前にGREEN×EXPO 2027の開催について知っていましたか。

Q. 説明会に参加してGREEN×EXPO 2027の開催意義や理念、そのほかの内容について、理解が深まりましたか。



# 目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画

## 2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議

グリーン社会に向けて取り組む「ヨコハマ未来創造会議」は、若者主体の環共アクションをGREEN×EXPO 2027で発信することを見据え、今年度は5つのテーマ別分科会が中心となって実証実験に向けて活動を進めています。



### ■ 「中間発表イベント」開催

- ・令和6年10月8日(火) @Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO
- ・大学生、企業の若手社員、メンター等 約50名参加

#### ＜主なプログラム＞

- ・ヨコハマ未来創造会議メンターによるクロストーク
- ・テーマ別分科会ワーク、メンタリング
- ・実証実験に向けた計画発表



実証実験に向けた計画を発表する分科会リーダー

◀メンタリングを受ける分科会



### ■ 「FUTURE DEMODAY 2024」開催 (予定)

- ・令和6年12月21日(土)
- 横浜の未来に繋がるファーストステップの活動と今後の展開を発表するピッチイベント



(イメージ画像)

会場：みなとみらい周辺

- ・令和6年12月22日(日)
- 横浜の未来に触れられるファーストステップの活動を紹介する展示イベント



(イメージ画像)

会場：横浜ワールドポーターズ (未来創造会議の応援パートナー施設)

## 2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 ヨコハマ未来創造会議（5つのテーマ別分科会）



サステナブルツーリズムから考える  
新たな観光要素「(仮)シン・ヨコハマ」の発掘!

- ▶横浜ならではのサステナブルな観光要素を創出し、観光を通じて持続可能な地球環境に向けた意識醸成を目指す



生物多様性と文化多様性を  
もっと身近に考えられるアクションとは？

- ▶生物と文化の多様性と繋がりを楽しく学ぶ機会を増やし、地域で生物多様性を身近に考え保全につなげていくことを目指す



横浜の海で植物が育てられたら？

- ▶海上における農業の可能性を追求し、農業に係る環境負荷低減や限りある水資源の有効活用を目指す



都会で自然と共存しながら  
メンタルウェルビーイングを高めるには？

- ▶自然環境と人々との接点を増やし、メンタルウェルビーイングとネイチャーポジティブへの意識醸成を目指す



フードサーキュラーを起点に子どもの可能性を  
最大化するには？～学校給食のフードロス～

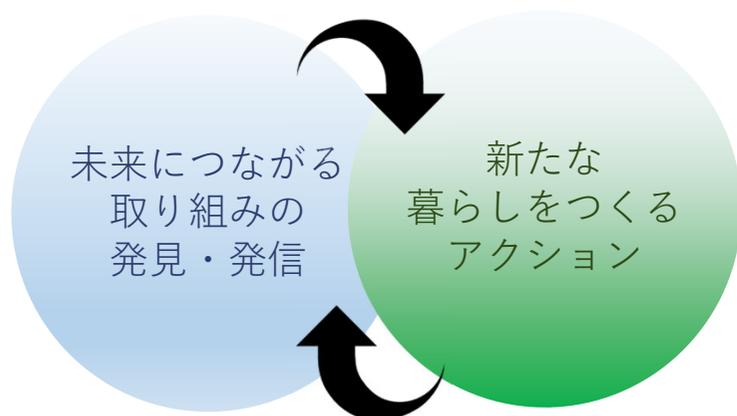
- ▶フードロスを削減し、環境負荷低減と家庭の食支援を目指す

## 2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

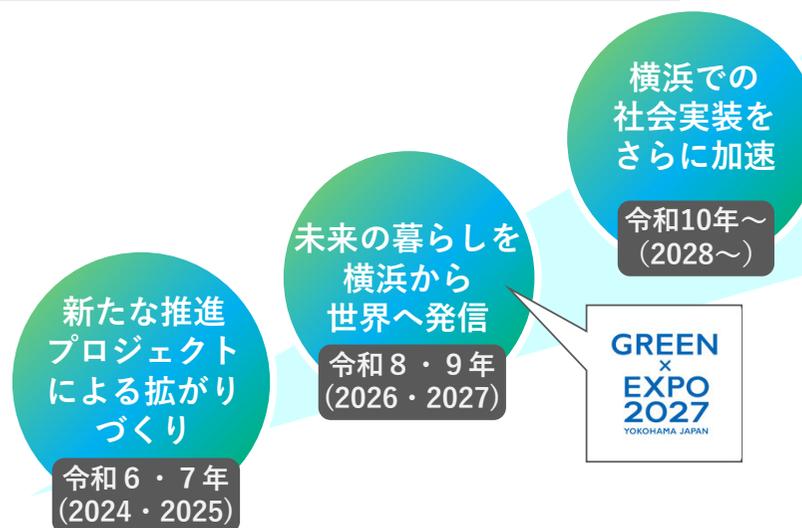


新たな  
グリーン社会へ

- 地球にやさしい未来の暮らしをつくる横浜の人や活動を紹介し、賛同者・参画者を増やしながら、新たなグリーン社会の実現を市民や企業と共に推進することを目的とした新プロジェクト「地球1個分で暮らそうSTYLE100」を立ち上げました。
- 横浜の市民・企業・団体が既に行っている、魅力的な取組・活動の実践事例を「STYLE」として取り上げ、広く発信していきます。
- あわせて、幅広いステークホルダーを巻き込みながら、新規アクションの取組を「STYLE」として創出し、GREEN×EXPO 2027も「STYLE」の実践の場、多くの方々への発信の場として、100の取組を目指していきます。



事業概念イメージ



ロードマップイメージ

## 2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- 12月5日にキックオフイベントを市役所アトリウムで開催し、実践事例として既に市内で稼働している4つの「STYLE」を紹介しました。
- 今後も様々な「STYLE」を創出し、GREEN×EXPOの開催までに100の「STYLE」の発信を目指します。



「エコハムスタジウムProject」として、観客と共に、ゴミ分別、フードロス削減、リサイクルといったエコな観戦スタイルを横浜スタジアムで実践。



賞味期限内でありながら廃棄されてしまう専門店のパンを購入できる「食品ロス削減SDGsロッカー」。新たな挑戦として、規格外（個性派）野菜販売を年度内に開始し、更なるフードロス削減へ。



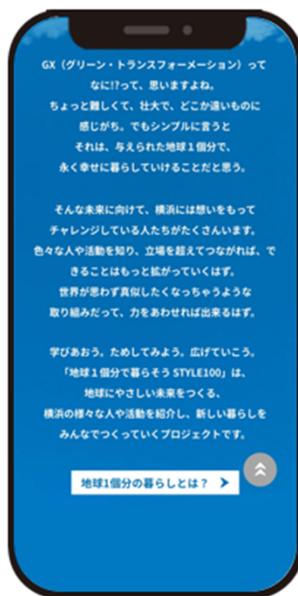
市内の小学5年生が毎年1万人以上、11回の実施で、延べ12万人以上が調査員として参加。大規模な市民参加型の生き物調査で生物多様性の保全に資する基礎データを分析。



JICAが実施する、営業スキルや栽培スキル向上によって農家の園芸所得向上を目指すプログラム。生産地と消費地が近い“都市型農業”のモデルケースとして、横浜の都市農業を世界に発信。

## 2 新たなグリーン社会につなげる機運醸成 新規プロジェクト『STYLE100』

- キックオフイベントでは、プロジェクト立ち上げの発表会を開催しました。
- 同日開設したWebサイト及びInstagramにより、横浜の多種多様な「STYLE」を発信・創出していくとともに、「STYLE」の募集も行っていく予定です。



Webサイト・Instagramイメージ

12月5日 STYLE100発表会

# 目次

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成
- 2 GREEN×EXPOを契機とした新たなグリーン社会につなげる機運醸成
- 3 会場計画**

### 3 会場計画 EXPOで目指すゴール

#### GREEN×EXPO 2027は地球課題解決の体験・実践を通じた私たちの意識・行動変容の場

自然の持つチカラを活用した地球課題解決方法としての【ネイチャー ベースド ソリューション】【サーキュラーエコノミー】をもって、「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」の実現を目指していきます。  
その姿をGREEN×EXPO 2027の会場、展示、各種アクティビティで表現し、意識・行動変容など具体アクションに導きます。



一人一人が、当たり前前に、地球環境や自然・植物と共生する意識を持ち、行動していく世界へ。

### 3 会場計画 出展者等公募企業の状況

- 10月1日に「Village出展」及び「花・緑出展」の**第一次内定発表会**が行われ、**それぞれ8件、223件の出展者が発表**されました。新しいグリーン社会の実現に向けたパートナーとして、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、ともに準備を進めていきます。
- 現在、「テーマ営業出店」及び「協賛」の募集のほか、「Village出展」及び「花・緑出展」の**第二次公募を実施中**です。



10月1日 第一次内定発表会

### 3 会場計画 イメージ図

- 今後、博覧会協会が出展者の皆様とともに、以下イメージ図を元に会場計画の更なる具体化を進めます。

**Urban GX Village**



CN、NP、CEが実現する都市暮らし 再生可能エネルギー

脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



**Farm & Food Village**



食の楽しさの再発見 アグリテック

健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。

**Craft Village**



伝統工芸 自然から生まれる食

自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。

**Kids Village**



自然・学び・遊び エデュテインメント

これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学びます。

**SATOYAMA Village**



生物多様性 環共市民活動

日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関わる  
市民意見募集の実施について【情報提供】

1 事業の趣旨

気候変動の影響により全国で水害が激甚化・頻発化しています。

雨に強い安全・安心なまちづくりを進めるため、これからの下水道による浸水対策をとりまとめた「(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン」を新たに策定します。

このたび、計画素案をとりまとめ、市民の皆様から広くご意見をいただくための市民意見募集を行っていますのでご周知をお願いします。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合町内会長会で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あてリーフレットを送付します。定例会等で周知をお願いします。

3 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

令和 6 年 12 月 24 日 (火) から令和 7 年 2 月 14 日 (金) まで

(2) 募集方法

オンライン (横浜市電子申請・届出システム)、電子メール、郵送、F A X

(3) リーフレット配布場所

意見募集用リーフレットを配布するほか、市ホームページに掲載します。

各区役所広報相談係、市役所市民情報センター、

下水道河川局マネジメント推進課

オンライン回答



素案 HP



4 その他

広報よこはま 12 月号でお知らせしているほか、記者発表も行っています。

5 スケジュール (予定)

令和 7 年 3 月 市民意見募集の結果公表

計画公表

6 添付資料

(仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関する市民意見募集リーフレット

下水道河川局マネジメント推進課

担当 河本、堀田

電話 045-671-2838 /FAX 045-664-0571

メール gk-management@city.yokohama.lg.jp

## (仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) の概要

浸水には、河川が溢れて発生する浸水（洪水）と下水道の排水能力が不足することなどにより発生する浸水（内水）があります。本プランは、気候変動を踏まえた今後の下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた計画です。

ポイント① 雨の強さにより、3段階の目標を設定し、防災・減災対策を進めていきます。

- ◆ **防災対策**：下水道施設を整備する基準となる降雨を 1.1 倍に引き上げ、下水道施設を整備
- ◆ **減災対策**：市民の皆様生命や財産を守るため、新たに2段階の目標を設定し対策を推進
  - ・ 1 時間に 100 ミリの降雨で、床上浸水をできる限り防ぐため、雨水の流出抑制などを実施
  - ・ 1 時間に 153 ミリの降雨で、安全な避難行動を促すため、ハザードマップを普及啓発



図1 3段階の目標と対策

ポイント② 新たに「事前防災」の観点で、下水道の施設整備を進めていきます。

- ◆ これまでは浸水が発生した地区を優先して整備してきており、対策が進んできています。
- ◆ 一方、気候変動で雨の降り方が変わってきており、過去に浸水被害が起こってない地区についても浸水シミュレーションを活用し、浸水が想定される地区について下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 今後 20 年間で、浸水が想定される地区の中から、浸水した際の影響が大きい地区（約 250 地区）の下水道施設の整備を進めます。
- ◆ 整備を実施する地区は、緊急性や効率性を考慮し、4年ごとに策定する「横浜市下水道事業中期経営計画」で選定します。

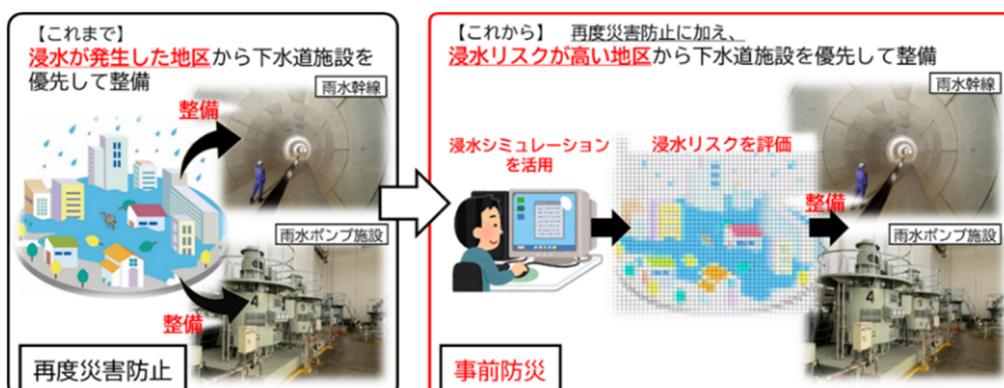
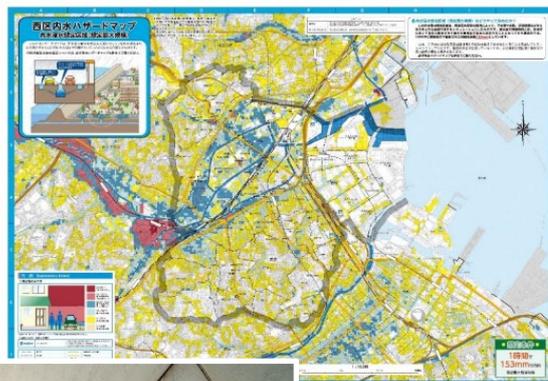
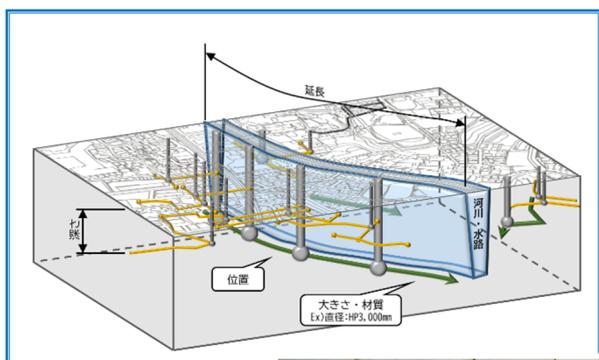


図2 事前防災の推進

# (仮称) 横浜市下水道浸水対策プラン (素案) に関する市民意見募集



市民の皆様の意見を募集します。

意見募集期間：令和6年12月24日（火）から令和7年2月14日（金）まで

## 1 計画の位置づけ

浸水には、河川から溢れて発生する「外水氾濫」とまちに降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水氾濫」があります（図1）。下水道は、まちに降った雨水（内水）を排除する役割を担っており、河川等に放流するための雨水管やポンプ場、貯留施設等の施設整備を行っています（図2）。

今回策定する（仮称）横浜市下水道浸水対策プランは、これまでの浸水対策の進捗状況や気候変動の影響を踏まえた雨に強い強靱なまちづくりを一層推進することを目的として、これからの下水道による浸水対策の目標や進め方などを定めた浸水対策のマスタープランです。

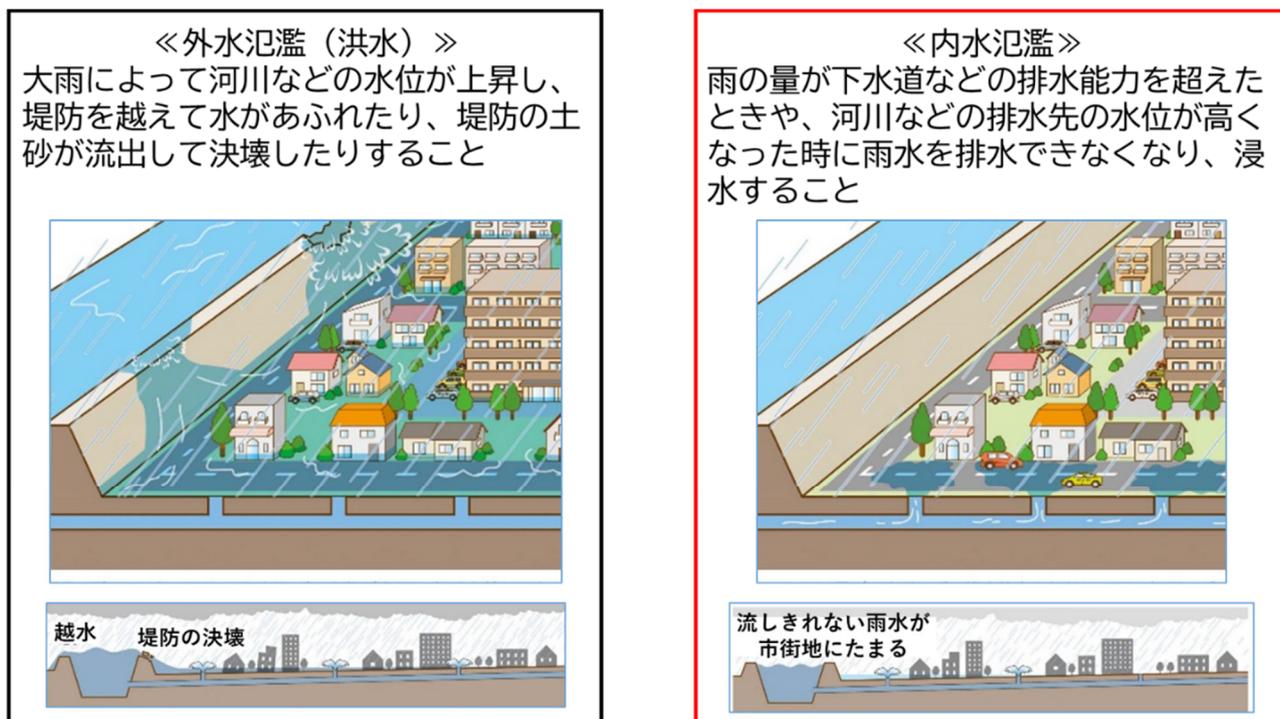


図1 浸水の種類

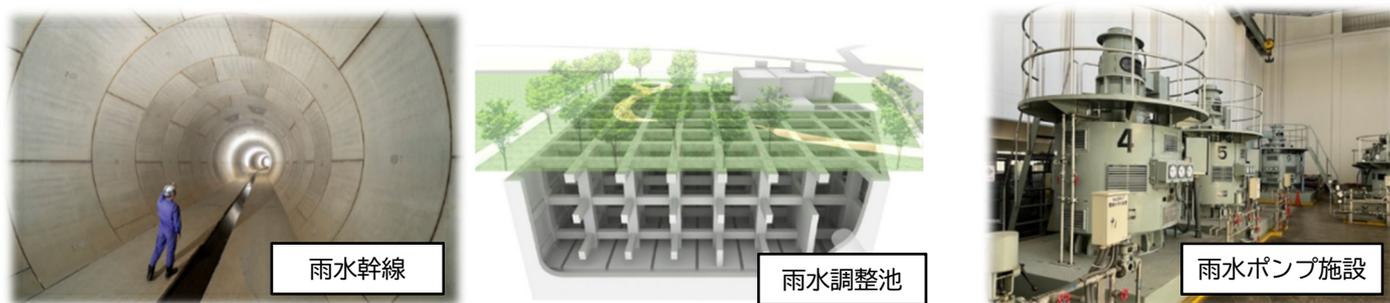


図2 目標整備水準に対する下水道施設の整備

## 2 浸水対策の現状と課題

これまで再度災害防止の観点で浸水が発生した地区を優先して下水道施設の整備を進めてきており、令和7年度末までに、浸水が発生した地区のうち、約9割で整備が完了する予定です（図3）。

一方で、気候変動の影響により日本全国における1時間あたり50mm以上の強い雨の発生回数は、約50年で1.5倍に増加（図4）しており、国が示す予測では、2040年ごろには本市の降雨量が現在の1.1倍に増加するとされています。

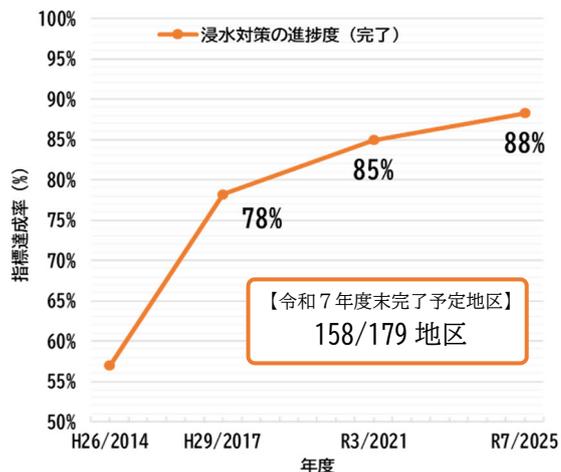


図3 浸水対策の進捗度

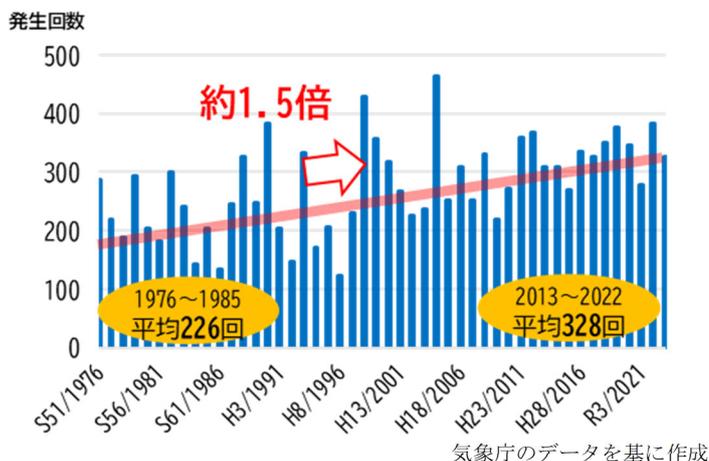


図4 全国の1時間あたり50mm以上の降雨の発生回数推移

## 3 これからの浸水対策の考え方

気候変動の影響により雨の降り方に変化が生じていることを踏まえ、防災・減災の観点から、新たな防災目標と新たに2つの減災目標を設定し、ハード・ソフトの両面から効率的・効果的に浸水対策を推進していきます（図5）。



※目標整備水準：下水道施設を整備する基準となる降雨

図5 新たな目標の設定

## 4 防災対策

### (1) 目標整備水準の見直し

気候変動の影響により降雨量が増加する予測が示されていることから、国土交通省から示されている降雨量の変化倍率（1.1倍）をもとに、これまでの目標整備水準を引き上げ、雨水幹線やポンプ場、貯留施設等の下水道施設の整備を強化していきます（図6）。

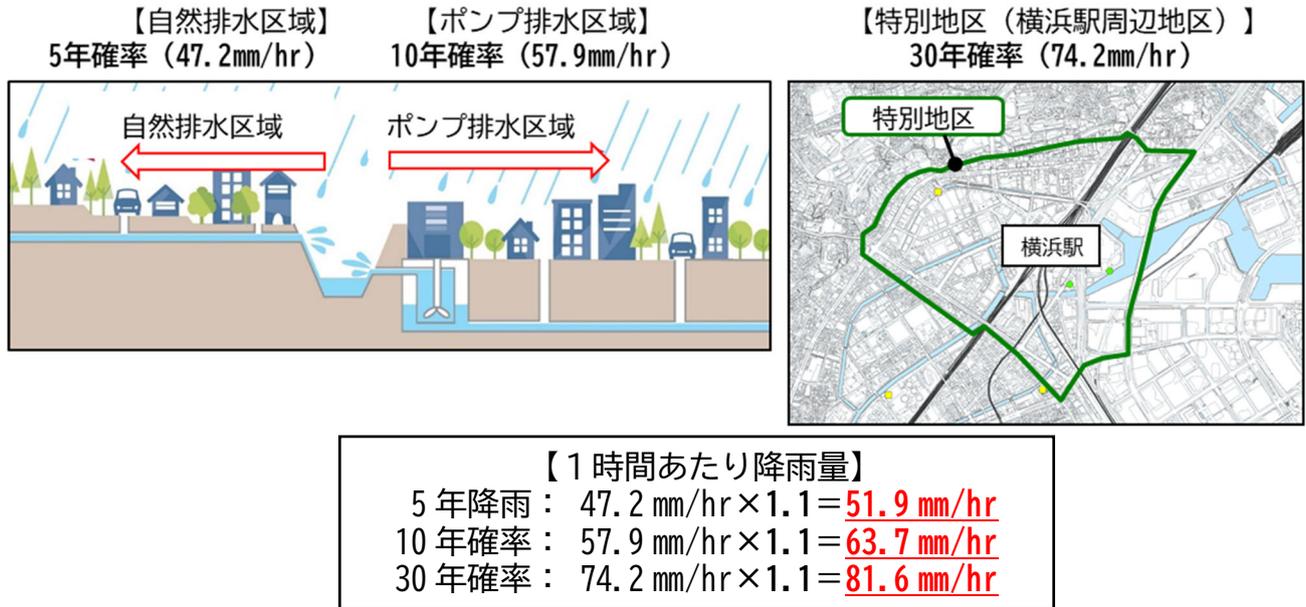


図6 気候変動を踏まえた目標整備水準

### (2) 事前防災の観点による浸水対策の推進

これまでの「再度災害防止」の観点に加え、今後は「事前防災」の観点から本市特有の精緻な浸水シミュレーションを活用して浸水リスクを評価し、浸水リスクの高い地区から優先順位を定め、下水道施設整備を推進していきます（図7）。

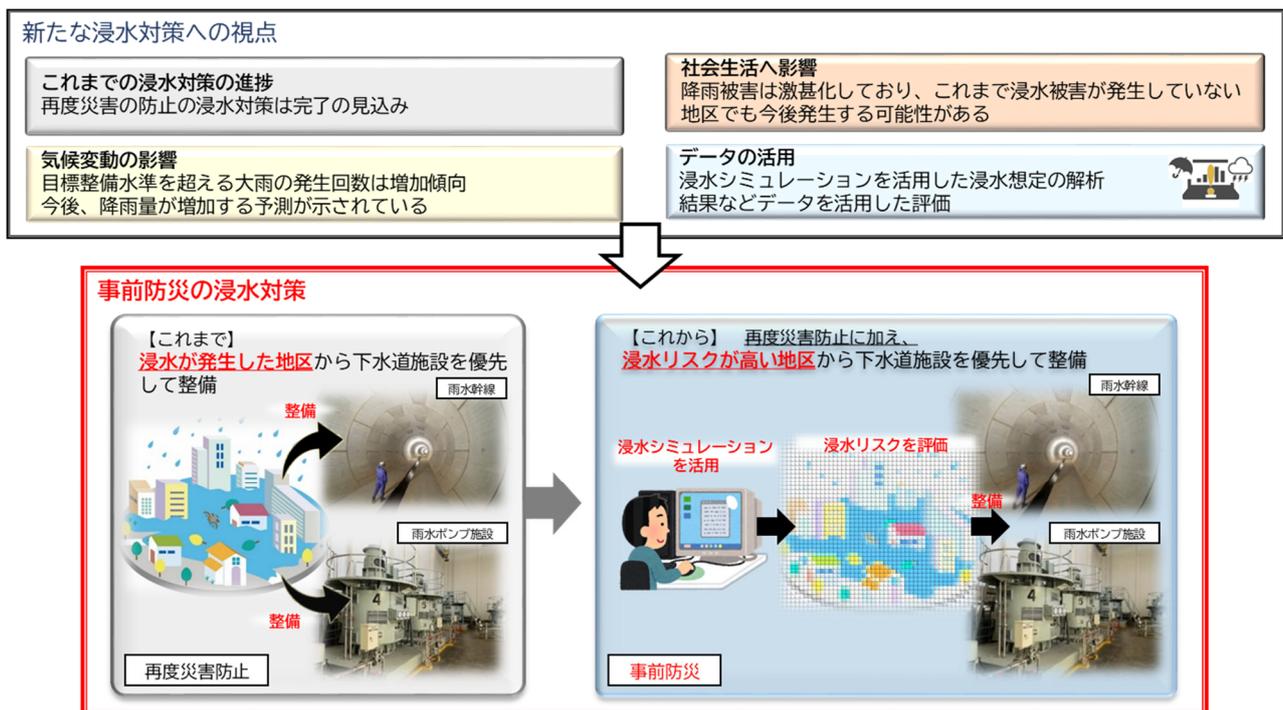


図7 事前防災の観点による浸水対策の考え方

### (3) 浸水リスクの評価

浸水リスクは、雨水の流れをもとに市域を 6,122 地区に分割し、「浸水想定」と「浸水の影響度」によって評価を行います（図 8）。「浸水想定」は、浸水シミュレーションを活用して算出した浸水想定の高さや深さ、「浸水の影響度」とは、人口や資産などの分布状況に加え、浸水した際に特に影響が大きい地下街・地下施設、鉄道駅、災害時要援護者施設、防災関連施設の分布状況を使用し、マトリクスによって浸水リスクを評価します（図 9）。



図 8 浸水リスクの評価

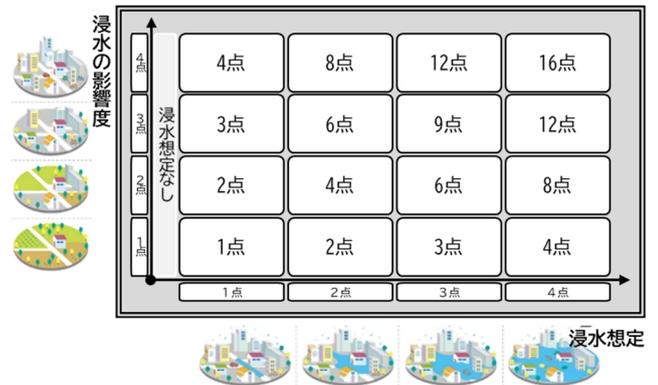


図 9 マトリクスによる浸水リスクの評価

### (4) 本プランにおける整備実施地区

浸水リスク評価に基づき、浸水リスクの高い地区から下水道施設を整備していきます。本プランは概ね 20 年後を目標に、最も優先度が高い 252 地区の面整備（枝線整備）やその地区を受け持つ 16 幹線を優先して整備（図 10）し、概算事業費は約 1,600 億円の見込みです。なお、浸水対策の整備実施地区は、浸水リスク評価に基づく優先度に加え、緊急性や効率性も考慮して、本市の財政ビジョンや中期計画とも整合を図り、横浜市下水道事業中期経営計画策定ごとに選定していきます（図 11）。

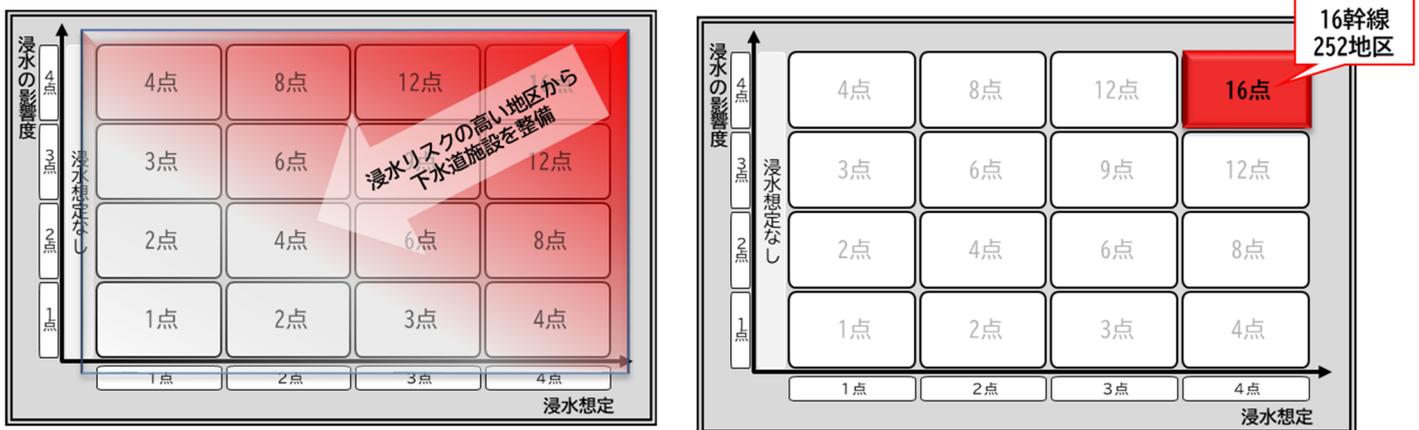


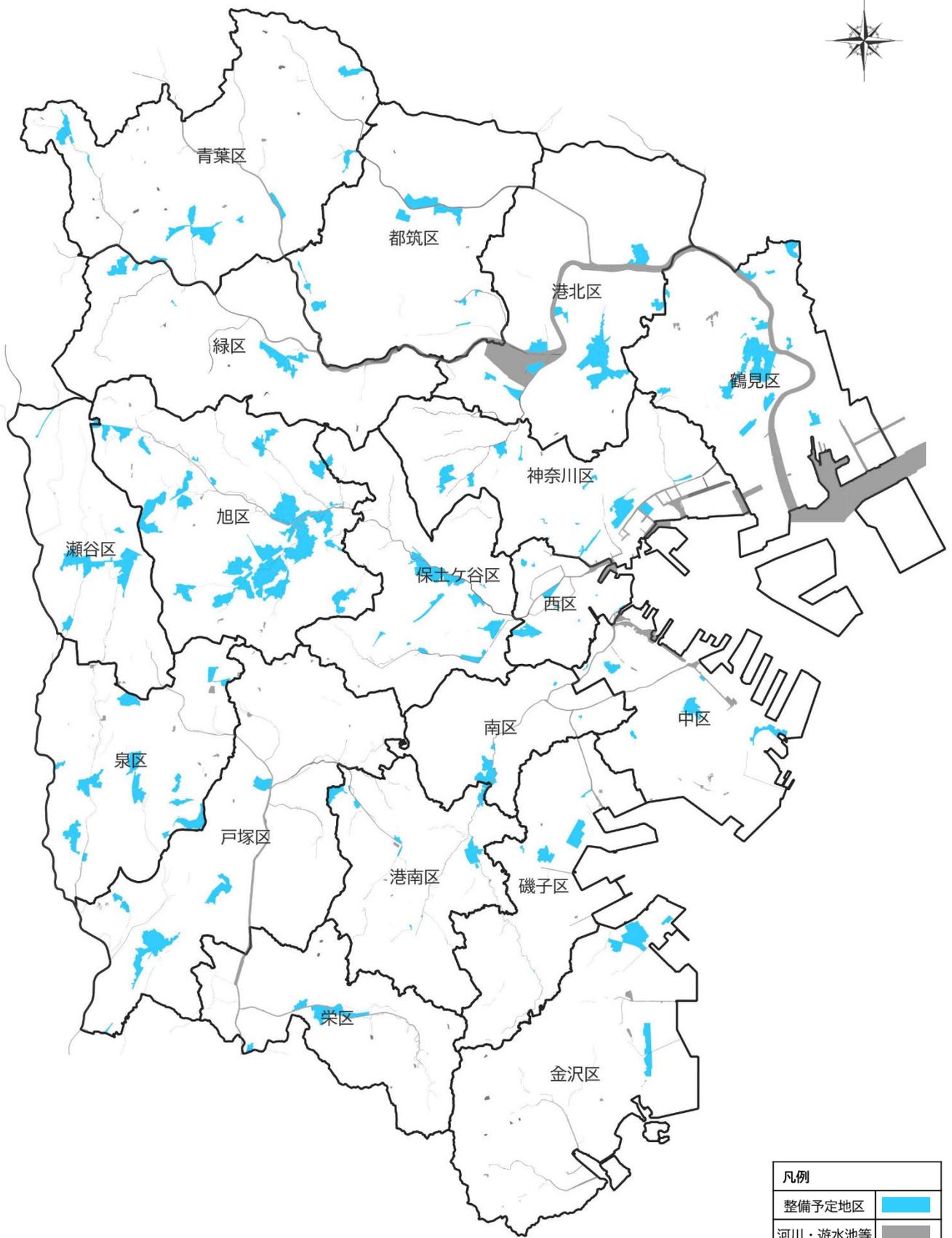
図 10 施設整備の優先度の考え方と本プランにおける整備対象地区



※緊急性：浸水の実績、浸水被害の状況、水路の老朽化 など  
 ※効率性：他事業の計画、まちづくり など

図 11 整備実施地区選定の考え方

# 整備予定地区



## 5 減災対策

目標整備水準を超える降雨に対して浸水被害の軽減を図るため、市民の皆様の生命・財産を守る観点から、新たに「甚大な被害を防ぐ目標」と「命を守る目標」を設定し、減災対策を進めていきます。

### (1) 甚大な被害を防ぐ目標と対策（100 mm/hr・床上浸水の概ね防止）

甚大な被害を防ぐ目標は、1時間あたり100mmの降雨で床上浸水を概ね防止することとします。

この目標の達成に向けては、目標整備水準に対する施設整備が大きな効果を発揮することから、施設整備を着実に進めるとともに、施設整備を行っても床上浸水が想定される地区に対しては、既存ストックの有効活用、雨水流出抑制対策、ソフト対策を推進していきます（図12）。

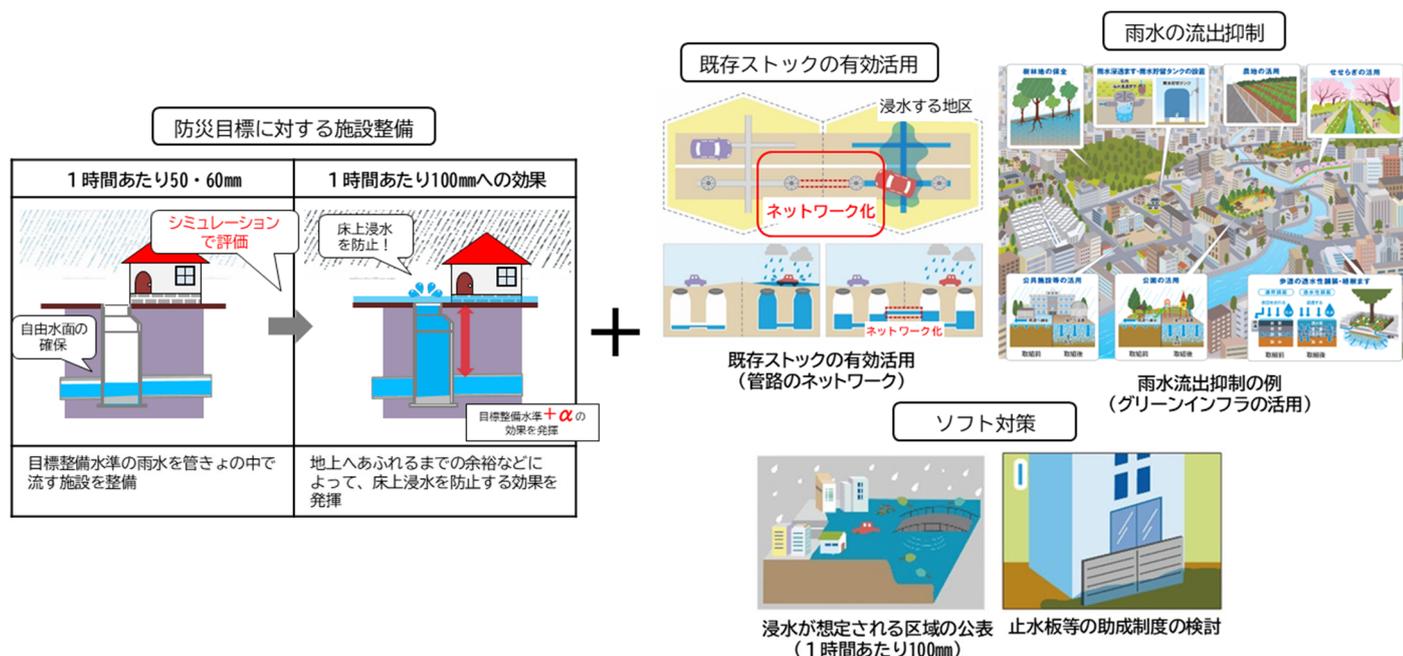


図12 甚大な被害を防ぐ目標に対する主な対策

### (2) 命を守る目標と対策（153 mm/hr・安全な避難の確保）

命を守る目標は、国から示されている横浜における想定し得る最大規模※の降雨である1時間あたり153mmの降雨で安全な避難を確保することとします。

この目標の達成に向けては、引き続き、全戸配布されている内水ハザードマップの普及啓発など、自助・共助の促進に向けたソフト対策を推進していきます（図13）。

※「浸水想定（洪水、内水）の作成等のための想定最大外力の設定手法」（平成27年7月 国土交通省 水管理・国土保全局）にから設定

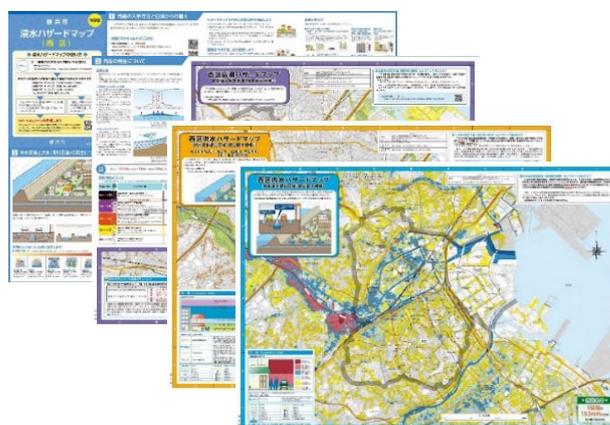


図13 浸水ハザードマップ

## ◆ ご意見の提出方法

### 1 横浜市電子申請・届出システムによるご意見提出【推奨】

横浜市電子申請・届出システムのオンライン入力フォームへアクセスし、ご入力ください。

【URL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/1e59b8ff-943f-4b71-82f0-58925e5e5a3d/start>



### 2 電子メール、FAX、郵送によるご意見提出

電子メール、FAX、郵送でご提出いただく場合はご意見いただく項目、掲載ページ、居住区、年代、横浜市下水道浸水対策プラン（素案）に関するご意見である旨を明記した上でお送りください。

【送付先】

電子メール：[gk-shinsuiiken@city.yokohama.lg.jp](mailto:gk-shinsuiiken@city.yokohama.lg.jp)

F A X：045-664-0571

郵 送：〒231-0005 横浜市下水道河川局マネジメント推進課 宛

※郵送の場合は、令和7年2月14日（金）の消印まで有効とさせていただきます。

送料はご負担ください。

## ◆ 注意事項

ご意見を正確に把握する必要があるため、電話や口頭でのご意見はお受けできません。

提出の際には、居住区、年代をご記入ください。

お寄せいただいたご意見・個人情報については今回の横浜市下水道浸水対策プランの策定にのみ使用し、その他の用途には使用しません。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方等は個人情報を除き、本市ホームページで公表する予定です。

ご意見の個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

横浜市下水道浸水対策プランは以下の場所でご確認いただけます。

- 市ウェブサイト

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasengesuido/gesuido/bousai/keikaku.html>

- 各区役所 広報相談係

- 市民情報センター（横浜市庁舎3階）

- 下水道河川局マネジメント推進課（横浜市庁舎24階）



## 区役所へのデジタル機器の設置について【情報提供】

### 1 趣旨・概要

横浜市中期計画や横浜 DX 戦略に掲げた「書かない、待たない、行かない区役所」を実現するため、また、マイナンバーカードを活用したデジタルの利便性を市民の皆様により実感していただくため、住民票の写し等の証明書の取得の際に活用できるデジタル機器を区役所に設置します。

### 2 依頼事項

【区 連 長】御承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。

定例会等で情報提供をお願いします。

### 3 区役所に設置するデジタル機器

#### (1) 証明書発行端末機の設置

全区役所に証明書発行端末（コンビニエンスストア等にあるマルチコピー機）を設置します。この端末では、マイナンバーカードを使用し、住民票の写しや印鑑登録証明書等の証明書が、窓口よりも 50 円安く（戸籍証明は除く）、かつ、短時間で取得できます。

市民の皆様は、証明書発行端末機による証明書取得（コンビニ交付サービス）の利便性を体験いただくことで、皆様の大切な時間をお返しします。なお、コンビニ交付サービスは、全国のコンビニエンスストア等でも御利用いただけます。

○設置期間：令和 6 年 11 月以降順次～令和 8 年度末（予定） <証明書発行端末>

○コンビニ交付対象証明書：

住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書  
戸籍証明書、戸籍の附票の写し

○手数料

250 円（ただし、戸籍証明書は 450 円）

【コンビニ交付サービス HP の二次元コード】

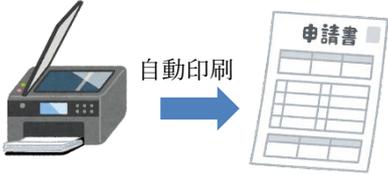


## (2) 申請書自動作成システム（自動読取機）の設置

マイナンバーカード等から住所・氏名等の情報を読み取り、申請書に自動転記する「申請書自動作成システム」（自動読取機）を全区戸籍課に設置しました。今年度末から申請のピークを迎えるマイナンバーカードの電子証明書の更新手続に活用し、申請書の作成時間を大幅に削減※することで、市民の皆様の御負担を軽減します。

※R 5年度に一部の区戸籍課で試行設置し、効果検証を行った結果、手書きによる申請書記入に比べ、作成時間が 50%削減

### <申請書自動作成システム利用手順>

STEP 1	STEP 2	STEP 3
 タブレットパソコン	 マイナンバーカード等 → 申請書自動作成システム	 プリンター → 自動印刷 → 申請書
<b>申請書を選択</b>	<b>マイナンバーカードの読み取り</b> (運転免許証、在留カード等も利用可)	<b>氏名、住所等が印字された申請書を自動印刷</b>

※機器は各区役所の状況等に応じ、待合フロアに設置（来庁者の方が操作）、または、窓口内部に設置（職員が操作）

担当 市民局窓口サービス課  
 會田、西尾

TEL : 045-671-2177

Email : sh-miryoku@city.yokohama.lg.jp



マイナンバーカードをお持ちの方

# 住民票は コンビニで!

全国のコンビニで利用可能です!



おすすめ!

コンビニ

区役所・  
行政サービス  
コーナー

手数料

250円

300円

所要時間<sup>※1</sup>

3分

10~15分

申請できる時間

毎日  
6:30~23:00<sup>※2</sup>

平日  
8:45~17:00<sup>※3</sup>

※1. 所要時間はおおよそです。 ※2. システム休止日を除きます。 ※3. 区役所の場合です。第2・4土曜日の午前中は開庁しています。

\ 動画でチェック! /

マルチコピー機の操作方法



セブンイレブン



ローソン



ファミリーマート



その他の店舗

# マルチコピー機の操作方法

## STEP.1

メニュー画面から「行政サービス」を選び、「証明書の交付」に進みます。



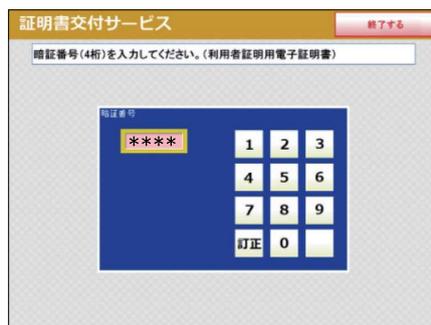
あとは画面の案内に沿って進むだけ!



※端末により画面表示が異なります。

## STEP.2

マイナンバーカードをセットし、4桁の暗証番号を入力します。



## STEP.3

証明書に必要な記載項目の有無を選択します。



**!** 続柄や本籍地などの記載が必要か  
あらかじめご確認ください。

最後に手数料を入れるとコピー機から住民票が出てきます。

問合せ先

横浜市市民局 窓口サービス課

TEL/045-671-2176 FAX/045-664-5295 (平日/8:45~17:15)

令和5年12月発行

LIVE 映像通信システム(映像 119)についての情報提供  
～防災訓練での活用について～

1 趣旨

横浜市消防局では令和 5 年 2 月から「LIVE 映像通信システム(映像 119)」という新しい取り組みを始めています。

LIVE 映像通信システム(映像 119)とはスマートフォンを介して通報者の方と消防司令センターの間に、映像の送受信ができる仕組みです。

実際に、このシステムを活用し、傷病者の状況を司令センターで確認しながら適切な口頭指導を実施し、傷病者が社会復帰された事案もあります。

今後、地域で防災訓練を行う際は、新たな訓練メニューとして是非このシステムをご活用ください。

2 御依頼事項

地区連合定例会等で情報提供をお願いします。また、単位会長あてにチラシを送付します。

なお、防災訓練で活用される場合は、下記担当までご連絡ください。

3 防災指導の申込方法

都筑消防署総務・予防課予防係にお問合せください。

4 訓練の内容

消防職員立ち合いの元、「LIVE 映像通信システム(映像 119)」で通報者と消防司令センターをつなぎます。(訓練時間は 3 分程度となります)

訓練では実際の通報と同じ手順を体験していただきます。

【実際の 119 通報の流れ】



※このシステムは使用に際して事前登録、アプリ等を必要としませんが、動画の送信には通信料がかかります。

なお、119 番通報を受けた指令管制員が必要と判断した場合に案内を行います。

システムについてご不明な点は都筑消防署総務・予防課予防係までお問合せください。

担当：都筑消防署総務・予防課予防係  
田中・川波  
電話/FAX：045-945-0119

# 大切な人の命を守るために 映像119 始めました

 映像119とは？

 スマートフォンを利用して災害や救急現場の映像を送信できます。

 救急車が到着するまでの適切な対処方法を映像で配信します。

～救急車が到着するまでにできること～



映像119でリアルタイムに映像を送信

対処方法を映像で配信

司令室

救急車が到着するまでの間に適切な対処方法を配信します

- 熱性けいれん
- 胸骨圧迫(心マ)
- 気道異物除去

※随時追加していきます



アプリ不要



スマートフォンで  
利用可能です



火事や災害の映像を  
消防隊へ情報提供し  
迅速的確な活動に繋がります



届いたショートメッセージに記載の  
URLをタップするだけで  
利用可能です



GPSを有効にすることで  
位置情報が消防局に送られます

※システムの利用料は、通報者負担となりますのでご了承ください

横浜市消防局司令課

TEL 045-334-6725 FAX 045-334-6720 Mail sy-shirei@city.yokohama.jp



自治会・町内会会長 各位

都筑消防署長

令和 6 年度都筑区初期消火器具取扱研修会の開催について(御依頼)

自治会・町内会の地域防災力を向上することを目的とするとともに、火災発生時に極めて有効である初期消火器具を設置・更新していただく契機として、初期消火器具取扱研修会を開催いたしますので、御参加くださいますよう御依頼申し上げます。

1 日時

令和 7 年 3 月 8 日(土) 9 時 40 分から 11 時 40 分まで(9 時 20 分受付開始)

※雨天の場合は内容を変更して実施します。

2 場所

都筑区役所中庭 (都筑区茅ヶ崎中央 32 番地 1 号) ※別紙 1 参照

3 内容

- (1) 初期消火器具取扱及び消火栓操作
- (2) 放水体験
- (3) その他

4 募集人数

都筑区各連合自治会・町内会から 3 名までの募集を行います。

なお、3 名以上の申し込みを御希望される場合は、担当まで御連絡ください。

5 応募要領

横浜市電子申請システムまたは F A X (別紙 2「参加申込書」に記載の必要事項を記入後)からお申し込みください。

【締切り】 令和 7 年 2 月 14 日(金)※期日に間に合わない場合は御連絡ください。

(横浜市電子申請システム)

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/ca231451-1e41-4e9f-85aa-a0003228adce/start>



## 6 その他

- (1) 訓練時の服装については、動きやすい服装(運動着等)、ヘルメット、手袋(軍手等)、運動靴を着用してください(水沫を防止される方は合羽を着用してください)。
- (2) サレジオ学院中学校高等学校生徒が、訓練に参加します。  
なお、あわせて、後半にはジャグリング部の活動披露を行います。
- (3) その他、不明な点等ございましたら、担当までお問い合わせください。

### 初期消火器具とは？

初期消火器具には、初期消火箱(固定式)とスタンドパイプ式初期消火器具(可搬式)の2種類があります。消防車が進入できない道路狭隘地域においても、消火栓にホースを直接接続し、有効な初期消火活動を行うことができます。特にスタンドパイプ式は機動性に優れ、軽量で、扱いやすいのが特徴です。



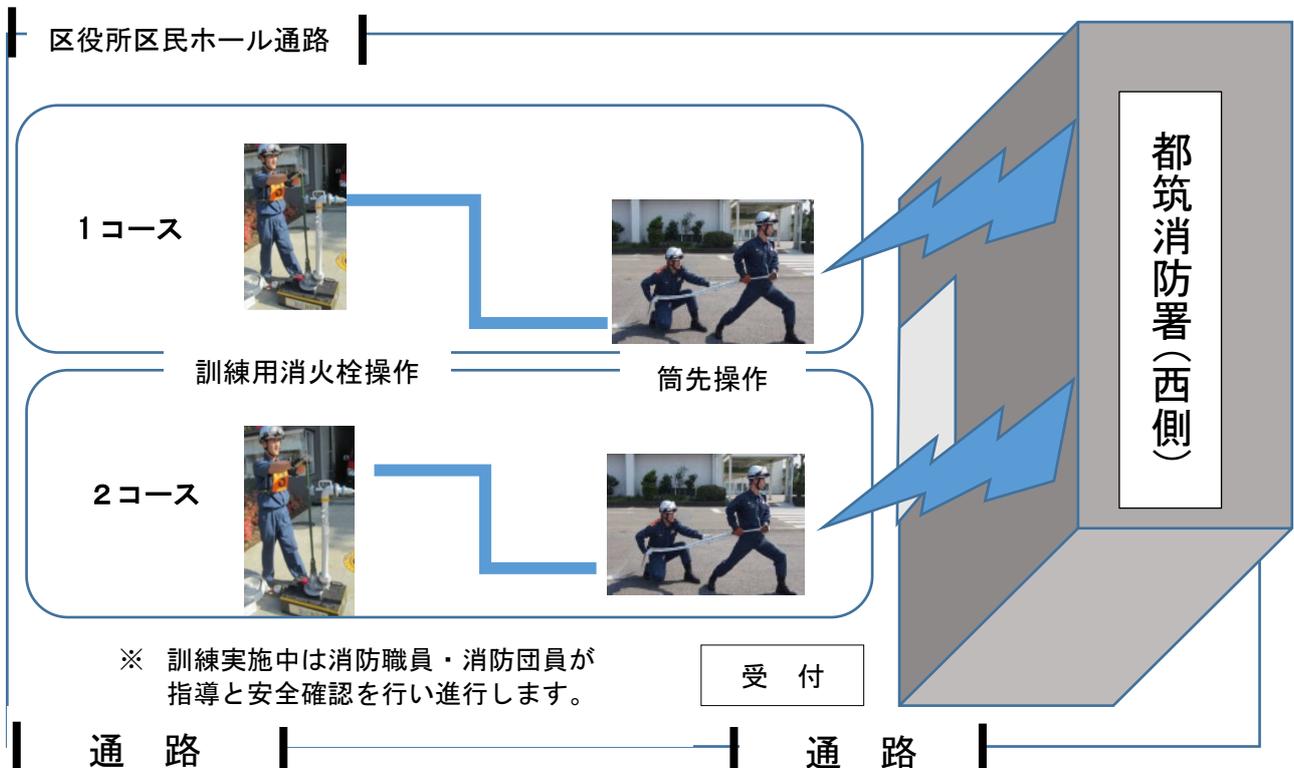
初期消火箱(固定式)



スタンドパイプ式  
初期消火器具(可搬式)



### 会場図(都筑区役所中庭)



担当：都筑消防署総務・予防課予防係  
田中・川波  
電話/FAX：045-945-0119

### 【実施場所】



【実施場所：都筑区役所中庭】  
最寄り駅：市営地下鉄センター南駅より  
徒歩約 10 分



消防署東側から  
通り抜けること  
ができます

**【参加申込書】**  
**令和6年度都筑区初期消火器具取扱研修会**

**⇒都筑消防署総務・予防課 予防係あて**  
**(ファックス番号 945-0119)**

**令和7年2月14日(金)締切り**

※期日に間に合わない場合は下記担当まで御連絡ください。

1 自治会・町内会名

\_\_\_\_\_

2 参加者 お名前・連絡先

(都筑消防署から連絡させていただく場合のお電話番号を記入してください。)

(フリガナ)

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

(フリガナ)

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

(フリガナ)

お名前 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

担当：都筑消防署総務・予防課予防係  
田中・川波  
電話/FAX：045-945-0119

都筑区自治会町内会 会長 各位

都筑区地域振興課長 須藤 健一

## 自治会町内会向け事例発表・交流会 「都筑スタイル café ミーティング」への参加について(依頼)

向寒の候 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

都筑区の自治会町内会支援の一環として、「都筑スタイル café ミーティング」を開催します。都筑スタイルを通じて活動の魅力アップや課題解決に取り組んだ自治会町内会のエピソードや参加者同士の交流・意見交換を予定していますので、会長や役員の皆様、今後の役員候補の方等、お誘いあわせの上御参加ください。

**1 日 時** 令和7年3月9日(日) 14時00分～16時30分(受付開始 13時30分)

**2 対象者** 自治会町内会・連合町内会自治会の会長ほか役員など活動されている方  
※今後の役員候補の方や、班長・組長、新たに委嘱委員になられる方々にも  
お勧めです。是非お声かけください。

**3 開催場所** 都筑区役所6階大会議室

**4 内 容**

### 「都筑スタイル café ミーティング」

#### プログラム

- ・都筑スタイル実践報告～「デジタル活用」実践者によるトークセッション～
- ・つながりcaféタイム(休憩)
- ・みんなdeトーク～関心のあるテーマで参加者同士の交流・意見交換～

コーディネーター 秋本 創 氏(NPO法人 埼玉情報センター事務局 次長)

登壇者 桜並木町内会/牛久保町内会/茅ヶ崎南 MGCRS 連合自治会/

NPO 法人子ども応援ネットワーク 縁(ゆかり)ハウス



令和5年度「都筑スタイル café ミーティング」の様子

詳細は添付のチラシをご覧ください

裏面あり  
(定員・申込方法)

## 5 定 員

50 人程度（先着順）

※自治会町内会の役員等の方以外にも、自治会町内会活動に関心のある方やデジタル化に関心がある地域活動者も参加可能としています。

## 6 申込方法・期限

自治会町内会毎におとりまとめの上、「都筑スタイル café ミーティング申込書」を  
令和7年3月3日（月）17時までに、次のいずれかの方法でお申込みください。

### (1)申込フォーム(電子申請システム)

二次元コードからアクセス



### (2)申込書の提出(FAX・持参)

別紙申込書を下記<お申込み先>まで提出

※ 申込内容について確認する場合や定員超過などご参加いただけない場合のみ、代表者（申込者1）の方に御連絡します。

特に連絡がない場合は、皆様ご参加頂けますので、当日会場までお越しください。

※ いただいた個人情報は、都筑区役所及び株式会社イータウンの協働事業である「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。

※ 当日の様子を撮影し「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますので御了承ください。

### <お申込み先・お問合せ先>

担当 都筑区地域振興課 地域力推進担当 関口・柏木

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32 番 1 号

電話：948-2474

FAX：948-2239

Email:tz-chiikiriyoku@city.yokohama.lg.jp

# 3/9 自治会町内会向け事例発表・交流会

(都筑スタイル café ミーティング)

## 申込書

申込期限: 3月3日(月)17時

【申込先】都筑区地域振興課地域力推進担当

□FAX: 948-2239

□持 参: 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32 番 1 号  
地域振興課窓口(5階 54 番窓口)

連合町内会自治会名

または

自治会町内会名

【必須】 代表者 (申込者1)	氏名 (ふりがな)	( )
【任意】 申込者2	氏名 (ふりがな)	( )
【任意】 申込者3	氏名 (ふりがな)	( )
【必須】 代表者電話番号	—	—
【任意】 代表者 Eメールアドレス		@

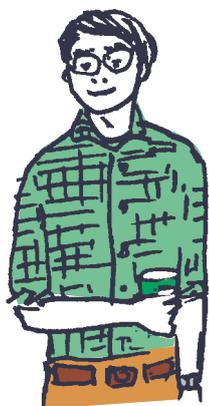
令和6年度

# 都筑スタイル café ミーティング

これまでに「都筑スタイル」を通じて活動の魅力アップや課題解決に取り組んだ自治会町内会の事例を発表します。  
身近な実践者のエピソードから今後の活動のヒントを探してみませんか？

**日時** 令和7年**3月9日(日)** 14時～16時30分(受付開始13時30分)

**場所** 都筑区役所6階大会議室 **費用** 無料  
(都筑区茅ヶ崎中央 32-1)



## ■ プログラム ■

- 1 都筑スタイル実践報告  
～「デジタル活用」実践者によるトークセッション～
- 2 つながり café タイム
- 3 みんな de トーク  
～関心のあるテーマで参加者同士の交流・意見交換～



### ■ 受講対象者・定員(先着順)

区内の自治会町内会で活動している方：50名  
※自治会町内会活動に関心のある方  
デジタル化に関心がある地域活動者も参加可

### ■ 申込事項

- ①タイトル：「都筑スタイル café ミーティング申込」
- ②所属団体名(自治会町内会名等。ない場合は「なし」と記入)
- ③申込者氏名(ふりがな)
- ④電話番号
- ⑤E メールアドレス ※任意

### ■ 申込方法

電子申請システムでの申請、または【申込事項】を記載の上、  
FAX でお申し込みください。

#### 電子申請システム

右の二次元コードを読み込んでください。



FAX 045-948-2239

※様式は自由です。



申込締切：3月3日(月)17時

・いただいた個人情報は、都筑区役所及び株式会社イータウンの協働事業である「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。  
・当日の様子を撮影し、ホームページや広報紙など「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますので御了承ください。

問合せ先：都筑区地域振興課地域力推進担当 電話番号：045-948-2474 FAX：045-948-2239

本事業は、株式会社イータウンと横浜市都筑区の協働事業です。

詳細はこちら





# プログラム



## 1 都筑スタイル実践報告

～「デジタル活用」実践者によるトークセッション～

自治会町内会等で実際に取組を担う方々が、事例を交えてリアルに語り合います。取り組んで良かったことや苦労したこと等、ここでしか聞けないエピソードが満載です。

## 2 つながり café タイム

ドリンクを飲んで小休憩。ココロもカラダも温まる時間に。



## 3 みんな de トーク

関心のあるテーマに分かれて参加者同士による意見交換を行います。これまでつながりのなかった自治会町内会の方や実践者とも交流できるチャンス！



コーディネーター

### 秋本 創 氏

〔 NPO 法人 埼玉情報センター事務局 次長 〕

情報発信や人材育成に関する講師やコンサルティングを中心に NPO やまちづくりにかかわる業務・活動を行う。今年度の都筑スタイルでは「デジタル活用」のアドバイザーとして関わる。

## 登壇者紹介

### 桜並木町内会

〔 令和6年度アドバイザー派遣活用 〕

…回覧板のデジタル化を目指したLINE公式アカウントの導入決定、開設、発信をスピーディーに展開中。登録者を増やすイベントも実施。

### 牛久保町内会

〔 令和5年度アドバイザー派遣活用 〕

…イベントの待ち時間を活用した参加者アンケートで人材発掘に挑戦。町内会活動に協力してくれる新たな方とのつながりが生まれている。

### 茅ヶ崎南MGCRS連合自治会

〔 令和5年度アドバイザー派遣活用 〕

…ホームページ立ち上げと二次元コードの活用で、地域へのタイムリーな情報発信や学生のボランティア参加につなげている。

### NPO法人 こども応援ネットワーク 縁(ゆかり)ハウス

〔 tsuzuki ANCHOR 第9号掲載団体 〕

…自治会町内会をはじめ、学生や地域の方とのつながりを大切にしている親と子のつどいの広場。地域に身近な存在に感じてもらえる工夫を凝らしたインスタグラムによる情報発信を行っている。

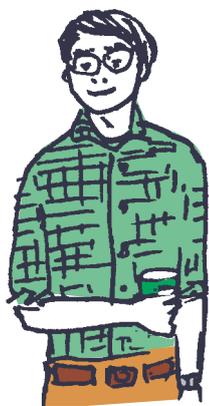
令和6年度

# 都筑スタイル café ミーティング

これまでに「都筑スタイル」を通じて活動の魅力アップや課題解決に取り組んだ自治会町内会の事例を発表します。  
身近な実践者のエピソードから今後の活動のヒントを探してみませんか？

**日時** 令和7年**3月9日(日)** 14時～16時30分(受付開始13時30分)

**場所** 都筑区役所6階大会議室 **費用** 無料  
(都筑区茅ヶ崎中央 32-1)



## ■ プログラム ■

- 1 都筑スタイル実践報告  
～「デジタル活用」実践者によるトークセッション～
- 2 つながり café タイム
- 3 みんな de トーク  
～関心のあるテーマで参加者同士の交流・意見交換～



### ■ 受講対象者・定員(先着順)

区内の自治会町内会で活動している方：50名  
※自治会町内会活動に関心のある方  
デジタル化に関心がある地域活動者も参加可

### ■ 申込事項

- ①タイトル：「都筑スタイル café ミーティング申込」
- ②所属団体名(自治会町内会名等。ない場合は「なし」と記入)
- ③申込者氏名(ふりがな)
- ④電話番号
- ⑤E メールアドレス ※任意

### ■ 申込方法

電子申請システムでの申請、または【申込事項】を記載の上、  
FAX でお申し込みください。

#### 電子申請システム

右の二次元コードを読み込んでください。



FAX 045-948-2239

※様式は自由です。



申込締切：3月3日(月)17時

・いただいた個人情報は、都筑区役所及び株式会社イータウンの協働事業である「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。  
・当日の様子を撮影し、ホームページや広報紙など「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますので御了承ください。

問合せ先：都筑区地域振興課地域力推進担当 電話番号：045-948-2474 FAX：045-948-2239

本事業は、株式会社イータウンと横浜市都筑区の協働事業です。

詳細はこちら





# プログラム



## 1 都筑スタイル実践報告

～「デジタル活用」実践者によるトークセッション～

自治会町内会等で実際に取組を担う方々が、事例を交えてリアルに語り合います。取り組んで良かったことや苦労したこと等、ここでしか聞けないエピソードが満載です。

## 2 つながり café タイム

ドリンクを飲んで小休憩。ココロもカラダも温まる時間に。



## 3 みんな de トーク

関心のあるテーマに分かれて参加者同士による意見交換を行います。これまでつながりのなかった自治会町内会の方や実践者とも交流できるチャンス！



コーディネーター

### 秋本 創 氏

〔 NPO 法人 埼玉情報センター事務局 次長 〕

情報発信や人材育成に関する講師やコンサルティングを中心に NPO やまちづくりにかかわる業務・活動を行う。今年度の都筑スタイルでは「デジタル活用」のアドバイザーとして関わる。

## 登壇者紹介

### 桜並木町内会

〔 令和6年度アドバイザー派遣活用 〕

…回覧板のデジタル化を目指したLINE公式アカウントの導入決定、開設、発信をスピーディーに展開中。登録者を増やすイベントも実施。

### 牛久保町内会

〔 令和5年度アドバイザー派遣活用 〕

…イベントの待ち時間を活用した参加者アンケートで人材発掘に挑戦。町内会活動に協力してくれる新たな方とのつながりが生まれている。

### 茅ヶ崎南MGCRS連合自治会

〔 令和5年度アドバイザー派遣活用 〕

…ホームページ立ち上げと二次元コードの活用で、地域へのタイムリーな情報発信や学生のボランティア参加につなげている。

### NPO法人 こども応援ネットワーク 縁(ゆかり)ハウス

〔 tsuzuki ANCHOR 第9号掲載団体 〕

…自治会町内会をはじめ、学生や地域の方とのつながりを大切にしている親と子のつどいの広場。地域に身近な存在に感じてもらえる工夫を凝らしたインスタグラムによる情報発信を行っている。



# 都筑区スポーツ推進委員通信

第37号

令和7年1月発行

都筑区スポーツ推進委員連絡協議会  
都筑区茅ヶ崎中央 32-1  
都筑区役所地域振興課内  
電話 045-948-2235

スポーツ推進委員って  
どんな活動をしているの??

皆さんはスポーツ推進委員を知っていますか？  
スポーツ推進委員は、スポーツ基本法並びに横浜市スポーツ推進委員規則に基づいて、横浜市長から委嘱される非常勤職員であり、本市スポーツ行政の推進者として重要な役割を担っています。

スポーツ推進委員は特に活動の拠点を地区において、地域の人たちとの連帯と委員相互の協力のもと、地域に根ざしたスポーツやレクリエーションの振興事業の企画・立案・実施並びに普及活動など、地域の多様化に即した事業を展開しています。

都筑区内だけでも100名以上居り、横浜マラソンやトライアスロン大会への協力に加え、地域のお祭りなどの活動など、まさに縁の下力持ちとして活躍しています！

## 八景島トライアスロン



## 横浜マラソン



## 永年勤続表彰おめでとうございます！！

### 25年勤続表彰

森 芳則

### 20年勤続表彰

岩崎 誠司  
齊藤 雅子  
豊田 昌也

### 10年勤続表彰

伊藤 滋仁      猿渡 一郎      中村 勝彦  
城所 剛紀      志村 誠一郎      林口 文彦  
栗原 孝太郎      鈴木 滋      細谷 祐之  
坂本 剛      中根 朋文      山内 賀奈子

## 令和6年度 広報委員会

栗原 孝太郎 (東山田)      佐藤 大祐 (新栄早瀬)      浅井 美樹 (渋沢)  
木戸 令雄 (山田)      越谷 和雅 (都田)      志村 誠一郎 (ふれあいの丘)  
中根 朋文 (中川)      池 学 (池辺)      安藤 治樹 (柚木荏田南)  
佐藤 親志 (勝田茅ヶ崎)      浅沼 直人 (佐江戸加賀原)  
阿部 清美 (かちだ)      中臣 克稔 (荏田南)

## 編集後記

都筑区スポーツ推進委員通信第37号をお読みいただきありがとうございます。  
実は15地区活動紹介は令和元年度ぶりに復活した特集です。

スポーツ推進委員は様々な地域活動や大会従事等をしています。少しでもスポーツ推進委員について興味を持っていただけると嬉しいです！  
都筑区スポーツ推進委員連絡協議会 広報委員会一同



## 都筑区スポーツ推進委員主な年間活動スケジュール

- ▶4月 委嘱式 (隔年)
- ▶5月 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 (運営スタッフ)
- ▶6月 都筑区グラウンドゴルフ大会 (令和6年度は12月に順延)
- ▶7月 北部4区大会
- ▶9月 八景島トライアスロンフェスティバル (運営スタッフ)
- ▶10月 横浜マラソン (運営スタッフ)
- ▶11月 都筑区民まつり (模擬店出店)
- ▶1月 研修会

# 15地区 活動紹介



## ① 東山田地区

8月24日、山田小学校にて東山田連合町内会納涼夏祭りが行われました。スポーツ推進委員は会場のパトロールを担当しました。各町内会、PTAなどによる模擬店や東山田中学校のダンス部のダンス、吹奏楽部の演奏などが舞台で行われ大勢の人で賑わいました。



## ② 山田地区

山田地区では春と秋にグラウンドゴルフ大会を神無公園で開催しています。今年度は5月19日(日)に第53回の大会を開催し、北山田・南山田・すみれが丘在住の11組・計56名が参加されました。日頃鍛えた技術とチームワークでハイスコアが続出。天候にも恵まれ楽しい大会となりました。



## ③ 中川地区

7町会からのメンバーで構成、活動しています。昨今は中川地区連合グラウンドゴルフ大会の主催や、各種市や区のイベントのサポートに加え、社協スポーツ交流会にも協力して、子供達を交えて老若男女で地区のつながりを楽しむ場をつくることに貢献しています。



## ④ 勝田茅ヶ崎地区

勝田茅ヶ崎地区では仲町台駅近くのせせらぎ公園多目的広場でグラウンドゴルフ大会を開催しています。当日参加OK。高齢の方からお子様まで地区の方であれば誰でも気軽に参加できる行事です。1月28日に開催した大会も良い天気にも恵まれて多くの方に参加頂き大盛況でした。



## ⑤ かちだ地区

かちだ地区は毎年11月にグラウンドゴルフ大会を開催しています。令和6年度は11月10日に予定しています。かちだ地区は高齢者が多く参加されていますが、皆様元気がよく大会を楽しんでおります。開催目標に健康と共に交流を目的としています。また、参加選手のレベルの高さに感心いたします。優勝という目的意識を高めて喜びとともに和気あいの活動の場をスポーツ推進委員としてお手伝いをしてまいります。



## ⑥ 新栄早淵地区

10月13日(日)に連合町内会主催のスポーツフェスタを実施しました。各自治会がサポートしグラウンドゴルフ、スリッパ飛ばし、ストラックアウト、テニスボール遠投、キックターゲット、ディスクゴルフ、そして最後には綱引き!地域の多くのお子様にご参加いただきました。



## ⑦ 都田地区

都田地区は11地区9名で活動しています。3月には都田連合グラウンドゴルフ大会を開催しています。これは都筑区GGの予選を兼ねているので皆さんとても張り切って競技をしています。6月には今年度で2年目になる都田地区センターフェスタに参加し他の部会の方と一緒にフェスタを盛り上げのお手伝いをしています。



## ⑧ 池辺地区

10月13日 第27回池辺連合自治会主催の健民祭が、都田中学校にて開催され多くの地域の方々に参加を頂きました。スポ推も各配置につきスムーズな進行が出来るように行い、無事に終わることができました。このような活動を通して、地域の方との交流が持てた事はとても有意義なことでした。



## ⑨ 佐江戸加賀原地区

9月29日に佐江戸杉山神社にて例大祭が行われました。大人・子ども神輿の時はあいにくの小雨模様でしたが、多くの子供も達が集まり、元気いっぱい神輿を担ぎ盛り上がりました。夕方からの奉納演芸会では、スポーツ推進委員は他団体と一緒に会場周辺の交通整理を担当し貢献しました。



## ⑩ 川和地区

川和地区連合町内会が主催する「第27回川和地区連合体育祭」が、10月13日(日)に開催されました。当日は10月であるにもかかわらず25℃の晴天の中、700名を超える参加者で大盛況のイベントとなりました。川和地区スポーツ推進委員はこの大会に向け、企画、連合町内会他各種団体との調整、用具・設備の準備から参画し、当日は進行、競技審判等の運営スタッフとして大会を盛り上げる一翼を担いました。



## ⑪ 荏田南地区

7月20日～翌朝にかけて、荏田南地区恒例の「集まれ!夏キャン」が開催されました。(牛ヶ谷公園でのキャンピング) スポーツ推進委員は青少年指導員と共に、開催の2時間以上前から真夏の太陽の陽射しの下、ライン引きやキャンプファイヤーの準備などで汗を流しました。



## ⑫ 渋沢地区

10月22日「渋沢フェスティバル～レクリエーション大会～」がつづきの丘小アリーナで行われました。ホールインワンゲームやパン挟み競争は和やかに、横取り綱引き紅白玉入れは熱く「防災体験競争」は真剣に、子どもから年配者迄大いに盛り上がり楽しい秋の一日を過ごしました。



## ⑬ 茅ヶ崎南 MGCRS 地区

8月24日、連合自治会主催による「夕涼み会」が行われました。その一環として「グラウンドゴルフのホールインワンゲーム」を「つながりづくり」と合同で開催しました。今年度は就学前児童との親子づれが多く、楽しいひと時を過ごすことができました。



## ⑭ ふれあいの丘地区

第17回ふれあいの丘連合祭を開催。今年度はモルックを中心にトーナメント戦を開催。グラウンドゴルフ、ポッチャ、ストラックアウトなど企画して関係団体の皆様と運営、競技にも参加しました。参加者の皆様は今までやった事がないスポーツに実際やってみて楽しかったと言って頂きました。



## ⑮ 柚木荏田南地区

柚木荏田南地区のゴルフ親睦会では平成14年に始まり、年間3～4回開催されております。千葉のゴルフコースがメインですが、たまに静岡方面まで遠征することもあります。最近では、今年度の10月10日に、参加者15名で静岡富士ヘルスゴルフコースで開催されました。今回は参加しませんが、五丁目の方も参加することがあります。



のぞいてみよう！

好きでつながる仲間と出会う！



第28回

# つづき人びと 交流フェスタ



2025.2.27 (木) ~ 2025.3.2 (日)

ワーク  
ショップ

3.1(土) & 3.2(日)

パネル展

講演・交流会

3.2(日)

午後2時30分～

4日間開催

都筑区役所  
1F、6F

## つづき人交流 フェスタとは？

つづき人交流フェスタは、都筑区民活動センターに集う皆さんがワークショップや活動発表を行います。地域に役立ちたい思いや、好きなことを仲間とわいわい取り組む様子をのぞきに來てください。一緒にあなたの「好き」を見つけてみませんか？



土・日の  
ワークショップは、  
たのしさいっぱい！



詳細は  
HPへ



当日は、記録のため写真撮影及び動画撮影を行います。撮影したものはホームページや広報誌で公開することがあります。

自治会・町内会の行事・お祭りのネタ

# 探しに来ませんか!?

都筑区民活動センターには、地域活動をする団体や、得意なことをボランティア登録した「まちの先生」がいます。自治会・町内会の行事・お祭りに出展者として参加して、一緒に盛り上げてくれると思います。センターでご紹介しますので、お気軽にお越しください!



工作や音楽演奏など♪



つづき人交流フェスタで  
「団体」や「まちの先生」  
に会いに来てください!

2025. 3. 1 (土) ~ 3. 2 (日)  
都筑区役所 1F (区民ホール、区民活動センター)、6F (大会議室)



フェスタの詳細は  
HPへ!



まちの先生  
(プログラムバンク)



マジックや、ヨガ・ダンスなど♪



# つづぎ人交流フェスタに参加する 「団体」や「まちの先生」たち

つづぎ人交流フェスタのワークショップ(3/1(土)-3/2(日))に出展予定の皆様のご紹介です。ぜひ当日お越しになって、実際にのぞいてみてください♪



「ビーズで簡単なアクセサリー作り」をします

都筑区民文化祭実行委員会



ボードゲーム

子どもも大人も一緒に楽しめる世界のボードゲームで遊ぼう!!



たくさんの小さなタイルの中から好きな色のタイルを選んで、オリジナルの円形のオーナメント(飾り)を作ります

NPO法人H&K (MACARON)



天体望遠鏡を使って模擬星を望遠鏡に導入する操作を体験できます

都筑天文クラブ

「川和の畑で咲いている花の「押し花」を使って自由に押し花カードを作ります

Herbal Bee-ing



安田 倫

ハーモニカの演奏を行います

つづぎ 詩の会

「詩を・口と耳で楽しむ」黙読が多い詩ですが、口と耳で楽しむ会を開催します。



脳トレ・顔トレ・声トレ。手で考えるおもしろ算数、英語のクイズに楽しく発声練習。これであなたも10歳若返る!!

チームロクマル先生

横浜歴史博もりあげ隊

横浜市歴史博物館の公式キャラクターを使ったり、その他のキャラクターをご自分の好みの色で描いたり、ご自分の名前を書いたりして、世界にただひとつの缶バッヂを作ってみませんか!



青木 邦夫

マイブレンドコーヒーを一緒に作ってみませんか?



現在の横浜の礎とも云うべき、

①新田開発、②黒船来航、③鉄道敷設、学校開設等の初期インフラ整備の動きを探る講演会を開きます

加藤 明彦



宮嶋 一元

AIを活用して楽しくコミュニケーションをしましょう

お問合せ

都筑区民活動センター



045-948-2237



tz-katsudo@city.yokohama.lg.jp

## 「プラスチックごみの分別ルール変更 市民周知用 リーフレット」の 民間事業者による全戸配布について（周知）

日頃より、ごみと資源の分別にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
令和7年4月1日より始まる「プラスチックごみの分別ルールの変更」にあたり、現在、変更内容を市民の皆さまにわかりやすく伝えるリーフレットを作成しております。  
1月上旬以降、民間事業者が各ご家庭に当該リーフレットを配布致しますので、ご理解をお願いいたします。

今後も、住民説明会の実施やリーフレットの配布をはじめとして、様々な啓発等の機会を通じて分別ルール変更を伝えていきますので、ご協力をよろしくをお願いいたします。

### 1. 配布物 <リーフレット>

次の2種類を配布いたします（①に②を挟み込んで各家庭に配布）。

- ①「プラスチックごみの分別が変わります」リーフレット（A4 仕上がり 2つ折り）  
→今回の分別ルール変更について詳しく解説しています
- ②「ごみと資源物の分け方・出し方」リーフレット（A4 仕上がり 2つ折り）  
→新しい分別ルールも含めて、ごみと資源物の分別について解説しています

### 2. 民間事業者による配布期間（予定）

令和7年1月上旬～2月下旬

※ 区内でも、お住いの地区によって配布時期は異なります。

### 3. 配布事業者

株式会社メディア・ソリューション・センター

### 4. 配布されなかった場合のお問合せ先

「近隣（同じ道路に面している他の民家など）に投函されているのに自分の家には配布されていない場合」や、「令和7年1月上旬～2月下旬の配布期間が終了したにも関わらずリーフレットが配布されなかった場合」は、以下の配布事業者のコールセンターにお電話ください。

状況確認次第、配布事業者が速やかに配布を致します。

■ポスティングコールセンター（株式会社メディア・ソリューション・センター）

期間：令和7年3月31日まで

電話：0120-221-523

受付時間：月～土 9時～18時

※市ホームページに、上記コールセンターの番号を掲載する方向で調整中です。

担当：資源循環局都筑事務所 上野・野崎

TEL 941-7914

FAX 941-8409



ラップや  
ポリ袋も  
「プラ資源」

\もう迷わない/ \より分かりやすく/  
**プラスチックごみの  
出し方が変わります!**

もっと  
環境に  
やさしく

令和7年4月より、ついに全市でスタート!

令和6年

10月～

旭区、泉区、磯子区  
金沢区、港南区、栄区  
瀬谷区、戸塚区、中区

令和7年

4月～

全市  
18区



# 「プラスチック資源」の出し方



詳しい出し方は  
こちらをご覧ください



## 出し方のポイント

- 1 「プラスチック製容器包装」の収集日が「プラスチック資源」の収集日に変わります
- 2 汚れがついたプラスチックは、固形物が残らない程度に、水で軽くすすぐなどして、「プラスチック資源」にお出してください

「プラスチック資源」はリサイクルされ、新たな製品に生まれ変わります!



## 対象となる「プラスチック資源」の例

プラスチック製  
容器包装

今までと変わらずに  
出せるもの



このマークが  
目印です

NEW

プラスチック  
製品

新たに出せるもの  
(プラスチックのみでできているもの)



ラップ・ポリ袋・チャック付き保存袋  
調理器具・台所用品など

屋外用品



文房具、おもちゃなど



その他日用品



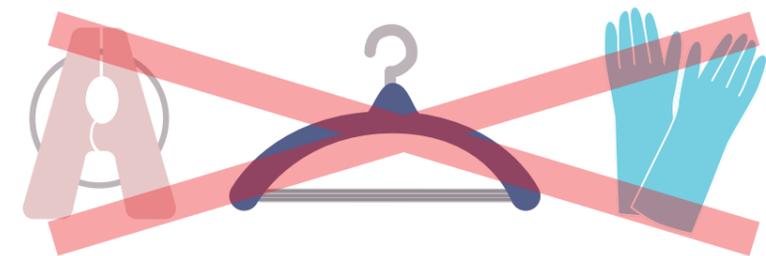
収納用品、風呂、洗面用具など

ラップ・ポリ袋は「プラスチック資源」です!



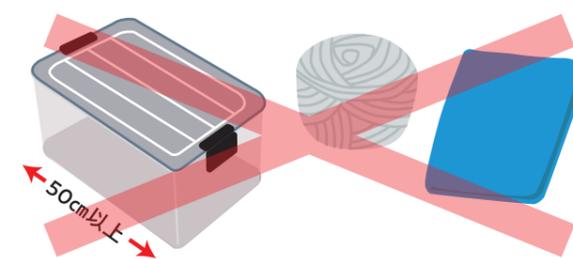
## 入れてはいけないもの

金属等のプラスチック以外の素材を含むもの



50cm以上のもの

(一番長い辺が50cm以上) (広げると50cm以上)



厚みがあり、硬いもの



まな板など

発火の危険があるもの



電気や電池で動くもの、モバイルバッテリーなど

収集車や処理施設の故障や火災などにつながります

# 「どうして出し方が変わるの？」



ねえねえ。  
「プラごみの出し方が変わる」って聞いたけど、どうして変わるの？

あら、良い質問ね。最近の気候は、夏もかなり暑くなったし、変わったと思わない？



この前の夏も暑かった・・・  
それがプラごみと関係あるの？

プラスチックは燃やすと、多くのCO<sub>2</sub>が出るから地球温暖化の原因になるのよ！



じゃあプラスチックを燃やさなければ良いってこと？

そうだね！  
今まで、「プラスチック“製品”」は、「燃やすごみ」として燃やしていたの。



これからは「プラスチック製容器包装」と一緒に「プラスチック“資源”」としてリサイクルするのよ



もっと環境にやさしくなるんだね！

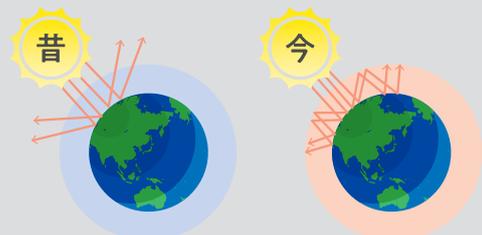
## 石油由来の

### プラスチックごみを燃やすとCO<sub>2</sub>が発生

横浜市のごみ処理に伴い発生するCO<sub>2</sub>の内訳



### CO<sub>2</sub>の増加が地球温暖化の原因に！



CO<sub>2</sub>が増えすぎると地球が温室のように・・・

### 横浜の気象が変化！

(単位：日)

	1993	2003	2013	2023
真夏日	18	35	56	84
猛暑日	0	0	4	9
熱帯夜	1	10	31	63

真夏日・・・30℃以上の日  
猛暑日・・・35℃以上の日  
熱帯夜・・・夕方から翌日の朝までの最低気温が25℃以上になる夜  
(出典：気象庁WEB)

環境にやさしい行動 = プラスチックごみの新しい分別から「GREEN×EXPO 2027」につなげよう



詳細はこちら



公式マスコットキャラクター  
トウンクトウンク

GREEN  
×  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN

開催期間 2027年3月～9月  
開催場所 横浜市瀬谷区・旭区

私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目した日本で初めての国際博覧会です。



© Expo 2027

プラスチックは燃やさずリサイクル～ごみの分別は身近な脱炭素アクション～

発行：2025年1月 制作：横浜市資源循環局業務課

# ごみと資源物の 分け方・出し方

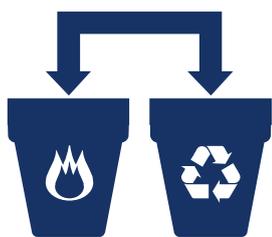
## 横浜市のごみ出しのポイント



決められた曜日の  
朝8時までに  
お出してください



透明または半透明の袋に  
入れてお出してください



ごみと資源物は分別して  
お出してください

※分別ルールを守らない場合、  
罰則制度があります



ごみの散乱を防止し、集積  
場所の美化にご協力ください

※集積場所は、利用する皆様によって  
設置・管理していただいています

### プラスチックごみの出し方が変わります！

令和6年  
10月～

旭区、泉区、磯子区、  
金沢区、港南区、栄区、  
瀬谷区、戸塚区、中区

令和7年  
4月～

全市  
18区

新しい出し方は  
中面をご覧ください

分別区分と排出方法	収集曜日	主な対象物と分け方のポイント	
<b>燃やすごみ</b> 一番長い辺が50cm未満 透明か半透明の袋に入れる。	週2回	<b>台所のごみ</b> ※水をよく切る <b>金属等を含むプラスチック製品</b> ビデオテープ、おもちゃ、使い捨てライター(中身を使い切る)など	<b>小型家電製品(電気・電池で動くもの)</b> <b>汚れた紙・破れた布</b> ピザの箱 納豆の紙製容器 銀紙 汚れた衣類(破れた衣類)
<b>燃えないごみ</b> 購入時の箱や新聞紙などで包み、品名を表示する。	曜日	<b>ガラス類</b> <b>陶器類</b> <b>蛍光灯電球</b>	<b>化粧品薬品のびん</b> 飲み薬のびんは 缶・びん・ペットボトルプラスチック製のキャップはプラスチック資源
<b>スプレー缶</b> 中身を出し切り、透明か半透明の袋に入れる。(スプレー缶だけをまとめて)	曜日	<b>スプレー缶</b> 整髪料 殺虫剤 ガスボンベなど	<b>穴開けは不要</b> 火気のない安全な場所で、中身を必ず出し切ってください。(中身がどうしても出し切れない場合は、資源循環局事務所にご相談ください。)
<b>乾電池</b> 透明か半透明の袋に入れる。(乾電池だけをまとめて)	曜日	<b>マンガン乾電池</b> <b>アルカリ乾電池</b> <b>コイン電池</b> (形式記号がCRまたはBR)	<b>ボタン電池(形式記号がSR、PR、LR)や小型充電式電池は回収協力店へ</b> (わからないときは販売店や資源循環局事務所にご相談ください。)
<b>プラスチック資源</b> 軽くすすぐなどして汚れを落としてから、透明か半透明の袋に入れる。	週1回 曜日	<b>◆プラスチック製容器包装</b> このマークが目印です。 <b>◆プラスチック製品</b> <b>プラスチックのみでできた一番長い辺が50cm未満のもの</b> チューブ類 カップ・パック類 トレイ類 洗面用具 台所用品 ポリ袋・ラップ類 キャップ類 ボトル類 屋外用品 おもちゃ チューブ類など、中が洗えないものは全部使い切ってお出してください。 50cm以上は粗大ごみ	<b>これらは燃やすごみ</b> 金属やシリコンなど、プラスチック以外の素材を含むもの まな板など、厚みがあって硬いもの ビニールひも・シートなど、広げると50cm以上のもの <b>小型家電製品(電気・電池で動くもの)は、小型家電回収ボックスへ、または電池類を取り外して燃やすごみ(バッテリーが外せない場合は別の袋で)</b>
<b>缶・びん・ペットボトル</b> ふたやラベルを外して中をすすぎ、透明か半透明の袋に、缶・びん・ペットボトルをまとめて入れる。	週1回 曜日	<b>◆食べ物や飲み物が入っていた缶とガラスびん</b> <b>◆飲み物、酒、酢、みりん、しょうゆなどが入っていたPETの表示のあるペットボトル</b> 缶はつぶさない ペンキ缶は小さな金属類 化粧品や薬品のびんは燃えないごみ	<b>ラベル・キャップはプラスチック資源</b> <b>主に手で選別していますので、注射針などを絶対に入れないでください。</b>
<b>小さな金属類</b> 一番長い辺が30cm未満 袋に入れない。(くぎなどの細かいものは袋に入れる。)	曜日	<b>◆なべ等は取っ手を含めず直径で測ります(主なもの)</b> <b>なべ・やかん・トースター・ペンキ缶・刃物・かさの骨・炊飯器の内釜など</b>	<b>刃物など危険なものは厚紙などに包み、品名を表示してください。</b>
<b>古紙</b> 品目ごとにまとめ、ひもでしばる。(その他の紙は、紙袋に入れる。) <b>古布</b> 透明か半透明の袋に入れる。 <b>資源集団回収</b> 自治会町内会・子ども会などで実施している 出す(横浜市での回収ではありません。)	週1回と週2回の 曜日	<b>新聞</b> <b>雑誌</b> 品目ごとにまとめ、ひもでしばる <b>段ボール</b> 折りたたんでひもでしばる <b>紙パック</b> 洗って切って、開いて乾かしてひもでしばる <b>その他の紙</b> 包装紙、メモ用紙、シュレッダーにかけた紙、お菓子などの紙箱、レシート、紙袋、絵を描いた紙など <b>これらは燃やすごみ</b> ○汚れた紙 ○においのついた紙 ○ヨーグルト・アイスクリームの紙製容器、カップ麺の紙製容器、洗剤の紙製容器、石鹸の個別包装紙 ○リサイクルに向かない紙 銀紙、裏カーボン紙、捺染紙(アイロンプリント紙など)、感熱発泡紙(点字などに使用する加熱すると盛り上がる紙)	<b>衣類・シーツ・毛布・カーテン</b> 洗濯して乾かしてから半透明の袋に入れてください。 <b>汚れたもの、破れたもの、わたが入っているものは燃やすごみ</b> <b>雨に濡れるとカビが発生し、リユースできなくなるため、雨の日は出さないでください。</b>
<b>粗大ごみ</b> 手数料を納め、収集日当日の朝8時までに、申込時に確認した場所へ出す。 <b>お申し込み先は裏面をご覧ください。</b>	有料 申込制	<b>一番長い辺が、金属製品で30cm以上のもの 金属以外(プラスチック製品、木製品など)で50cm以上のもの</b> 50cm未満で、主にプラスチックでできている小型家電製品(電気・電池で動くもの)は、電池類を取り外して小型家電回収ボックスまたは燃やすごみ	<b>横浜市で回収しないもの</b> <b>テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・エアコン 洗濯機・衣類乾燥機</b> その製品を購入したお店、または新しく購入したお店に引き取ってもらってください。購入したお店が不明な場合は、横浜家電リサイクル推進協議会へご連絡ください。 0120-014-353 または 0120-632-515 <b>パソコン</b> パソコンメーカーが回収します。直接メーカーにお申し込みください。自作などメーカーがない場合は、パソコン3R推進協会(☎03-5282-7685)にお問い合わせください。一部のサイズの物は、小型家電回収ボックスで回収しています

環境にやさしい行動 = プラスチックごみの新しい分別から「GREEN×EXPO 2027」につなげよう

GREEN x EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

開催期間 2027年3月～9月  
開催場所 横浜市瀬谷区・旭区

GREEN×EXPO 2027は、私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目した日本で初めての国際博覧会です。

詳細はこちら

プラスチックは燃やさずリサイクル～ごみの分別は身近な脱炭素アクション～

## 粗大ごみ受付センター

インターネット・チャット・LINE



おすすめ!



横浜市 粗大ごみ 検索

電話

受付 月曜日～土曜日  
8:30～17:00

年末年始以外は  
祝日も受付

休み明けは  
電話が大変  
混みます

- 一般加入電話などから  
☎ 0570-200-530 (ナビダイヤル)
- 一般加入電話以外の方(携帯電話・IP電話など)  
☎ 045-330-3953

FAX (聴覚・言語に障害のある方専用)

名前・住所・FAX  
番号・品物・材質・  
大きさ・個数を明記

045-550-3599

## ごみ分別に迷ったら

ごみ分別検索システム

ミクショナリー  
Mictionary

ミクショナリー 検索



出し方を  
簡単に検索  
できます!

正しい出し方の  
詳細はこちら



### 収集車の火災が多発!!

モバイルバッテリーや、バッテリー  
内蔵の小型家電製品が原因

近年、収集車の火災が市内でも多発している。その原因はバッテリー(リチウムイオン電池)だ。リチウムイオン電池は、圧力や強い衝撃を受けると発火する恐れがある。収集車の中で押しつぶされることで発火し、火災につながっている。ひとたび収集車や処理施設で火災が発生すると、多大な損失が生ずるだけでなく、施設で発生した場合に、復旧まで収集が停止するおそれがある。横浜市は「バッテリーが取り外せるものは取り外してリサイクルボックスに、取り外せないものは、他のごみと袋を分けて「燃やすごみ」の日に出して」と市民の皆さんに協力をお願いしている。

## 資源循環局事務所

お問い合わせは、お住まいの区の事務所へ

受付 月曜日～土曜日  
8:00～16:45

- ごみと資源物の分け方・出し方について
- ごみの収集について
- 集積場所について
- 動物死体処理についてなど



資源循環局事務所  
一覧 (市ホームページ)

区	電話	FAX	区	電話	FAX
鶴見区	502-5383	502-5482	金沢区	781-3375	788-0269
神奈川区	441-0871	441-5938	港北区	541-1220	541-1224
西区	241-9773	251-1791	緑区	983-7611	982-7973
中区	621-6952	625-2932	青葉区	975-0025	975-0028
南区	741-3077	741-6492	都筑区	941-7914	941-8409
港南区	832-0135	832-5204	戸塚区	824-2580	824-2820
保土ヶ谷区	742-3715	742-4931	栄区	891-9200	893-7641
旭区	953-4811	953-6669	泉区	803-5191	803-7951
磯子区	761-5331	754-6109	瀬谷区	364-0561	391-4784

未来をつくる、神奈川県民のための

# 火災共済

もっと詳しく知りたい!

カンタン! 2分  
Webから資料請求!



広告

火災・落雷・盗難に伴う破壊など

手頃な掛金でそなえる保障!

築年数に関係なく、同じ加入基準額でご契約いただけます!

建物1,000万円の保障の場合 年間掛金

マンション等  
耐火構造専用住宅 **4,000円**

木造・準耐火等  
非耐火構造専用住宅 **8,000円**



一組合員の皆さまが火災等に遭った時、互いに助け合う制度です \*新規加入の際、出資金100円をお預かりいたします。\* 広告内容は概要のため、詳細はお問合せください。

横浜市民共済生活協同組合

横浜市中区日本大通 58 日本大通ビル 8階



0120-073-203

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

2025年1月発行 横浜市資源循環局業務課

本依頼文が正式依頼となります。後日郵送での再依頼はありません。

都 筑 政 第 号

令和7年 月 日

<<配布団体名>> 様

都筑区区政推進課長

広報よこはま等の配布謝金支払いに係る  
配布部数（令和6年度下半期分）の確認について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

広報配布事業につきまして、日ごろからご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年度下半期（令和6年10～7年3月号）分の広報よこはま等の配布謝金のお支払いにあたり、配布部数を確認させていただきます。

つきましては、内容をご確認のうえ、令和7年2月14日（金）までに同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記担当までお問い合わせください。

※期限までに書類のご返送がない場合は、訂正はないものとして、上半期謝金をお振込みした口座にお振込み手続きを進めさせていただきます。

なお、振込先口座に変更がある場合は、同封の「口座振替依頼書」をあわせてご提出ください。

#### 【返送期限】

令和7年2月14日（金）までに返送してください。

#### 【提出書類】

- ・ 広報よこはま等の配布部数確認票（部数）
- ・ 口座振替依頼書（上半期支払いから口座情報に変更があった場合）

担当 都筑区区政推進課広報相談係 青野、中村

電話：045(948)2222 FAX：045(948)2228

E-mail:tz-koho@city.yokohama.lg.jp

&lt;&lt;配布団体名&gt;&gt; 様

## 広報よこはま等の配布部数確認票

下表は、貴自治会・町内会及び配布団体の令和6年度下半期分（令和6年10～7年3月号）の謝金対象配布部数です。配布部数をご確認いただき、下の回答欄に訂正の有無、団体名及び代表者名をご記入の上ご返送ください。

(配布部数の算定基準)

10月～1月は配送実績に基づいた部数、2・3月は配送見込み部数を記載しています。修正がある場合は、二重線をひき、赤字で修正してください。

	R6.10月号	R6.11月号	R6.12月号	R7.1月号	R7.2月号	R7.3月号	下半期計
部数	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	Xxx
(謝金額の算定基礎)						下半期謝金計(*)	
「広報よこはま」 毎月配布 一部9円×6回					¥ xxx	¥ xxx	
「県のたより」 毎月配布 一部8円×6回					¥ xxx		
「議会だより」 11月、2月配布 一部4円×2回					¥ xxx		

## 【回答欄】

どちらかにチェックを記入してください。

- 訂正なし  
 訂正あり(上記部数表に赤字で修正したとおり)

(報告者)

役職(会長・会計等): \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_

【報告期限】 2月14日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。

- ・期限までに書類のご返送がない場合は、配布部数の訂正はないものとして、お振り込み手続きを進めさせていただきます。お振込みは3月末日までに行う予定です。
- ・上半期分振り込みの際にいただいていた振込先に変更がございましたら、同封の「口座振替依頼書」をあわせてご提出ください。

## 口座振替依頼書

令和 年 月 日

横浜市長  
横浜市 都筑 区長所在地.....  
団体名.....  
代表者名.....

令和6年4月1日以降、横浜市及び区から交付される令和6年度の地域活動推進費、地域防犯灯維持管理費補助金、広報紙配布謝金（議会だよりを含む）、「町の防災組織」活動費補助金を次の金融機関へ振り込みください。

金融機関名	銀行 信用金庫	支店 出張所 支所
預金種目	1 普通	2 当座
口座番号		
(フリガナ)		
口座名義人	(通帳に記載されているとおり団体名も含め全て記入してください。)	

※ 口座名義人が個人名で、会長（代表者）以外の場合は記入願います。  
上記口座に横浜市及び区から交付される補助金等の受領に関する権限を委任します。

委任者 代表者

印

## 【注意事項】

- 口座名義人が代表者と異なる場合は、代表者の印を押印のうえ提出してください。  
(スタンプ印は不可)
- 金融機関、口座名義人等の欄には、**団体の預金通帳に記載されているとおり記入してください。**
- 会長（代表者）又は預金通帳記載事項に変更があった場合は、その都度口座振替依頼書を提出してください。
- 記載事項の訂正は二重線で見え消しし、会長（代表者）印で訂正印をお願いします

名称	「テクニカルショウヨコハマ2025」(第46回工業技術見本市)
テーマ	「技術を創る 未来を創る」
開催趣旨	最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市として、出展者・来場者の皆さまに業界の枠を超えた情報の発信、収集、交流を広範囲に展開していただき、技術・製品の販路拡大、ビジネスチャンスの創出、地域産業の振興を図ることを目的とする。
出展者数	795社・団体 出展小間数 644小間(2024年11月7日現在)
会期	2025年2月5日(水)～7日(金) 10:00～17:00
会場	パシフィコ横浜展示ホールA・B・C(横浜市西区みなとみらい1-1-1) 13,300㎡ (出展者PRページ<公式HP内>:2025年1月14日(火)～2月28日(金))
入場料	無料
主催	公益財団法人神奈川産業振興センター、一般社団法人横浜市工業会連合会、神奈川県、横浜市(順不同)
後援	ウェブサイト参照
公式HP	<a href="https://www.tech-yokohama.jp/">https://www.tech-yokohama.jp/</a>



**概要** 首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ 2025」において、付加価値の高いものづくりに取り組む市内中小企業やIoT等を活用したビジネス創出を目指す企業を応援するスペースとして「横浜ものづくりゾーン」を設置します。出展企業の皆様の技術・製品を、統一的なデザインを施したブースで展示することにより販促活動の効果を高めます。

**出展分野** 「横浜ものづくりゾーン」:付加価値の高いものづくりに取り組む市内中小企業を応援するゾーン。

**出展者数** 80社・団体

**出展企業**

【横浜ものづくりゾーン】

【個別出展企業】

株式会社アサイ・エンジニアリング／有限会社飯田製作所／株式会社池上精機／株式会社イシトク／株式会社エフィシエント／ Erebos Cybernetics株式会社／  
共同開発グループエンバイロン. 企画(個人事業)一般社団法人Green Earth Again /株式会社 ガードアイ／斉藤光学株式会社／株式会社CIJ /株式会社ジッテ／有限会社鈴木機械彫刻所／  
デクスタ株式会社／ドローン・アイティー株式会社／ニイガタ株式会社／日東発条株式会社／日本軸受加工株式会社／日本自働精機株式会社／プラムネット株式会社／株式会社ホープ／ホロンズ株式会社／  
マイクロモジュールテクノロジー株式会社／株式会社MURONE／株式会社ワイオーケ・センサテクノロジー／株式会社ワタナベ

【メイドインつづき】

アポロテック株式会社／アントム株式会社／株式会社オウミ／有限会社大越産業／株式会社オクタノルムジャパン／株式会社コア・エレクトロニックシステム／光輝化成株式会社／伸光写真サービス株式会社／  
株式会社スズミ／株式会社スリーハイ／善友印刷株式会社／相互電機株式会社／第一塗装工業株式会社／大幸紙工株式会社／株式会社ティール・エス・ジー／東京精密発条株式会社／株式会社ナベセイ／  
日生発条株式会社／葉山工業有限会社／ピーエムユー株式会社／日之出産業株式会社／有限会社廣杉精機／株式会社ものづくりヨコハマ／株式会社山星製作所／山村フォトニクス株式会社／ユニパー株式会社／  
合同会社Easy Dialog /株式会社辰和／有限会社キョーシン

【横浜青年経営者会】

株式会社コイズミツール／株式会社武杉製作所／アートワーク株式会社／株式会社ニッター／有限会社本間製作所／株式会社関東精密／株式会社菊伊歯車／有限会社ロッキー化成／株式会社小林電機／  
株式会社三陽製作所

【LINKAI横浜金沢】

株式会社室伏製作所／株式会社キュー・アイ／株式会社エッチアールディ／株式会社 景泉機器／協立金属工業株式会社／株式会社バイテック／株式会社トーコン／株式会社シラド化学／  
株式会社チューブフォーミング／三和化成工業株式会社／株式会社南武／協和合金株式会社

【横浜市販路開拓支援事業 認定企業】

株式会社 ESS／アルケリス株式会社

【行政関係】

横浜市経済局／一般社団法人横浜市工業会連合会／公益財団法人横浜企業経営支援財団



横浜  
ものづくり  
ゾーン

横浜ものづくり  
ゾーン  
出展者受付  
(2月4日設置)

主催者事務局  
(B13ルーム)

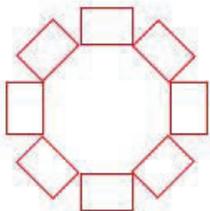
テクニカルショー  
運営事務局  
(C11ルーム)

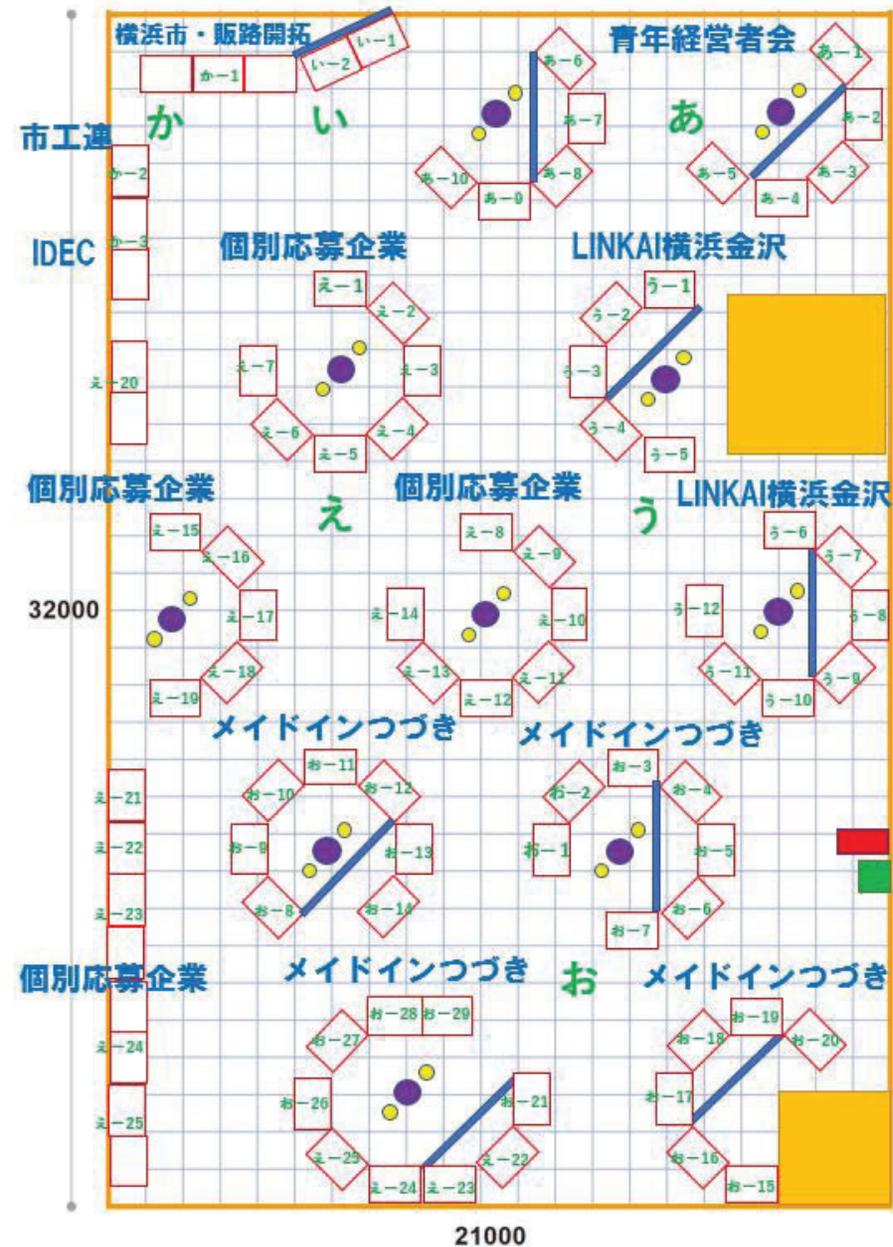
会場入口

ヤマト運輸  
受付カウンター  
搬出日(2月7日)設置  
16:00~18:00

会期中  
出展者専用 出入口

凡例

- メインマーカー
- サブマーカー
- 団体利用スペース
- 展示台
-  島
- ハイテーブル
- ハイチェア
- ゾーンマップ付  
サイン台



## 開催会場・アクセス

パシフィコ横浜 Dホール  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1  
みなとみらい線 みなとみらい駅 徒歩5分



### みなとみらい線

「みなとみらい」駅から徒歩5分

### JR京浜東北線

「桜木町」駅から徒歩12分

### 横浜線

「桜木町」駅から徒歩12分

### 市営地下鉄ブルーライン

「桜木町」駅から徒歩12分

## 詳細情報

イベント詳細・来場登録・災害対策セミナーの  
お申込みはHPよりご確認ください

「震災対策技術展」

検索



## お問い合わせ・お申込み

「震災対策技術展」事務局  
エグジビション テクノロジーズ 株式会社  
〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館8F  
TEL. 03-5775-2855 FAX. 03-5775-2856  
URL. <https://www.shinsaexpo.com/yokohama/>  
E-mail. [shinsai@exhibitiontech.com](mailto:shinsai@exhibitiontech.com)  
入場登録券を追加ご希望の場合も、上記までお問い合わせください

## 招待状

首都直下地震への対策、能登半島地震・複合災害への復興等を  
「防災×テクノロジー」の発信で、減災をもたらす



## 第29回「震災対策技術展」

Earthquake Technology Expo  
Natural Disaster Recovery Technology Expo  
2025



2025年

2月6日(木)・7日(金)

10:00~17:00

パシフィコ横浜 Dホール

同時開催 ● 第16回「振動技術展」 ● 地震ザブトン体験コーナー  
● 第5回「防災食品展」 ● ハザードマップ配布コーナー  
● 車輛展示コーナー

ご来場をお待ちしています

主催

「震災対策技術展」実行委員会

第29回「震災対策技術展」-自然災害対策技術展 出展者・製品一覧(2024年12月26日時点)

出展者・製品の詳細はこちらから →



カテゴリー	会社名	共同出展者	製品名	製品ID
地震対策	日栄インテック(株)		(W)BBカチットワイヤー16・BBクリッパー	N-Safe
	(株)オルテック		耐震対策金具 POM シリーズ/フロア耐震マット	
	(株)サイエンス構造	PLジャパン(株)	耐震シェルター	クリアウレア
	PLジャパン(株)	(株)サイエンス構造	レジリエンスウレア/クリアウレア	
	(株)枚方技研		耐震固定商品:タックゲル、ピタシリーズ	
	(株)ニッケン鋼業		ベッド型シェルター『防災ベッド』	
	(株)勝島製作所		地震収録装置AccuSEIS CantoPRO(セントプロ)	
	(株)ナレッジフォーサイト		ゆれMON-4(省電力小型地震計)	
	(株)山小電機製作所		地震時自動解錠ボックス	
	(株)エーアイシステムサービス		緊急地震速報システム『Ai-SYSTEM』	
	白山工業(株)		広域・多拠点の被害状況を一元管理!『IoT地震観測サービス』	建物の詳細な被害状況を把握!『VissQ(ビスクュー)』
	東邦電気(株)		感震プレーカ	
	(株)テー・シー・アイ		転倒防止装置TAG(エージー)	
	(公社)世田谷工業振興協会		ソーラー避難誘導塔 AE-TOWER	
	フジワラ産業(株)		安心防災ベッド枠	災害救助道具セット
ミホ工業(株)		戸建て用耐震シェルター		
文化財石屋・石機修理補強技術協会		石積擬壁耐震補強対策工法		
(有)エコルート		地震シェルター 簡易組立式 家庭用/事業所用 耐荷重75トン		
(株)石川建築設計		アケルくん		
津波対策	(株)ミズノマリ		津波救命艇シェルター +CALBF +CAL4F	
	(株)日さく		呼び水不要の防災用押し井戸ポンプ	
避難所・衛生対策	WAQ(株)		WAQ 2WAY フォールディングコット 600D	WAQ インフレーターマット 8cm 自動膨張
	四国紙販売(株)		衛生用品	
	ヒジリヘルスケアプロダクツ(株)		その場で作る除菌ウェットタオル	
	ヤマトエスロン(株)		無水ハミガキ	
	マイクロテック(株)		循環式置くだけ手洗い器	淡水用浄水器、海水対応浄水器
備蓄品	帝人フロンティア(株)		まるごと防災	
	(株)ダイイチ		蓄電池、企業防災備蓄商品	
	関西ペイント(株)		抗菌・抗ウイルス段ボール製簡易トイレ	抗菌・抗ウイルス段ボール製簡易トイレ(コンパクトサイズ)
	ファシル(株)		地域貢献型 災害用備蓄スタンド BISTA	社会貢献型 シェアする防災セット
	(株)エクセルシア		災害用トイレ「ほっ!トイレ」	
	(株)スマイルプラザージャパン		備蓄型組立式個室トイレ「ほほ紙トイレ」	
	(株)長田製作所		見せる防災備蓄庫 Stock-Stock	
	(株)ミヤサカ工業		非常用浄水器「飲めるソウ」シリーズ	非常用浄水器「飲めるソウ」シリーズ
	ホリアキ(株)		災害備蓄用簡易トイレ「インスタントトイレ」	
	丸善(株) 防災備蓄用簡易トイレ「インスタントトイレ」		リバーシブルハンドウォーマー、ネックウォーマー、リバーシブルコート、リバーシブルベスト	
	(株)サンコー		簡易トイレ	
	(株)エイアンドエティ		災害用浄水器	
	(株)帝健		つまづき予防・むくみ対策フリーサイズソックス	
	(株)WILLTEX		WILLCOOK* PACKABLE	WILLCOOK*DRIVE
	丸善薬品産業(株)		おたすけ丸	
関西紙工(株)		紙製防災袋3種		
オールサム(有)		超防災非常用トイレ		
eau&company(株)		ポータブル自然水浄水器		
milab(株)		防災備蓄管理システム『BxLink(ビーリンク)』		
(株)カスターネット そなえる.com		そのまま持ってけBOX		
非常用通信対策	テレネット(株)		災害用無線機ハザードトーク ほか	災害用無線機ハザードトーク
	テクノホライズン(株)		電子作戦テーブルELMO DXテーブル	リアルタイム情報共有システム『ELMO コラボレーション』
	(株)シンクロアイズ		ライブ映像配信システムDroneAZ(ドローンアイズ)	遠隔作業支援システムSynchroAZ(シンクロアイズ)
電力対策	三乗工業(株)		ミニ・サイレンサー B8070	ミニ・サイレンサー ガス発電機用防音ボックス
	MIRAI-LABO(株)		自律型ソーラー街路灯THE REBORN LIGHT smart、充電式特殊LED投光器X-teraso	リフィルバッテリー式発電機G-CROSS
	(株)ジェーピージェネレーターズ		JPGシリーズ	
	(株)ヨシノパワージャパン		ポータブル電源	
	和光機械工業(株)		LEDバルーン照明機	
	(株)ネクセル		ポータブル蓄電池	
	東和航空輸送(株)		次世代疑似太陽光投光器	
	(有)エコルート		無騒音発電機 ポータブル発電機へ被せるだけで無音を実現	
救助・救出支援	(株)D.R Pocket		災害時用発電機	
	(株)帝健		救助担架プレスト(非常階段の安全避難に適しています)	
水害対策	(有)ケイ・ピー・ディ		人命探索補助レーダー ミマモレーダー	
	(株)リンテック21		水害対策車浮上シート	
	(株)ユニメーションシステム		浸水警報装置	
	四国プランニング(株)		アルミニウム製止水板	
	中部美化企業(株)		浸水対策用防水板『ウォーターシャッター』	浸水対策用簡易防水板『ウォーターシャッターライト』
BCP関連	(株)ナレッジフォーサイト		KanTen(気象計)	KanTen(気象計)
	(株)三恵工作所		軽量止水パネル『Lite Gate』	浮力昇降式無人防潮扉『Sig Gate』
	(株)Spectee		『Spectee Pro』	Spectee SCR
防災啓発	(一財)日本気象協会		熱中症リスク対策(リスク推計と防災アプローチ)	熱中症リスク対策(リスク推計と防災アプローチ)
	トヨクモ(株)		安否確認サービス2	
	ストラテジー(株)		緊急地震速報・津波情報と連動したBCP情報共有システム	
	(独)都市再生機構		災害対応支援及び復興支援の取組み等の紹介	
各種災害対策	(国研)防災科学技術研究所		J-SHISハザードステーション	
	(一財)日本気象協会		AR技術でぬれずに大雪と吹雪を疑似体験『FUBUKI』フブキ	
	(国研)土木研究所 寒地土木研究所		3D浸水ハザードマップ作成技術	
	首都高メンテナンス神奈川(株)		『首都高防災セット』	『ステイコーン*』
	首都高メンテナンス東京(株)		3D三角コーン	
	(株)トップウォーターシステムズ		災害時移動型RO無菌純水装置『TOプレスキューXR0』	災害時移動型RO無菌純水装置『TOプレスキューR05』
	ビット・パーク(株)		Jアラート対応! リモート鍵収納箱『コボX II』	
	クロスイメージング(株)		防災情報自動アナウンスシステム Media Voice Station	
	トーハツ(株)		自動可搬消防ポンプ	
	(株)ファイトロニクス		無人多目的用途クローラ	
非常食	(株)ダイレクトカーズ		車中泊・キャンピングカー	
	(株)カスターネット そなえる.com		マルチイレグズinポーチ『コレポ』	
	(有)山本商事		HOTPLUS あったかフードボックス	HOTPLUS マルチウォームバッグ
	三徳屋(株)		そのまんまOKカレー	
	ENJOY BOUSAI		おいしい非常食と防災グッズ、ENJOYBOUSAI BOX	あったかフードENJOYBOUSAI BOX
	(株)木の屋石巻水産		木の屋のご飯缶『あなご飯』	木の屋のご飯缶『たご飯』
	(株)セイエンテクノ		サバイバルフーズ	サバイバルフーズ サプリメント
	(株)丸山製麺		業界初・小麦麺を使ったらめん缶	
	(株)イケムツ		ドラム缶風呂用釜(災害時には炊き出しにも使えます)	
	アスト(株)		新食缶ベーカー 各種	AST新 備 玄米リゾット 各種
	井村屋(株)		えいようかん	備蓄用ゆであずき85g
	丸善薬品産業(株)		ばくっと黒糖	
	(株)永谷園		長期保存食 フリースドライごはん(わかめ味・梅しそ味・カレー味・ピラフ味・白飯)	
	マルキ(株)		漬保乃糸を使った防災食	
	(株)LLC		保存食	
日本ハム(株)		自衛隊隊員食モデル防災食(ハンバーグ、ポークソーセージ、鶏と根菜のうま煮、やきとり)		
(株)三笠会館		レトルトパウチ		
(株)ウーケ		パックごはん、パックおかゆ		
ロート製薬(株)		防災食品		
ジャパングッズ(株)		備蓄おにぎり		
(株)イマジョー		HOTPLUSあったかフードボックス		

## 横浜国際プール再整備事業計画 (原案) について

### 項目

- 1 横浜国際プールの目指す姿とリニューアルビジョン
- 2 素案について地域の皆様からいただいたご意見
- 3 市民の皆様のご意見を踏まえた素案からの主な変更内容
- 4 再整備の内容
- 5 事業手法と今後の流れ
- 6 施設の名称

# 1 横浜国際プールの目指す姿とリニューアルビジョン

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

## ○横浜国際プールの目指す姿

子どもたちが多様なスポーツを体験し 成長する場として  
小さな子どもと一緒に 親子がゆとりの時間を過ごせる場として  
市民の皆様がスポーツを通じた交流を重ね にぎわいが生まれる場として  
そして  
誰もが共に多様なスポーツを楽しめるインクルーシブなスポーツ拠点として  
より開かれた 多くの市民の皆様にご喜ばれる施設へと生まれ変わります

# 1 横浜国際プールの目指す姿とリニューアルビジョン

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

## ○リニューアルビジョン

### 次世代を育む複合型スポーツアリーナ

～子どもが主役の夢とにぎわいが生まれる場所に～

#### ○4つの視点

①親子の遊びと  
ゆとりの居場所づくり

②市内小中高生が集う  
スポーツの拠点

誰もが共に  
多様なスポーツを  
楽しむ場

③スポーツを通じた市民の  
コミュニティスペース

④障害の有無などに関わらず  
誰もがスポーツを楽しむ場

未来への負担を減らした持続可能な施設へ

## 2 素案について地域の皆様からいただいたご意見

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

素案の公表後、市民意見募集を行うとともに、地域の皆様や近隣の児童・生徒の皆様からもご意見を伺いました。

### (1) 地域の皆様との意見交換

令和6年6月～7月にかけて、都筑区連合町内会自治会の地区連合町内会自治会会長の皆様や、本施設が位置する連合町内会自治会、自治会町内会、地域の商業振興会に素案の内容についてご説明し、意見交換を行いました。

項目	主なご意見
施設改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早急に進めて早く工事が終わるようにしてほしい。</li> <li>・障害者の方や子育て世帯にとってもサブプールを使いやすくしてほしい。</li> </ul>
施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜国際プールを皆が楽しめる場所にしてほしい。今は、施設内を利用する人が多いが、利用者が限られている。</li> <li>・基本的に賛成の考えである。若い世代が使う施設になることがいい。</li> <li>・屋外のスペースを活用して、外でも遊べるようにしてほしい。どこにもないような画期的な遊具を設置し、試合を観なくても遊びに来られるような場所になると良い。</li> </ul>
周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北山田駅からのアクセスについて障害のある方は苦労している。スロープを障害のある方も自力で上がれるようにするなど改善してほしい。</li> <li>・駅から国際プール、山田富士公園までのアクセスを改善してほしい。</li> </ul>



## 2 素案について地域の皆様からいただいたご意見

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

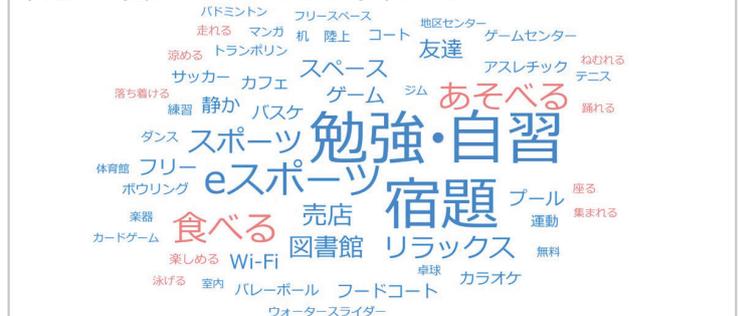
### (2) 地域の子どもたちへのアンケート

○横浜国際プール周辺の近隣小学校3校・中学校1校へのアンケート調査を行いました。

問1この施設のなかでどんなことがしたいですか？



問2この施設のなかでどんな場所があるといいですか？



問1では、「練習」、「スポーツ」というキーワードの登場回数が多く、具体的なスポーツとして「バスケット」「バレーボール」「水泳」が多くみられました。問2では、「宿題」「勉強・自習」というキーワードが最も登場回数が多く、スポーツだけではなく、学習に取り組む場所を求める意見がみられました。

※各設問に対していただいたご意見の中にあるキーワードを抽出し、キーワードを件数に応じ文字の大きさと表現しました。文字が大きいものほどご意見が多かったキーワードです。青字は名詞、赤字は動詞を表しています。

### 3 市民の皆様のご意見を踏まえた素案からの主な変更内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

#### (1) サブプールの更なる機能強化

観客席を素案の500席程度から700席程度に増やします。

バリアフリー動線の確保、だれでも更衣室、バリアフリースイールの設置などを行います。



#### (2) 練習用プールの整備

25m×5レーンの練習用プールを整備します。

だれでも更衣室、バリアフリースイール、選手の待機スペースなどにも活用できる多目的スペース等を整備します。



#### (3) 人にやさしいアクセス環境の整備

車いす利用者やベビーカーをはじめ、施設利用者にとってのバリアフリー経路の確保のために、北山田駅から施設への最短の経路となる階段の横に斜行モノレールを設置します。



※インクルーシブの視点を踏まえた整備内容の検討にあたっては、パラ水泳団体等と意見交換を行いました。

### 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

#### (1) メインアリーナの通年スポーツフロア化

- ・ 体育館の利用ニーズに対応するため、メインプールを廃止して通年スポーツフロアに改修し、障害の有無などに関わらず誰もが多様なスポーツを実施できる施設として、市民のスポーツの場を拡充します。
- ・ 年間を通じて、スポーツ大会の開催や小中高生の様々な催事に対応します。
- ・ 利用状況に応じて、室内の一部にエア遊具を設置するなど親子で楽しめる場を作ります。
- ・ 様々なスポーツ興行にも対応可能となるよう、現在最も要求水準の高いB、PREMIERクラブライセンス交付規則〔ホームアリーナ基準〕に沿って大型映像装置、空調・音響設備改修等のアリーナ機能の拡充とスイート・ラウンジやファミリー席等の整備を行います。



ファミリー席整備イメージ

席数	約5,000席→6,000席以上（可動席を含む）
主な整備内容	大型映像装置更新・設置、空調設備更新、音響設備更新、スイート・ラウンジやファミリー席等整備、特定天井脱落対策

## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (2) サブプールの機能強化

- ・長水路（50m）を生かしながら、観客席の増設、映像装置、空調設備の改修等を行います。
- ・観客席を現状の355席から約2倍の700席程度まで増設します。
- ・エントランスからプールサイドまでのバリアフリー動線を確保し、だれでも更衣室、バリアフリースイールの設置などを行います。
- ・後述の練習用プールと併せ、公益財団法人日本水泳連盟の定める公認プール施設要領に記載の国内プールAを念頭に整備します。



席数	355席→700席程度
主な整備内容	映像装置更新、空調設備更新、バリアフリー動線の確保、だれでも更衣室、バリアフリースイールの設置



※国内プールAに必要な設備等の例  
 施設 : 50m 8レーン以上、レーン幅 2.00m~2.50m  
 水深 1.35 m 以上  
 練習施設 : 50mプールまたは 25mプールを併設する  
 観客席 : 800 席以上とすることが望ましい

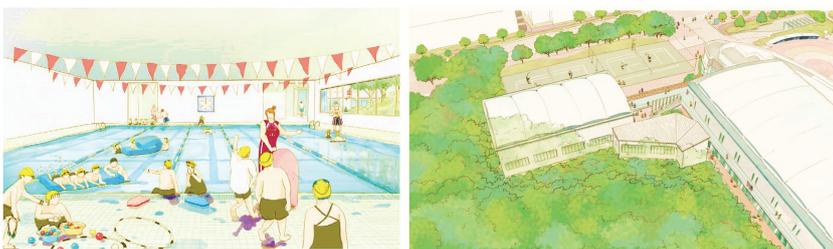
## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (3) 練習用プールの整備

- ・だれでも更衣室、バリアフリースイール、多目的スペース等の付帯設備を持つ、インクルーシブな視点を踏まえた練習用プールを整備します。
- ・サブプールでの大会開催時のウォーミングアップやクールダウン用のプールとしての利用や、水泳教室での利用等を想定しています。

仕様	25m×5レーン
付帯設備	だれでも更衣室、バリアフリースイール、多目的スペース等



■練習用プール整備場所



## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (4) 子どもや親子が楽しめる空間の整備

- ・幅広い世代が自由に訪れ交流ができ、子どもたちが学習等もできるスペースとして**コミュニケーションスペース**を設置します。
- ・スポーツマンガライブラリー等、休憩コーナーを改修して**子どもたちがスポーツに親しめる場**を作ります。
- ・敷地全体で、地域の皆様がいつでも立ち寄れ、また来たくなるスポーツと健康づくりの場となるよう、**屋外遊具**を設置し、質の高い、インクルーシブな遊び場を作ります。

■スポーツマンガライブラリー設置イメージ



再整備前



再整備後イメージ

■屋外遊具設置イメージ



主な設備	書架スペース、閲覧スペース、ベビールーム（授乳室等）、コミュニケーションスペース、屋外遊具
------	---

## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (5) 脱炭素・防災力向上

#### ・脱炭素化の推進

太陽光発電、高効率空調設備、照明のLED化等を導入し、持続可能な都市の実現を目指し、本市が進める脱炭素化を推進します。

#### ・地域防災力の向上

広い敷地を生かし、引き続き、大規模災害時に帰宅困難者を一時的に受け入れ、休憩場所のほか、可能な範囲でトイレ、水道水等や情報の提供を実施する「帰宅困難者一時滞在施設」として機能し、市民の皆様だけでなく、この街を訪れる方々が安心して過ごせるまちづくりを進めます。

あわせて、施設を地域の防災訓練等で活用し、日常的に防災意識向上と地域の連携強化を図れるよう、かまどベンチやソーラー街路灯等を設置します。



かまどベンチイメージ



ソーラー街路灯イメージ

## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (6) 人にやさしいアクセス環境の整備

北山田駅から横浜国際プールまでのアクセスルートのうち最短のルートには、**高低差が約17メートル（6階建て建物の屋上高さに相当）の階段**があり、バリアフリーが確保されていないため、車いす使用者やベビーカーではアクセスできないことが課題となっています。

バリアフリーの観点から3案（斜行モノレール、エレベーター、スロープ）の整備手法を検討した結果、コスト、輸送力、使いやすさ等の点から、**斜行モノレールを整備**します。

	斜行モノレール	エレベーター	スロープ
			
評価	エレベーターとほぼ同様の操作で運用可能。 <u>工期が短く施工範囲も最小限となり、周辺への影響が少ない</u>	使い慣れた移動手段で運用もスムーズ。建築と橋梁共に大規模な <u>工事が必要となる</u>	総長370mの傾斜路はバリアフリーの基準を満たしても利用上の課題がある
仕様	・定員：16名、エアコン完備 ・バリアフリー(車いす)対応	・定員：11名、エアコン完備 ・バリアフリー(車いす)対応	・バリアフリー基準に適合する緩やかなスロープ ・総長：約370m

## 4 再整備の内容

明日をひらく都市  
OPEN×PIONEER  
YOKOHAMA

### (7) 再整備による運営費等の削減効果

	床転換を継続 (現状維持)	通年プール化の 場合	通年スポーツ フロア化の場合	現状と通年スポーツ フロア化の場合の差
運営費	約6.0億円/年	約5.6億円/年	約5.7億円/年	▲約0.3億円/年
光熱水費	約3.0億円/年	約3.7億円/年	約2.4億円/年	▲約0.6億円/年
支出合計	約9.0億円/年	約9.3億円/年	約8.1億円/年	▲約0.9億円/年
利用料収入	約4.0億円/年	約4.1億円/年	約4.7億円/年	約0.7億円/年
横浜市 負担分	指定管理料等	約5.0億円/年	約5.2億円/年	▲約1.6億円/年
	保全費	約0.9億円/年	約0.9億円/年	▲約0.3億円/年
	合計	約5.9億円/年	約6.1億円/年	約4.0億円/年

※ 現時点での試算であり、今後、事業内容等の精査により変動します

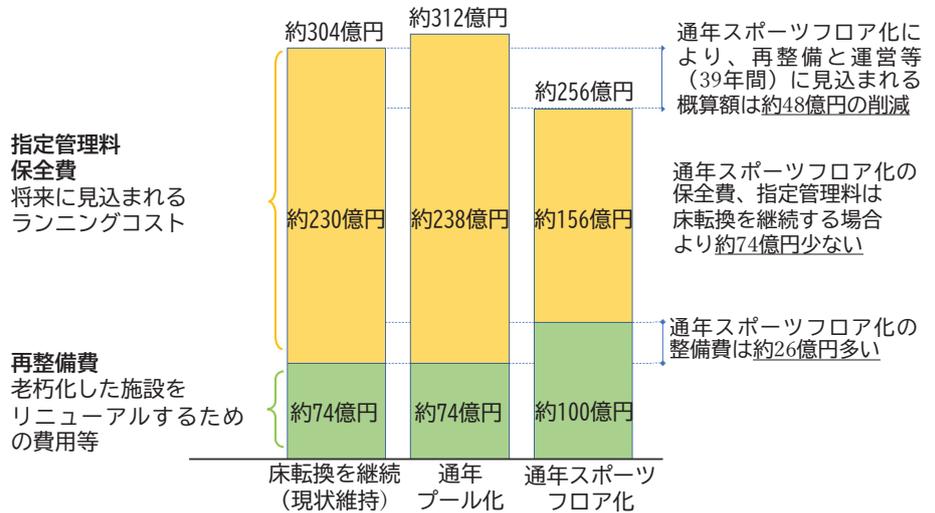
## 4 再整備の内容

### (8) 再整備と運営等に見込まれる概算額

通年スポーツフロア化する場合の再整備費用は、床転換を継続する場合の再整備費用よりも、約26億円多くかかる見込みです。一方で、通年スポーツフロア化する場合のランニングコストは、床転換を継続する場合よりも、約74億円削減できる見込みです。

そのため、再整備と運営等（39年間）に見込まれる概算額は約48億円削減できる見込みです。

【再整備と運営等（39年間※1）に見込まれる概算額※2】

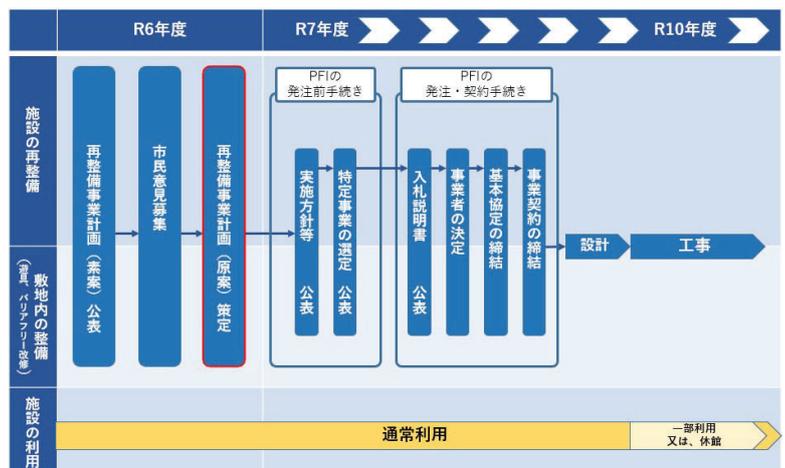


※1 施設を70年間利用する場合の残りの耐用年数の想定  
※2 現時点での試算であり、今後、事業内容等の精査により変動します

## 5 事業手法と今後の流れ

民間事業者との連携により、より効率的かつ効果的な施設整備や魅力的な施設運営が期待できること、また、市の財政支出の抑制、財政負担の平準化を図れることから、PFI方式を前提に検討を進めていきます。

スケジュールについては今後精査していきます。



## 6 施設の名称

再整備の方向性にあわせて、施設の名称についても今後検討を行っていきます。

# 横浜国際プール再整備事業計画（原案） 次世代を育む複合型スポーツアリーナ



夢  
と  
に  
ぎ  
わ  
い  
が

子  
ど  
も  
が  
主  
役  
の

生  
ま  
れ  
る  
場  
所  
に





## 目次

第1	はじめに	
1	横浜国際プール開館までの経緯	2
2	施設概要	2
3	検討の背景	3
4	再整備事業の目的	3
第2	上位計画等	
1	横浜市中期計画 2022～2025	4
2	第3期横浜市スポーツ推進計画	5
3	横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン	7
第3	素案策定までの検討経過	
1	内部環境分析	10
2	外部環境分析	13
3	関係者との意見交換	16
4	メインアリーナ改修の検討	20
第4	素案に対するご意見	
1	市民意見募集	21
2	関係団体との意見交換	24
3	地域の皆様との意見交換	25
4	地域の子どもたちへのアンケート	25
5	いただいた陳情、要望等	27
第5	市民の皆様のご意見を踏まえた素案からの主な変更内容	
1	ご意見を踏まえた検討の経過	28
2	素案からの主な変更内容	32
第6	再整備の内容	
1	本施設の今後果たすべき役割	33
2	本施設が目指す姿	33
3	再整備のイメージ	34
4	再整備による運営費等の削減効果	40
第7	地域の魅力向上に向けた取組	
1	まちの魅力向上	41
2	ジョギングや自転車利用環境の整備	41
第8	事業手法と今後の流れ	
1	事業手法	42
2	今後の流れ	42
3	施設の名称	42
	資料	43

## 第1 はじめに

### 1 横浜国際プール開館までの経緯

横浜国際プール（以下、「本施設」という。）は、平成7年に建設工事開始、平成10年竣工となりました。市民の健康増進や体力づくりはもとより、国際級の大会をはじめ各種大会の開催や選手・指導者養成など市民スポーツから各種競技大会の開催・観戦の場として幅広く活用できる総合的な室内水泳競技場として整備されました。

### 2 施設概要

室場名	概要
メインアリーナ	<p>【5月上旬～9月下旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メインプール※国際基準 サイズ：50m×10コース</li> <li>・ダイビングプール※国際基準 サイズ：25m×25m</li> </ul> <p>【10月中旬～4月上旬】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツフロア 面積：3,330㎡</li> </ul> <p>観客席：約5,000席（可動席含む）</p> <p>※床転換に伴う利用休止期間（約2か月） 4月上旬～下旬及び9月下旬～10月中旬</p>
サブプール	<p>サイズ：50m×8コース※国内基準 観客席：355席</p>
トレーニングルーム	<p>面積：270㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○設置器具 有酸素系マシン22台、筋力トレーニングマシン15台 フリーウェイト等</li> </ul>
サブアリーナ	面積：624㎡
多目的ホール	210㎡
会議室3室	99.9㎡（48席）、58.3㎡（24席）、75.4㎡（24席）
レストラン	133.7㎡ ※平成28年に営業終了
駐車場	270台
防災拠点としての役割	<p>帰宅困難者一時滞在施設</p> <p>※横浜国際プール一帯は地震等による大火災が発生し、延焼拡大した場合、その輻射熱や煙から生命・身体を守るために避難する場所「広域避難場所」として指定されています。</p> <p>※横浜市と神奈川県都筑警察署は、地震その他の大規模災害等の発生により、都筑警察署が損壊又はその恐れによって使用不能となった場合に、横浜国際プールの諸室を都筑警察署として使用することに關して協定を締結しています</p>



メインプール



スポーツフロア



### 3 検討の背景

平成10年7月の開館から25年以上が経過し、施設の老朽化によりプール設備や空調設備等の大規模な設備更新が必要なタイミングを迎えているほか、利用者の安全性確保のためメインアリーナの特定天井脱落対策工事の実施が必要です。

また、令和3年度の包括外部監査では、メインアリーナを夏季はプール、冬季はスポーツフロアとして使用する運営方法（床転換）について、転換作業にかかる費用（年間約5,100万円※令和2年度実績）やこれに伴う休館期間に対する経済性の観点からの課題が示されました。

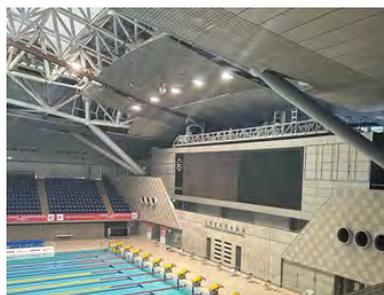
開館から現在までの間には、価値観の多様化や技術革新が進み、ライフスタイルの変化に応じたスポーツの機会の確保や、映像や音声を活用した多様なスポーツ観戦手段等、社会ニーズの変化への対応が求められています。

併せて、資産経営にあたっては、令和4年度に策定した「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」に基づき、公共施設が提供する機能・サービスを持続的に維持・向上させるため、保全・運営の適正化、規模の効率化、財源創出の3つの原則により公共施設マネジメントを推進していく必要があります。

大規模な設備更新にあたっては、本施設が持つポテンシャルを活かしながら、より多くの市民の新たなニーズに対応する魅力的な施設へと転換を図る必要があります。



床転換工事の様子



メインアリーナの特定天井

### 4 再整備事業の目的

再整備事業（以下、「本事業」という。）は、築25年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいる横浜国際プールを、単に施設の長寿命化を図るのではなく、この機会を好機ととらえ、本事業を実施することにより、さらなる市民サービスの向上及び持続可能な施設運営を目指すのはもちろんのこと、本施設をエリア全体の魅力向上に寄与する施設にしていくことを目的とします。

本事業を実施するにあたり、現状の課題、今後の果たすべき役割、事業の方向性等について整理し、「横浜国際プール再整備事業計画（原案）」を策定しました。

## 第2 上位計画等

本事業の実施にあたっては、上位計画と整合を図り、進めていくこととします。主な上位計画等は以下の通りです。

分野	計画名	策定年次
総合計画	横浜市中期計画 2022～2025	令和4年
スポーツ政策	第3期横浜市スポーツ推進計画	令和4年
財政	横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン	令和4年

### 1 横浜市中期計画 2022～2025

「横浜市中期計画」は、2040年頃の横浜のありたい姿として「共にめざす都市像」を描き、その実現に向けた「基本戦略」としてめざす中期的な方向性・姿勢を明確にし、戦略及び政策を取りまとめたものです。

基本戦略として「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を掲げ、横浜に関わる様々な人・団体の皆様と共に、横浜の受け継ぐ多様な魅力を更に高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指し、市民生活の質と都市の活力の向上の好循環へつなげていくこととしています。

本事業と関係する政策として以下があげられています。

【政策8】 スポーツ環境の充実

【政策38】 公共施設の計画的・効果的な保全更新

#### 政策8 スポーツ環境の充実

##### ■施策の目標・方向性

- ・心身の健全育成や体力の向上、健康の維持・増進、精神的な充足感の獲得、仲間づくりや地域コミュニティの活性化など、スポーツを通じて、市民が心豊かな生活を送ることができています。
- ・イベントや施設など全ての場で、性別、年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もがスポーツに親しめる環境が整っています。
- ・人口減少・少子高齢化が進行する中、スポーツイベント等の開催による交流人口の増加や、スポーツ施設を中核とした市民活動の活性化など、スポーツを通じて、まちのにぎわいが創出されています。

##### ■現状と課題

- ・市民（成人）の「週1回以上」のスポーツ実施率は、令和3年度は59.5%となっています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、自宅で過ごす時間が増えたことで、健康の維持や運動不足解消のためにスポーツをする人が増えたと考えられ、この層の運動の習慣化が求められます。
- ・横浜市は他都市と比べて人口当たりのスポーツ施設が少ない状況です。既存施設の有効活用や民間機関等との連携などにより、スポーツを実施するための場の確保が必要です。
- ・障害のある市民（成人）の「週1回以上」のスポーツ実施率は、令和3年度は45.0%となっています。東京2020パラリンピック競技大会により高まった障害者スポーツの機運を維持しつつ、障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる環境を整備し、共生社会の

実現につなげていくことが求められます。

- ・スポーツボランティア活動への参加率は、令和3年度は3.7%となっており、スポーツボランティアの発掘・育成・定着に向けた取組の推進が求められます。
- ・トップスポーツ観戦率は、令和3年度は16.2%となっており、市内トップスポーツチームに対する認知度の向上、愛着の醸成、応援したくなるきっかけづくりが必要です。また、多くの国際スポーツ大会及び国内大規模スポーツ大会を開催してきたことによるノウハウ等を生かし、引き続き大規模スポーツイベントを実施し、まちのにぎわいづくりに貢献していく必要があります。

### 政策 38 公共施設の計画的・効果的な保全更新

#### ■施策の目標・方向性

- ・「横浜市公共施設等総合管理計画」に基づき、将来の人口や財政を見据えた公共施設（都市インフラ、公共建築物）の規模・数量、質、保全更新コスト等の適正化を図りながら、長寿命化を基本とした、計画的かつ効果的な保全更新が進んでいます。
- ・公共建築物の建替えに当たり、施設規模・配置の最適化や実施時期の中長期的な平準化等を考慮した計画的な再編整備を進めることで、サービス水準の維持・向上と総床面積の増加抑制が図られています。
- ・今後、更に需要増大が見込まれる公共施設の保全更新を安定的に進めるため、市内中小企業における長時間労働の改善などによる働き方改革、新技術の活用などによる生産性向上の取組を推進することにより、公共工事等の円滑な実施が図られています。

#### ■現状と課題

- ・人口急増期に建設された公共施設の老朽化の進行に対し、点検や計画的な保全更新を着実に進めてきましたが、今後、老朽化に伴う更新需要が更に増大する一方、本市人口や税収等の財源は減少していく見込みです。このため、これらの取組に加えて、既存の方針や計画を将来の人口・財政規模に見合ったものに見直しを行いながら、サービス水準の維持向上を図っていくことが必要です。
- ・建設業等は、今後、少子高齢化による担い手不足が懸念されており、将来にわたり公共工事等の品質を確保するためには、労働環境の整備のための施工時期の平準化や週休2日制確保、CCUS※の加入促進など働き方改革の推進が急務です。また、生産性向上のため、BIM/CIMの活用やi-Constructionの推進による調査・設計・施工・管理の効率化が必要です。

※CCUS：建設キャリアアップシステム（Construction Career Up System）の略称。建設技能者の有する資格や現場の就業履歴等を登録・蓄積することで、技能と経験に応じた賃金支払い・処遇改善を図ることにより担い手を確保する建設業の制度

出展：「横浜市中期計画 2022～2025」令和4年12月

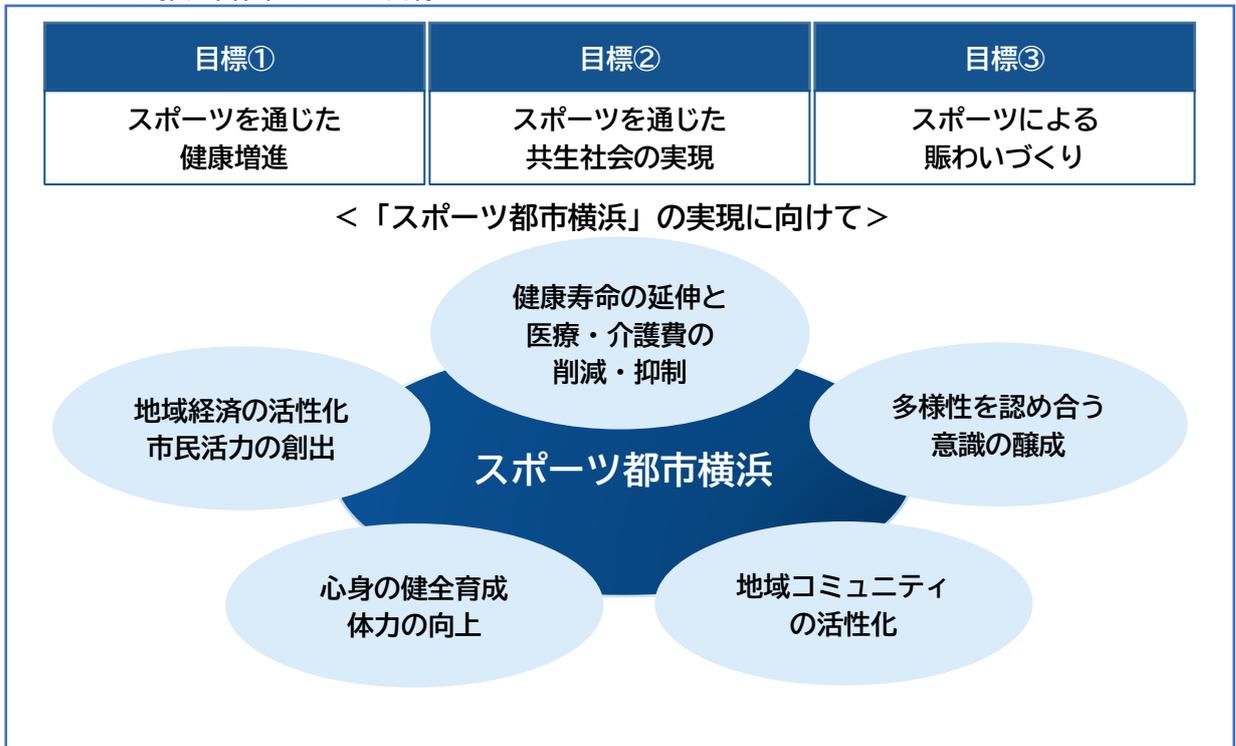
## 2 第3期横浜市スポーツ推進計画

「横浜市スポーツ推進計画」は、スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」として位置づけられ、スポーツを取り巻く現状と課題を整理し、課題解決に寄与するスポーツ施策を推進するための計画として取りまとめたものです。

スポーツを推進する意義や目的は、従来から認識されてきた心身の健康づくりや人格形成、競技力向上という枠を超え、人々の暮らしをより豊かにするもの、地域コミュニティの形成

や共生社会の実現、地域・経済の活性化に寄与するものとしても考えられるようになってきています。そのため、スポーツは個人と地域のどちらの視点においても、ますます欠かせない存在となっています。このように変化・充実しつつあるスポーツの意義を踏まえつつ、持続可能な社会の実現を目指すべく、社会情勢の変化を的確にとらえ、スポーツを推進していくことが求められています。

■スポーツ推進計画の3つの目標



本事業と関係するスポーツ推進に向けた取組として以下があげられています。

- 【取組 6】 スポーツに取り組むための身近な場の確保と充実
- 【取組 17】 多様な主体が利用しやすいスポーツの場の充実
- 【取組 18】 トップスポーツチーム等と連携したスポーツの魅力発信
- 【取組 19】 大規模スポーツ施設を中心とした賑わいづくり

**【取組 6】 スポーツに取り組むための身近な場の確保と充実**  
 市民が身近な場でスポーツに取り組めるように、未利用地や米軍施設跡地などの活用、既存施設の統廃合や多目的化、民間企業との連携、市内大学施設の活用を進め、スポーツができる場の確保・充実を図ります。健康増進や外出意欲の向上につながる魅力的な歩行空間の整備や自転車通行空間の整備を進めます。

**【取組 17】 多様な主体が利用しやすいスポーツの場の充実**  
 子育て世代の親や、障害者、外国人など、多様な主体が有する特徴の制約を受けずに、利用しやすいスポーツの場を充実するため、託児サービスの活用やバリアフリー化、ユニバーサルデザイン\*の推進、多言語・やさしい日本語への対応などについて検討します。また、多様な主体がスポーツ活動に参画し、地域とのつながりを築くことで、地域コミュニティの活性化を図ります。

**【取組 18】 トップスポーツチーム等と連携したスポーツの魅力発信**  
 横浜スポーツパートナーズに参画しているトップスポーツチームと連携・協働すること

で、市内の会場で直接トップスポーツの試合を観戦する機会を充実します。子どもたちをはじめ、多くの市民がトップアスリートと交流する機会を創出し、トップレベルに至るまでの経験談を聞いたり、一流の技術を目にしたりすることで、スポーツの魅力をより深く感じ、スポーツへの興味・関心を高め、実施率向上につなげます。

**【取組19】 大規模スポーツ施設を中核とした賑わいづくり**

「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に選定された横浜文化体育館再整備事業においては、横浜スタジアムや旧市庁舎跡地の取組と連携し、大規模スポーツ施設を中核としたまちづくりを進めます。また、大規模スポーツイベントの誘致・開催やトップスポーツチームとの連携を通じ、市民が一流のプレーを観戦する機会や、夢や感動を共有する機会を創出するとともに、集客促進や地域経済活性化を目指します。本牧市民プールを広く市民に親しまれる施設として再整備するほか、トップスポーツチームのホームアリーナを中心とした賑わいづくりなども推進します。

※「ユニバーサル（全ての、普遍的な）」と「デザイン（計画、設計）」という2つを組み合わせた言葉で、あらかじめ、年齢や性別、障害の有無、国籍等に関わらず、全ての人が利用しやすいように都市や生活環境をデザインする考え方のこと。

**3 横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン**

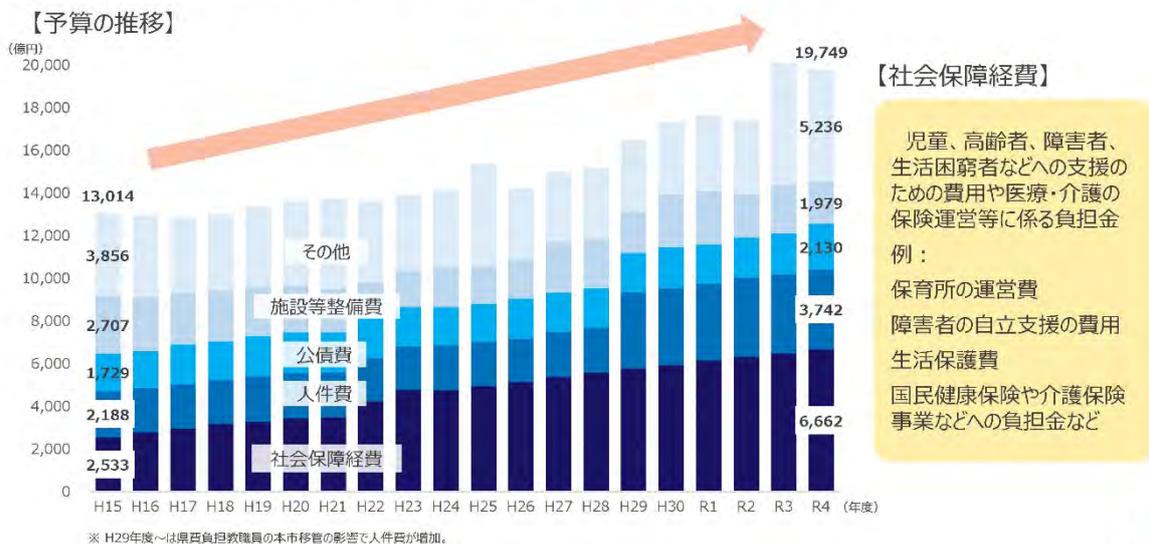
人口動態やライフスタイル等の変化、脱炭素化・デジタル化等の時代の要請に対応しながら、公共施設（公共建築物及びインフラ施設）が提供する機能・サービスを持続的に維持・向上させるため、公民連携の視点も入れつつ、3つの原則による公共施設マネジメントを推進し、公共施設の規模・数量、質、コストの適正化を図る必要があります。

※3つの原則：保全・運営の最適化、施設規模の効率化、施設財源の創出

**■ 社会保障経費の増加と予算規模の拡大**

近年は高齢化の進展等による社会保障経費の増加が続いており、本市の予算規模が拡大する要因となっています。

また、市民生活や市内経済を支える公共投資の経費（施設等整備費）については、公共施設の保全更新需要に対応する一方で、市内交通網の充実や災害への備え、経済活性化にも寄与する新規の大規模事業等も推進してきたことから、近年、高い水準で推移しています。



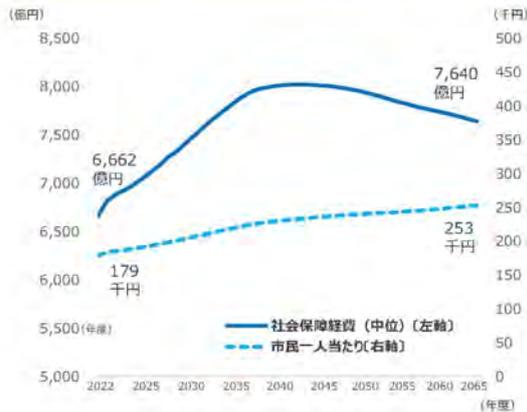
## 今後の厳しい財政状況：歳出

社会保障経費は、今後、2040年頃にかけて高齢化の進展とともに支出が拡大します。2040年以降も、総人口が減少する中で、市民一人当たりの支出額は継続して増加します。

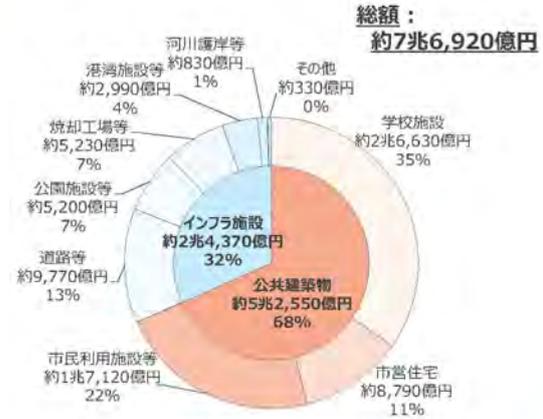
市内の公共施設の老朽化が進行し、今後、保全更新需要が増大します。

### 【社会保障経費の推計】

2022→2065年度（億円）（）：市民一人当たり（千円）  
 高位推計 +2,160 中位推計 +980 低位推計 +70  
 [+89] [+74] [+64]



### 【公共施設の保全更新コストの長期推計】 （一般会計における2021年～2065年の見込額）



## 財政運営の基本方針

「持続的な財政」の実現に向けて、「債務管理」「財源確保」「資産経営」「予算編成・執行」「情報発信」「制度的対応」の6つの柱から成る「財政運営の基本方針」に基づき、財政運営を行っていきます。

### 債務管理

- 市民一人当たり残高を中長期的に管理し、計画的・戦略的に市債を活用することで、債務ガバナンスを徹底します。
- 債務の償還資金は、償還スケジュールに合わせて、予算や減債基金への積立により確実に手当てします。

### 資産経営

- 保有する土地・建物について、戦略的利活用により、価値の最大化を進めます。
- 公共施設が提供する機能・サービスを持続的に維持・向上させるため、保全・運営の適正化、規模の効率化、財源創出の3つの原則により公共施設マネジメントを推進します。

### 情報発信

- 財政に関する現在・過去・未来の情報やデータを市民の皆様としっかり共有し、協働・共創による市政への主体的な関わりへとつなげます。

### 財源確保

- 財源の安定的・構造的充実に向け、総合的な施策に取り組みます。
- 従来の財源調達手段に捉われず、新たな考え方や手法を取り入れながら、財源を確保します。

### 予算編成・執行

- 成果志向・将来志向・公平性の3つの原則に基づき、「施策の推進と財政の健全性の維持」を真に両立する予算編成を行います。
- 十分な余力を確保し、臨機応変に対応できる強靱な財政構造を構築・維持します。
- 政策展開・行政運営において、データ活用を徹底します。

### 制度的対応

- 持続可能な市政運営の基盤となる地方税財政制度の充実に向け、行政現場の実情と客観的なデータに基づく具体的な国への提案・要望に取り組みます。

## 4つの将来アクション

「財政運営の基本方針」を踏まえ、具体的な課題に対応するため、4つの分野で、将来に向けたアクション（将来アクション）に取り組みます。

このうち、「地方税財政制度の充実」以外の3つのアクションでは、目標を定めて取り組みます。

### ① 債務管理アクション

目標：

「一般会計が対応する借入金 市民一人当たり残高」を2040年度に現在水準（約84万円）に抑制

### ② 収支差解消アクション

目標：

2030年度までに、減債基金に頼らず収支差を解消

### ③ 資産経営アクション

目標：

- ・ 公共建築物の床面積を2040年度時点で現在水準より増やさず、2065年度までに1割縮減
- ・ 未利用等土地を2030年度までに30ha、2040年度までに60ha利活用

### ④ 地方税財政制度の充実に向けた課題提起

持続可能な市政運営の基盤となる地方税財政制度の充実に向けた、データに基づく課題提起と、具体的な国への提案・要望

30

出展：「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」（概要版）抜粋

#### ◎Zero Carbon Yokohama の実現に向けた市役所の率先行動

公共施設における照明のLED化や次世代自動車等の導入等、これまで行ってきた省エネに資する取組を引き続き着実に実施するとともに、再エネ設備の導入や再エネ電力への転換による使用電力の一層のグリーン化など、市役所が率先して脱炭素に向けた取組を推進し、市役所における2030年度の温室効果ガスを2013年度比50%削減します。

### 第3 素案策定までの検討経過

#### 1 内部環境分析

##### (1) 施設面

本施設は供用開始から 25 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、プール設備や空調設備等の大規模な設備更新が必要なタイミングを迎えています。また、メインアリーナの特定天井脱落対策工事の実施が必要です。

##### 【参考】老朽化や機能面の具体的な課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・大型ビジョンの老朽化 電灯が切れていて点灯しない箇所がある（生産終了のため交換不可）など、大会運営に支障が出ています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・入退場ゲートの老朽化 経年劣化が進み、部品供給も終了しており、今後故障した場合の修繕ができない可能性があります。故障した場合、入退場の管理を人力で行う必要があり、延長料金の徴収も困難になるなど施設運営に大きな負担が生じます。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・メインプール床の老朽化 竣工時に整備された押出成形コンクリート板（ALC 板）はプール時とフロア時の湿潤と乾燥の繰り返しにより劣化が進み、割れやヒビが生じています。令和3年度からは、部品供給が終了したため、繊維強化プラスチック板（FRP 板）への交換を行っていますが、高額な交換費用が課題となっています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・その他耐用年数を大幅に超えているもの メインアリーナ・サブプールの空調設備、ろ過機、熱源設備等</li></ul>



大型ビジョンの球切れの状況



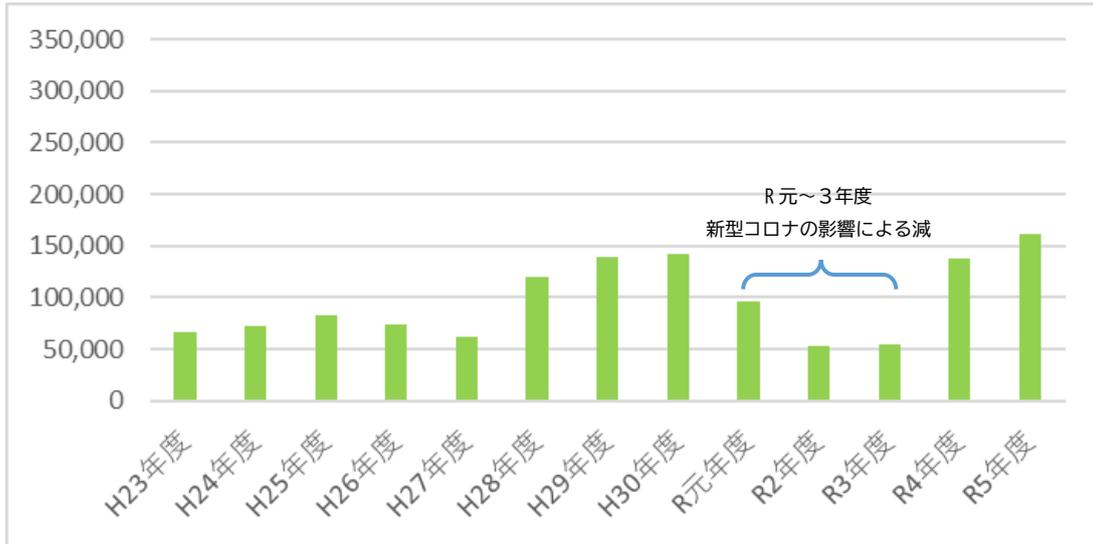
メインプール床のひび割れの状況

##### (2) 変化してきた利用状況

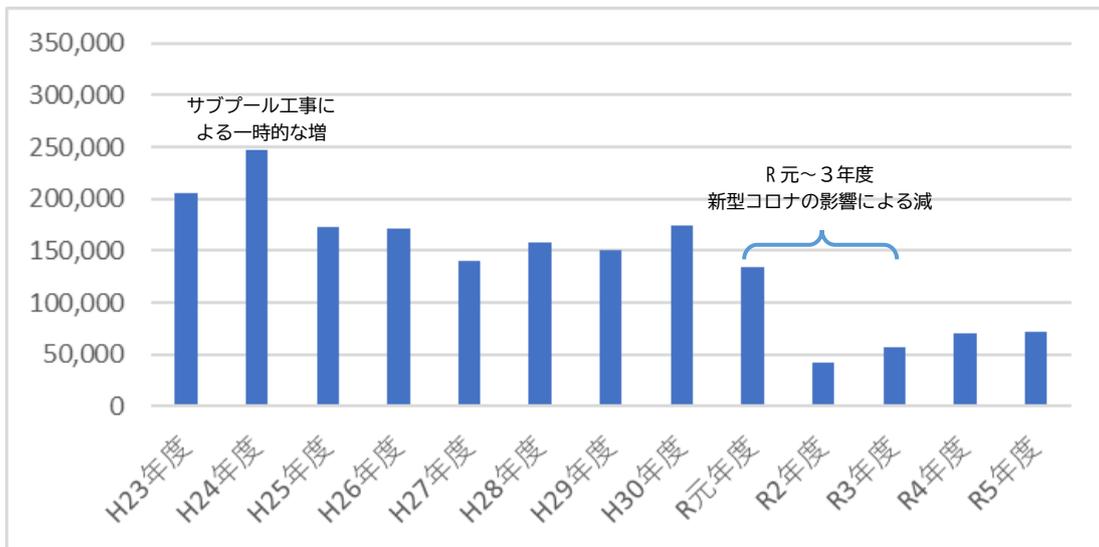
メインアリーナのスポーツフロアの利用者数は、平成 23 年度から平成 30 年度にかけて約 111%増加している一方で、メインプールの利用者数は、約 15%減少しています。

スポーツフロアは、令和5年度には利用者数がコロナ禍以前を超えた一方で、メインプールは、コロナ禍からの回復がサブプールと比較しても鈍い傾向がみられます。

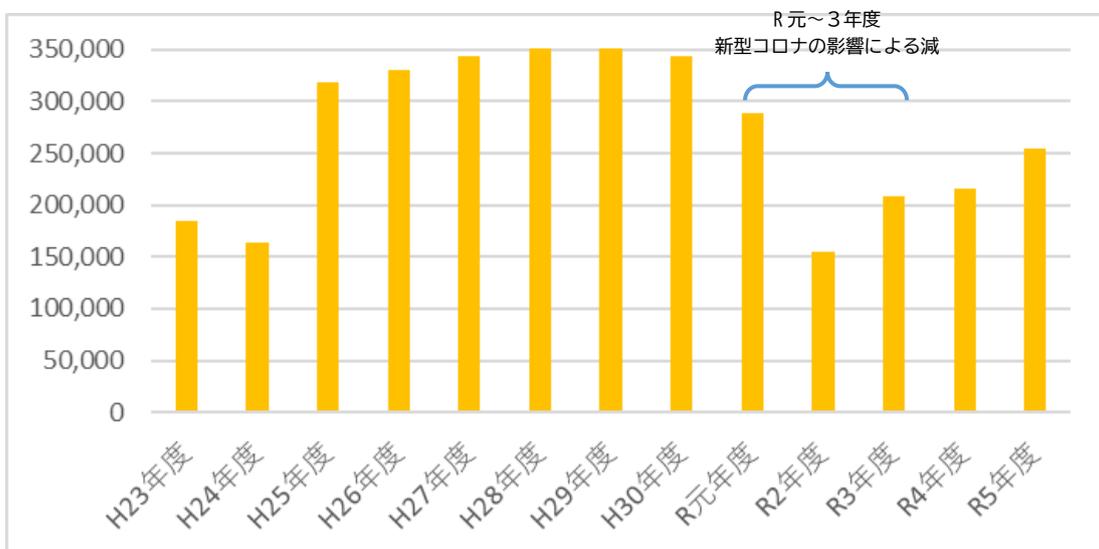
<スポーツフロアの利用者数の推移> ※営業期間：10月下旬～3月下旬



<メインプールの利用者数の推移> ※営業期間：5月上旬～9月中旬



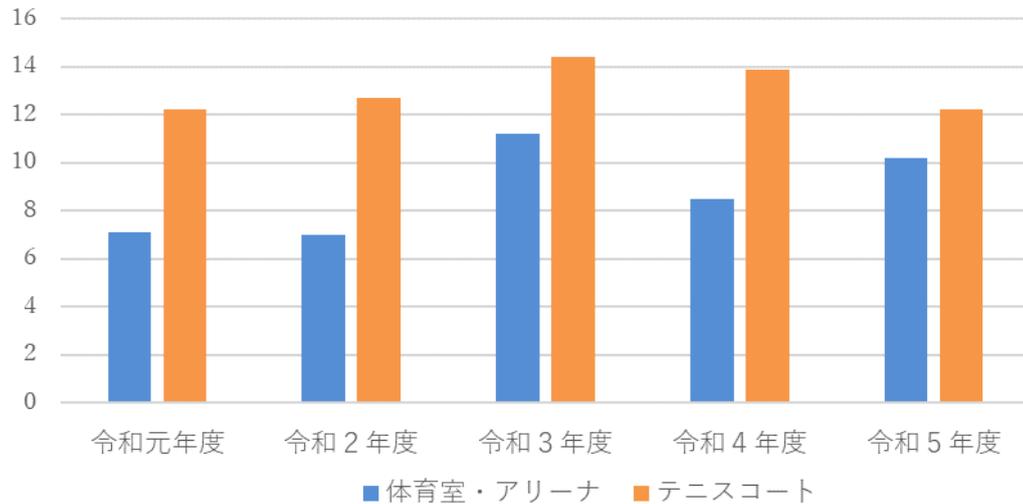
<サブプールの利用者数の推移> ※通年営業



【参考】市内のスポーツ施設のニーズ

市のスポーツ施設の体育室・アリーナ、テニスコートの休日の平均抽選倍率（令和元年度から令和5年度の5か年平均）は、それぞれ8.5倍、13.1倍であり、市民のニーズが高い状況です。

＜市のスポーツ施設の体育室・アリーナ、テニスコートの休日の平均抽選倍率＞



(3) 国内の他のプール施設との競合

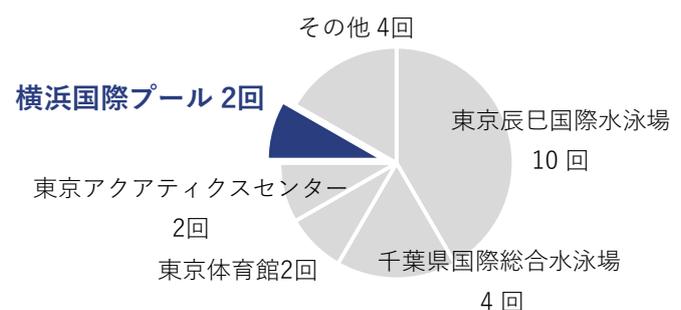
本施設は水泳の国際大会の開催も想定して建設されましたが、これまで国際大会の開催は4回に留まっています。平成18年以降では、令和4年までに国内で開催された国際大会24回のうち、本施設での開催は2回でした。

実施回数が多い他の施設は、空港からのアクセスが良いほか、大会関係者やメディア関係者用の宿泊施設等の立地条件が本施設よりも優れているものと考えます。

【国際大会の開催実績】

平成14年	パンパシフィック水泳選手権大会横浜2002
平成16年	シンクロナイズドスイミングワールドグランプリ IN JAPAN 2004
平成18年	FINA シンクロナイズドスイミングワールドカップ2006
平成28年	FINA 水球ワールドリーグ インターコンチネンタルトーナメント

＜国内における国際大会の会場内訳＞（平成18年～令和4年）



(4) 経済性について

現在メインアリーナは、夏季はプール、冬季はスポーツフロアとして使用する運営を行っており、この床転換作業に年間約5,100万円※が必要となります。併せてこの作業のための休館期間が年間約2か月発生し、収益面での機会損失となっています。このため、使用方法の一本化を図り、施設の効率的かつ効果的な運用を行っていく必要があるとの意見が出ています。

※令和2年度実績。令和5年度実績では約5,500万円

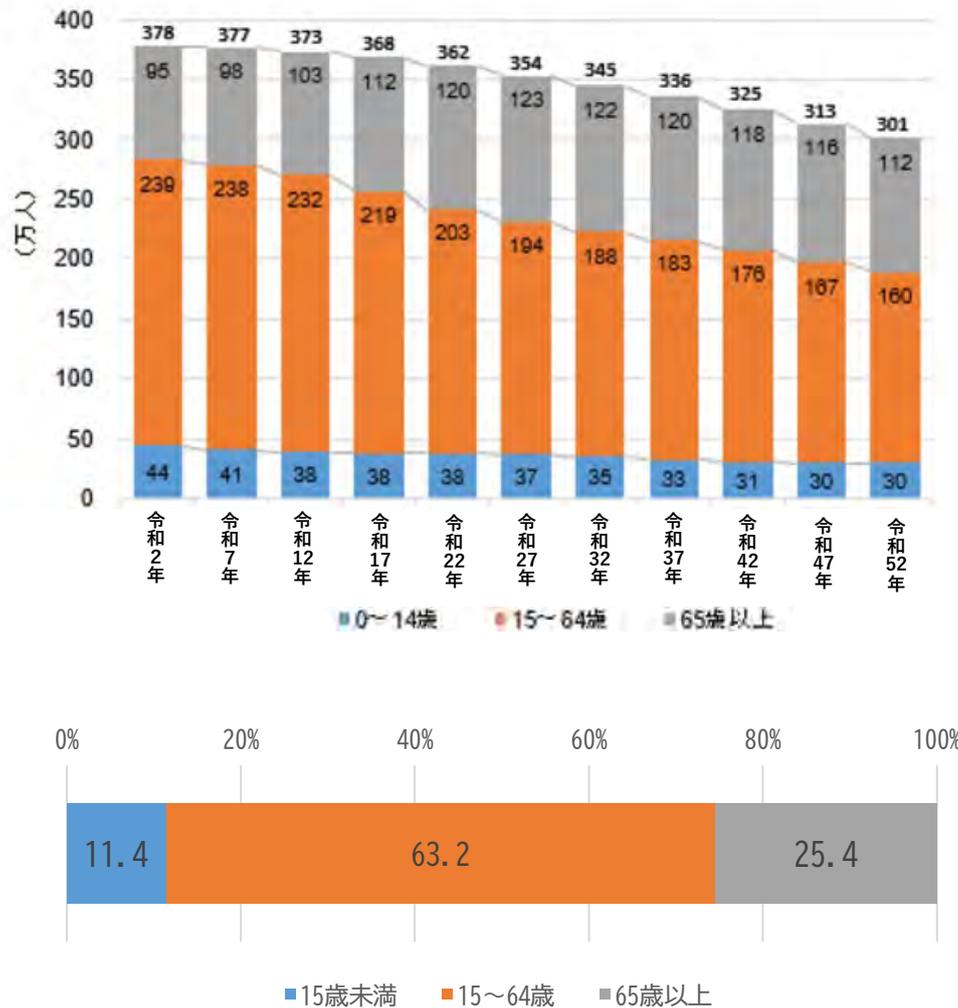
## 2 外部環境分析

本事業の検討にあたっては、横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョンが示す通り、地域の人口動態・分布、市民ニーズ等の変化や施設の保全更新コストの推移を見通した上で、施設規模の効率化を図る必要があります。

### (1) 本市の人口動態

横浜市の人口のピークは令和3年（2021年）の377万9千人で、以降は減少が続く見込みです。50年後には約2割減少し、301万人となると推計しています。総人口（年齢不詳を除く）に占める65歳以上の占める割合（高齢化率）は、25.4%で、引き続き増加傾向にあります。特に長寿化に伴い、75歳以上の人口は増加傾向にあります。

<横浜市の将来人口の推計値>

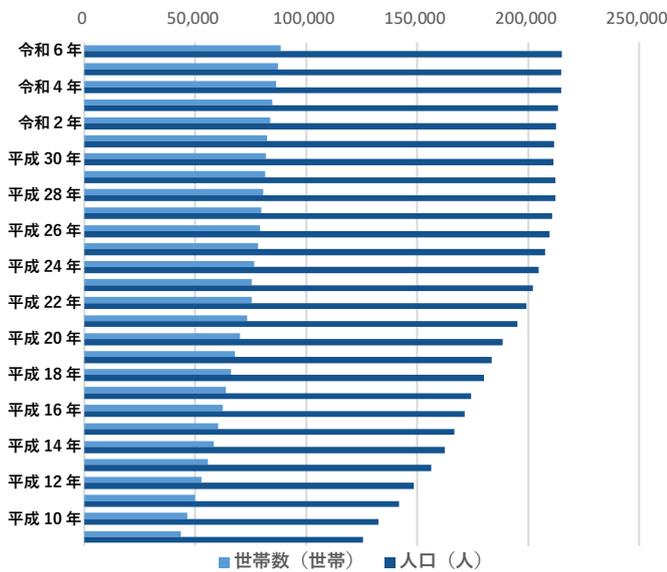


出典：「横浜市の人口」  
(令和6年(2024年)3月)

## (2) 都筑区の人口動態

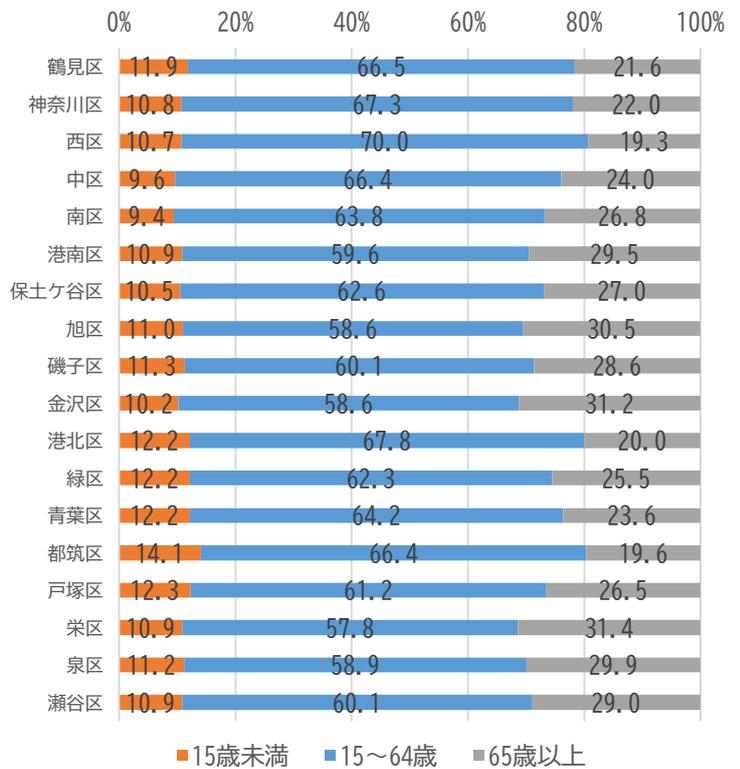
都筑区の人口は、区誕生から現在までに約10万人増え、現在は21万人を超えるまでに成長しています。子育て世代を中心とした人口構成となっており、市内で最も平均年齢の低い区となっています。本市全体の人口は令和3年（2021年）をピークに減少が続いていますが、都筑区は令和7年（2025年）にピークを迎え、以降は減少が続く見込みです。

<都筑区の人口と世帯数の推移>



出典：「統計で見るつづき」  
(令和6年2月発行)

<年齢三区分別人口構成比>



出典：「横浜市の人口」  
(令和6年(2024年)3月)

<将来推計人口>



出典：「統計で見るつづき」  
(令和6年2月発行)

### (3) 地域のニーズ

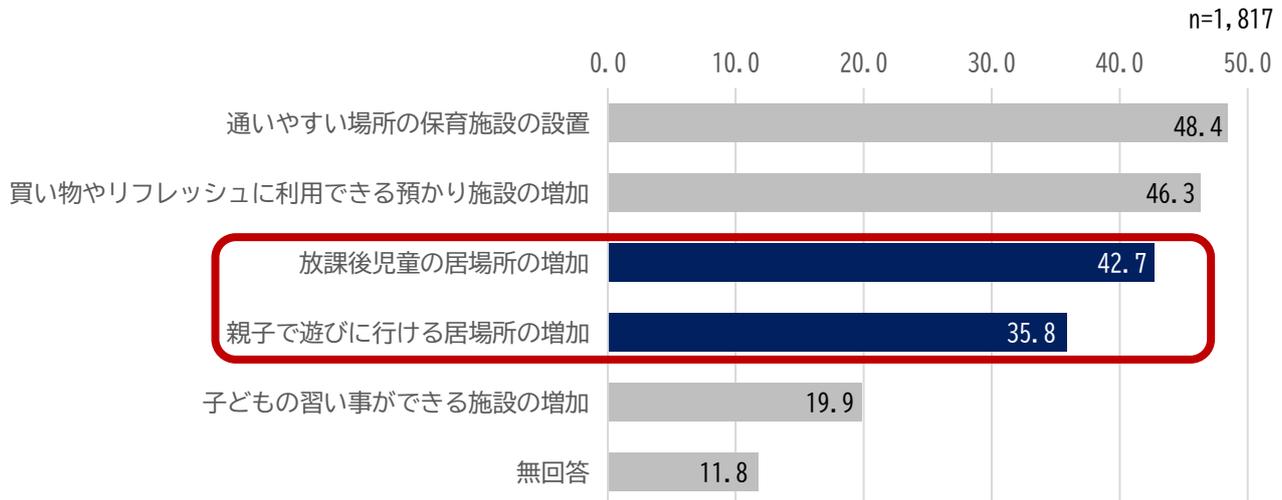
都筑区は、令和5年度統計によると、本市に18ある区の中で、年少人口比率（15歳未満の人口比率）について本市全体が11.4%であるのに対し14.1%、平均年齢について本市全体が46.9歳であるのに対し43.8歳であり、ともに1位で、若い世代が多く暮らす地域です。

令和5年度「都筑区区民意識調査」によると、子どもに関する居場所・施設についての取組として、「親子で遊びに行ける居場所の増加」、「放課後児童の居場所の増加」などへのニーズがあります。

本事業を通じて、子育て世代のニーズに応えていくことで、子育て世代に選ばれる地域となり、都筑区が基本目標でも掲げている『「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑～子育てしたいまち 次世代を共に育むまち 都筑区～』の実現に寄与することができると思います。

#### <令和5年度都筑区区民意識調査における質問及び回答>

子育てをするにあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。（3つまで選択可）



### 3 関係者との意見交換

#### (1) 民間事業者へのサウンディング調査

再整備の基本的な考え方を検討する上で、民間事業者へのサウンディング調査を計2回（1回目：令和4年9～10月、2回目：令和5年7～9月）実施しました。子育て世代が利用しやすい施設にすることで地域へのにぎわい創出につながる可能性についての提案がありました。また、床転換を続ける場合、収益性を高めるため、営業時間の見直しや、利用料金の増額が必要との提案がありました。

第2回の調査では、参加した8者中、床転換の質問に回答のあった5者のうち4者から利用機会の拡大及び収入増や、維持管理費の削減、多様な市民ニーズへの対応等の観点を踏まえ、床転換なしの通年スポーツフロア化の提案がありました。

#### ○横浜国際プールに係るサウンディング調査（「対話」） 実施結果

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1 経過：令和4年9月14日(水)      | 対話実施の公表     |
| 9月15日(木)から10月7日(金)まで   | 対話実施事業者募集   |
| 9月27日(火)               | 現地見学会・事前説明会 |
| 10月11日(火)から10月31日(月)まで | 対話の実施       |

2 対話参加者数：2者

#### 3 主な対話の内容

将来ニーズを踏まえた施設内容、施設の魅力向上に向けた運営方法、施設の効率的な維持管理に関する提案、これらを受けた改修提案、想定している事業手法、収支計画等

項目	【A社】	【B社】
方向性	・床転換なしの通年スポーツフロアとする	・床転換を継続
施設改修	・メインプールを廃止し、スポーツフロア化 ・スポーツフロア化に伴う空調改修 ・スポーツフロアについて、プロスポーツのレギュレーションに対応した施設改修 等	・プールでの国際大会や国内主要大会の誘致のため、現行設備（照明設備、競技用備品、計測機器、電光掲示板等）の更新が必要 ・プール運用の幅を広げるためのメインプールの横幅を短水路仕様に変更 等
事業方式	・民間事業者のノウハウや技術を活用できるPFI事業のR0方式が最適 ・より市民に活用される施設とするために一定程度の市負担額は必要	・従来方式（公共発注、指定管理）、PFI方式どちらでも可能 ・施設整備費（改修費）については、従来方式・PFI方式どちらにおいても横浜市の負担が必要
スケジュール	改修期間：約24ヵ月 （現段階の検討によるもの） ・令和7年までに実施予定の特定天井改修工事とメインプールの改修を同時期に行うことで工期短縮を図り、営業休止期間を最小限にすることを提案	改修期間：提案なし



	<p>床転換なしの通年スポーツフロア化もしくは通年プール化（1者）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床転換にかかる年間約2か月の休館期間中は利用料金収入なし。一方で各設備機器の維持管理やオープンに向けての各設備機器設定の変更等維持管理に伴う人件費や点検費は発生</li> <li>・用途が統一される場合、改修のタイミングで設備機器を集約化することで、点検や修繕及び水光熱費の低減に繋がる</li> <li>・いずれかに一本化する場合、光熱水費や維持管理費の面からスポーツフロア化の方がより望ましい</li> </ul>
	<p>床転換を継続（1者）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で具体的な費用削減策はなく、引続き模索</li> <li>・床転換によりプール、アリーナ双方の利用を継続することで、大型プール施設特有の季節による収益増減というマイナス面をカバー</li> <li>・プールの冬場の稼働率を考えると、常時50mプール2面は費用対効果が悪い</li> </ul>
サブプールの改修及び施設の魅力向上につながる運営やサービスの提案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席の増設及び諸室等の改修により、現在サブプールで行われている大会の規模拡大が図れる</li> <li>・換気部分の改修、老朽化が目立つ更衣室ロッカーの更新により、快適な利用環境を提供</li> <li>・プールサイドのノンスリップ化対策</li> <li>・観覧席の増席及び一部床面改修、バリアフリー化推進</li> </ul>
敷地全体に対する提案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが楽しむことのできる大型遊具等の設置（3者）</li> <li>・施設の独特の形状を活かした施設のシンボルとなるような特徴的かつ個性的な遊具等の設置</li> <li>・『地域における子育て支援の場や機会の充実』としての大型遊具の設置</li> <li>・市内のみならず市外からの集客と交流がもてるシンボルランドマークとしての遊具の設置</li> <li>・斜面を活かしたオンリーワンの遊具の設置</li> <li>・アスレチック等の設置</li> <li>・喫茶、飲食ができるスペースとして、カフェ・レストランの設置（3者）</li> <li>・円形広場、芝生広場等を活用したスポーツ等のイベント実施</li> <li>・屋外へのバスケットボールコート等の設置</li> <li>・イベント時を中心に屋外へのキッチンカーの誘致（2者）</li> <li>・混雑時の交通整理のため駐車場の事前予約制やダイナミックプライシング</li> </ul>
最寄り駅である北山田駅を含めた周辺エリアに関する提案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北山田自治会町内会、北山田商業振興会、センター北商業振興会や近隣の商業施設・マンション等と連携したイベントの実施</li> <li>・二次交通としてのカーシェア活用の推進</li> <li>・EV充電設備の設置等、近隣住民への交通インフラの提供</li> <li>・周辺公園施設との連携・連動性が本施設の認知度・稼働率の向上にも寄与</li> <li>・気軽に子育て世代が立ち寄り、利用しやすいように施設全体の改修を行うとともに、地域と連携した事業を計画することで、街のにぎわい、活性化を進めることが可能</li> <li>・近隣エリアの駅周辺駐車場を活用したパーク&amp;バスライド</li> </ul>
事業手法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFIのRO方式（1者）</li> <li>・設計・施工・運営一括型（DBO）方式、もしくは、PFIのRO方式（1者）</li> <li>・従来発注、PFIいずれでも可（1者）</li> <li>・運営維持管理の方向性、整備内容が定まった後、公民連携手法に準じたDB方式での発注（1者）</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインアリーナの床化や大型映像装置の設置に加え、観客収容人数を大幅に向上させる改修を行うことで、今後の地域のにぎわい創出にも大きく寄与することができる</li> </ul>

## (2) 地域の皆様との意見交換

令和5年10～11月に、都筑区連合町内会自治会会長・副会長等の皆様や、本施設が位置する連合町内会自治会、自治会町内会と意見交換を実施しました。

地域の皆様が気軽に利用できる場となることや、他のエリアからも人が集まる魅力的な施設にしてほしいなどのご意見がありました。

項目	主なご意見
施設改修	<ul style="list-style-type: none"><li>・プール利用者が少ないことから、スポーツフロア化すべきではないか。</li><li>・中学、高校の水泳大会本番と同じような環境で練習できる環境は残してほしい。</li></ul>
施設の活用	<ul style="list-style-type: none"><li>・区民だけでなく、他のエリアからも人が集まる施設にしてほしい。</li><li>・子どもを中心として、人が集まるような施設にしていくべき。</li><li>・もっと地域住民が気軽に利用できる施設にしてほしい。小さい子どもや高齢者の方が繋がる場所になると良い。</li><li>・改修後も横浜ビー・コルセアーズのホームアリーナとして使用してほしい。</li><li>・仮に通年スポーツフロアとする場合、名称変更も検討すべき。</li></ul>
周辺	<ul style="list-style-type: none"><li>・竹林なども活かして利用方法を考えるべき。</li><li>・北山田駅からの階段のアクセスを改善できないか。</li><li>・防災の観点での利活用もできるようにしてほしい。</li></ul>

## (3) 水泳関係団体との意見交換

令和4年1月以降、素案の公表までの期間に計8回にわたり、神奈川県水泳連盟、横浜水泳協会と意見交換を実施し、メインプール利用者数の推移や、サウンディング調査の結果等について説明しました。

なお、水泳関係団体からは、素案の公表前後にメインプール存続を要望する文書をいただいています。

#### 4 メインアリーナ改修の検討

メインアリーナを夏季はプール、冬季はスポーツフロアとして使用する運営方法(床転換)について、「床転換を継続」、「通年プール化」、「通年スポーツフロア化」の3つの手法を比較検討しました。民間事業者からの意見・提案等を踏まえると、「通年スポーツフロア化」が、他の手法よりも持続的な施設運営に貢献できる手法であると考え、素案に反映しました。

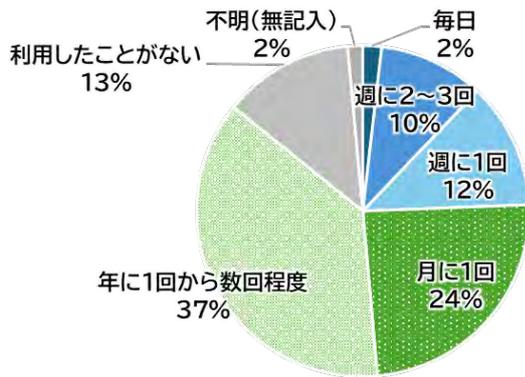
	床転換を継続 (夏季プール/冬季スポーツフロア)	通年プール化	通年スポーツフロア化
スポーツフロアに対する市民ニーズへの対応	スポーツフロア需要増の市民ニーズに対応できない。	スポーツフロア需要増の市民ニーズに対応できない。	スポーツフロア需要増の市民ニーズに対応できる。
プール利用者のニーズへの対応	引き続き、プールの利用が可能。	引き続き、プールの利用が可能。	サブプールを引き続き利用することが可能。大規模大会開催は不可。
市民サービス向上	床転換に要する2か月間は休館。ソフト面でのさらなる工夫が必要。	プールのみとなるため、展開できる市民サービスが限られる。	様々なスポーツ種目で利用が可能のほか、子どもが気軽に遊び集えるサービス展開も可能。
改修による費用削減効果※	現状維持のため、費用削減効果は発生しない。	床転換継続時と比較し、一定の費用削減効果が見込める。	床転換継続時と比較し、大幅な費用削減効果が見込める。
改修による増収効果	現状維持のため、さらなる工夫が必要。	床転換に要していた2か月間分の増収が見込める一方で、プール利用者は減少傾向。	床転換に要していた2か月間分及び、高いスポーツフロア需要による増収が期待できる。

※施設耐用年数の令和49年まで使用した場合の比較



#### (4) 施設の利用頻度

回答いただいた方のうち、市内在住の方も市外在住の方も、約半数が月に1回以上利用しています。



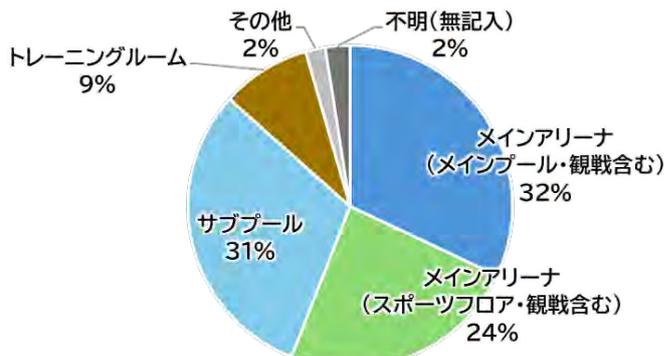
市内在住の方 (n=2743)



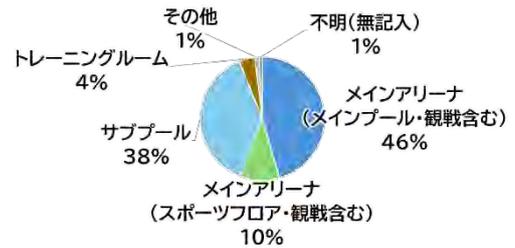
市外在住の方 (n=388)

#### (5) 利用施設

回答いただいた方のうち、市外在住の方は市内在住の方に比べてメインプール、サブプールの利用率が高い傾向がみられます。



市内在住の方 (n=2394)

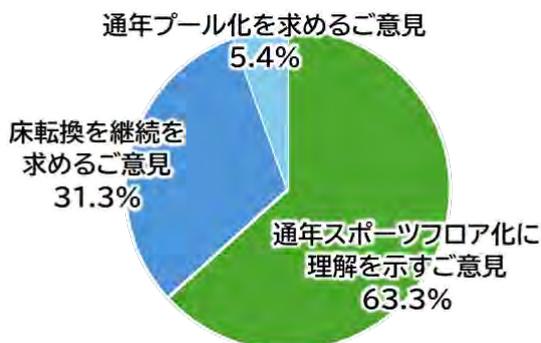


市外在住の方 (n=388)

#### (6) メインアリーナへのご意見

メインアリーナの再整備について「床転換を継続」「通年プール化」「通年スポーツフロア化」の3つの方向性で検討してきた結果、素案では、「通年スポーツフロア化」とする案をお示しました。この提案に対してお寄せいただいたご意見を集計しました。

市内在住の方のご意見を集計すると、メインアリーナへのご意見が示されたもののうち63.3%が「通年スポーツフロア化に理解を示すご意見」でした。



市内在住の方 (n=2,576)



市外在住の方 (n=384)

	市内在住の方		市外在住の方		居住地不明	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
通年スポーツフロア化に理解を示すご意見	1,630	63.3%	79	20.6%	5	17.2%
床転換の継続を求めるご意見	807	31.3%	273	71.1%	22	75.9%
通年プール化を求めるご意見	139	5.4%	32	8.3%	2	6.9%
小計	2,576	100%	384	100%	29	100%
明確なご意見の表明が無かったもの	167		51		1	
合計	2,743		435		30	

【参考】意見全体から算出した集計結果

	市内在住の方		市外在住の方		居住地不明		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
通年スポーツフロア化に理解を示すご意見	1,630	59.4%	79	18.1%	5	16.7%	1,714	53.4%
床転換の継続を求めるご意見	807	29.4%	273	62.8%	22	73.3%	1,102	34.4%
通年プール化を求めるご意見	139	5.1%	32	7.4%	2	6.7%	173	5.4%
明確なご意見の表明が無かったもの	167	6.1%	51	11.7%	1	3.3%	219	6.8%
計	2,743	100%	435	100%	30	100%	3,208	100%

(7) いただいたご意見とご意見に対する横浜市の考え

ホームページで公表しました。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/saiseibi/pool/ikenboshu.html>

## 2 関係団体との意見交換

### (1) パラ水泳4団体との意見交換

一般社団法人日本パラ水泳連盟、一般社団法人日本知的障害者水泳連盟、一般社団法人日本デフ水泳協会、一般社団法人横浜水泳協会障がい委員会の4者連名による令和6年6月30日付の陳情を受け、7月14日に4団体と神奈川県水泳連盟の皆様と意見交換を行いました。

#### 発言要旨

- ・再整備という名のメインプール廃止ということが密室で議論されていたのか、メディアを通じて知るという状況で、誠意とか誠実さに欠けていたのではないかと受け止めている。
- ・知的連盟は日本選手権が最大の行事だが、毎年国際プールで開催してきた。選手たちはまだ大会の場がなくなると思っていない。選手たちは連盟が動いてくれると思っている。
- ・関東近県で交通アクセスが大変よく新幹線からのアクセスも良い。50メートルだけでなく、短水路の大会もできる施設で運営の面でもいい施設。
- ・インクルーシブのまちづくりを掲げているが、インクルーシブの視点から市の人には物事を進めてほしい。
- ・横浜は水泳競技の発祥の地であり、市民大会を毎年3日間このプールで行っている。このプールでしか市民大会は開催できない。とにかく必要なのではなくしてほしい。
- ・パリの代表もこのプールを経験して出ている。神奈川県出身の選手が多いのは、この場を目指して、憧れる好循環が生まれているから。様々な視点の検討があると思うが、我々の思いも市長に意見を伝えてほしい。
- ・パブリックコメント（市民意見募集）で再整備という言葉を使っている。市民は素案をしっかりと読み込むことはない。再整備と聞くと良くなるのだなという風に思う。廃止という言葉はない。争点になることをしっかり出さないといけないと思う。
- ・プールはお金がかかるから廃止なのか。他の件でもネーミングライツを使ったりしている。そういう検討はしていないのか。

### (2) 地域の水泳団体との意見交換

神奈川県水泳連盟、横浜水泳協会とは、素案策定後も意見交換を継続し、メインプール存続について強いご要望をいただいています。

### 3 地域の皆様との意見交換

令和6年6月～7月にかけて、都筑区連合町内会自治会の地区連合町内会自治会会長の皆様や、本施設が位置する連合町内会自治会、自治会町内会、地域の商業振興会に素案の内容についてご説明し、意見交換を行いました。

項目	主なご意見
施設改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ早急に進めて早く工事が終わるようにしてほしい。</li> <li>・障害者の方や子育て世帯にとってもサブプールを使いやすくしてほしい。</li> </ul>
施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜国際プールを皆が楽しめる場所にしてほしい。今は、施設内を利用する人が多いが、利用者が限られている。</li> <li>・基本的に賛成の考えである。若い世代が使う施設になることがいい。</li> <li>・屋外のスペースを活用して、外でも遊べるようにしてほしい。どこにもないような画期的な遊具を設置し、試合を観なくても遊びに来られるような場所になると良い。</li> </ul>
周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北山田駅からのアクセスについて障害のある方は苦勞している。スロープを障害のある方も自力で上げられるようにするなど改善してほしい。</li> <li>・駅から国際プール、山田富士公園までのアクセスを改善してほしい。</li> </ul>

### 4 地域の子どもたちへのアンケート

横浜国際プール周辺の近隣小学校3校・中学校1校へのアンケート調査を行いました。

#### (1) アンケート集計方法

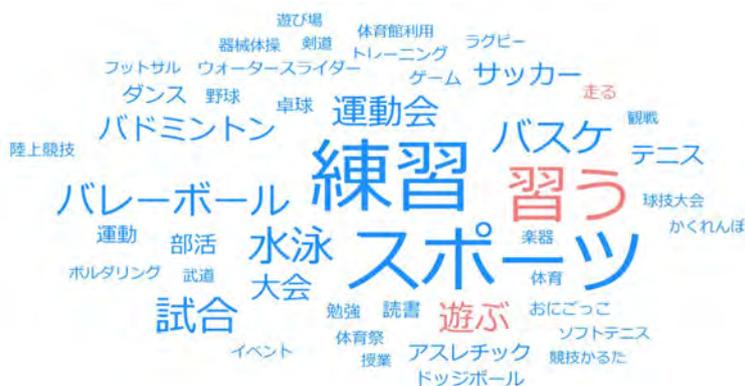
各設問に記載の内容のうち、設問ごとに出現回数の多いキーワードを抽出しました。

問1～3の結果については、キーワードを件数に応じ文字の大きさを表現しました。文字が大きいものほどご意見が多かったキーワードです。青字は名詞、赤字は動詞を表しています。

#### (2) 集計結果

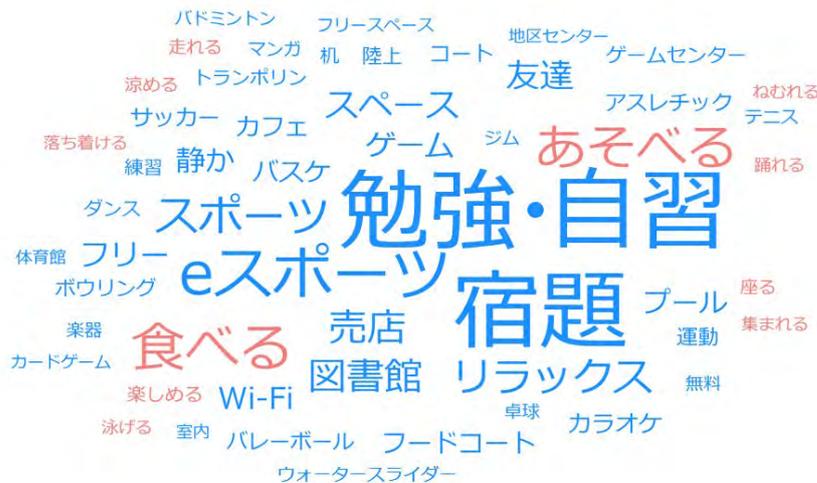
○問1 この施設のなかでどんなことがしたいですか？

(たとえば、学校の運動会や習っているスポーツの練習・試合など)



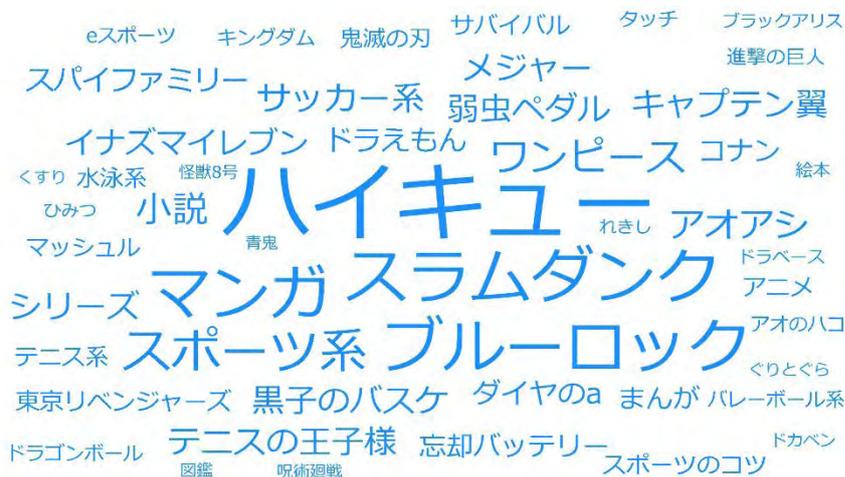
「練習」、「スポーツ」というキーワードの登場回数が多く、具体的なスポーツとして「バスケット」「バレーボール」「水泳」が多くみられました。

○問2 この施設のなかにどんな場所があるといいですか？  
 (たとえば、宿題ができる場所やeスポーツができる場所など)



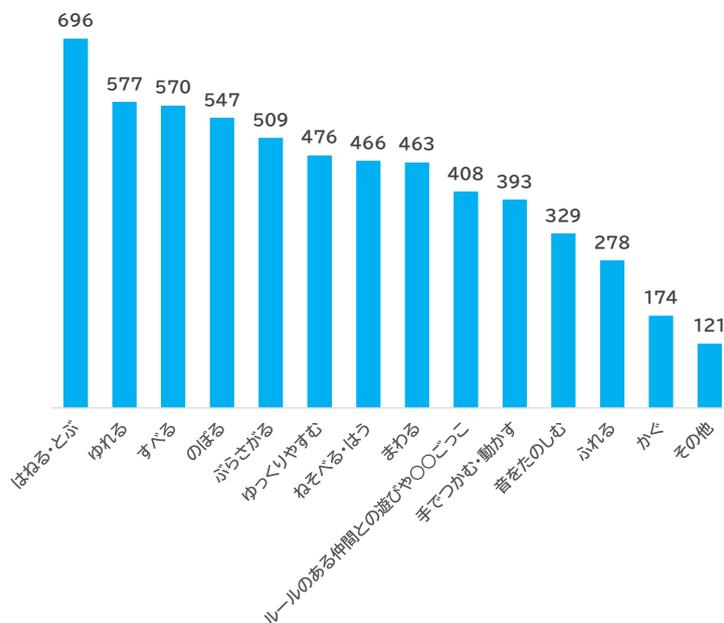
「宿題」「勉強・自習」というキーワードが最も登場回数が多く、スポーツだけではなく、学習に取り組む場所を求める意見がみられました。

○問3 スポーツマンガの図書館にどんな本があるといいですか？



スポーツ系のマンガを中心として、幅広いジャンルの意見がみられました。

○問4 建物の中や外に遊び場をつくる工事をします。そこでどんな体の動かし方をして遊びたいですか？(選択式)



「はねる・とぶ」が最も多く、次いで「ゆれる」「すべる」「のぼる」等が多い結果となりました。

## 5 いただいた陳情、要望等

### (1) スポーツフロア化への理解が示されている要望

横浜市テニス協会、横浜市卓球協会、横浜ハンドボール協会、横浜ソフトテニス協会、横浜バスケットボール協会、都筑区連合町内会自治会、北山田商業振興会 ほか

### (2) メインプールの存続を求める要望

横浜水泳協会、日本水泳連盟、神奈川県水泳連盟、神奈川県高等学校体育連盟水泳専門部、日本パラ水泳連盟、日本知的障害者水泳連盟、日本デフ水泳協会、横浜水泳協会障がい委員会、横浜国際プールメインプールの存続を求める会、フリーダムドルフィンハート

## 第5 市民の皆様のご意見を踏まえた素案からの主な変更内容

### 1 ご意見を踏まえた検討の経過

#### (1) サブプールでの大会開催についての検討

素案の内容について、水泳関係団体から、陳情※次頁参照をはじめ、様々なご意見をいただきました。また市民意見募集でも練習用プールの必要性についてのご意見を多くいただいたことから、サブプールでできるだけ多くの大会を開催するために必要な機能等について改めて検討しました。

#### ア 観客席数を増やすための検討

素案では、観客席の通路部分を利用し座席を設置する計画で、現状の355席から500席程度とする案としていました。原案策定にあたっては、座席の配置や、ベンチシート等座席の種類の見直しを含む検討を行いました。

#### イ 練習用プール整備の検討

近隣施設の活用を検討しましたが、屋外プールについては季節や天候、使用時の立会などの課題があり、練習用プールの代替施設とすることはできないと判断しました。また、民間プール施設へのヒアリングでは、民間施設は教室等の事業を行っていることから代替施設とすることはできない、との意見をいただきました。

次に、廃止予定のダイビングプール(25m)は、メインプールと設備が共用であること、スポーツフロアと併設すると湿度調整ができずフロアが反りあがるなどの課題があることから、代替施設とすることはできません。その他にも館内で設置できる場所を検討しましたが、耐荷重等の課題があり、館内に練習用プールを設置することは難しいと判断しました。

これらを踏まえ、敷地内に別棟で建築できないか検討した結果、サブプールに隣接した屋外多目的コート付近にスペースを確保できることがわかりました。ここに練習用プールを整備し、サブプールと渡り廊下等で接続する等の検討を行いました。

## 【参考】水泳6団体からの陳情（令和6年11月27日）

横浜市長 山中 竹春 様

### 横浜国際プールのメインプール継続利用のお願い（陳情）

日頃より水泳団体の国際プール利用に対しまして格別なご配慮を頂き感謝申し上げます。

- 横浜市から、長水路大会が実施できる環境がなくなるのは、想像できません。
- メインプール存続を強く要望します（従来通り半年プール、半年フロア化）。
- 横浜国際プール再整備事業（素案）では、観客席の増設、ビジョンの更新、空調設備の改修などサブプールを機能強化し、市民大会を開催できるプールとする旨記載されているが、これまで実施してきた市民大会などは次の点から開催出来ません。
  - ・長水路大会を実施するためのアップ用プールがない。
  - ・保護者等が観戦する観客席、競技会運営役員等の諸室、選手が滞在できるスペース等が大きく不足する。
  - ・選手・役員の移動に関するスペースがいたるところで狭い。
  - ・利用できるエレベーターが少なく、階段が多い（バリアフリーからかけ離れてる）
- 現在、メインプールでは全国、関東、県レベルなど様々な競技会が実施されているが、通年フロア化が実施されれば、これらの競技会の実施は不可能となる。
- メインプールでスポーツ興行が行われる当日は、サブプールで実施している記録会等も開催出来ないとされている。

こうしたことから、いかにサブプールの機能強化を図ったとしてもメインプールの存続は不可欠です。水泳団体の実情をご理解頂き、引き続きメインプールを利用させていただきますようお願い申し上げます。

令和6年11月27日

公益財団法人日本水泳連盟 会長 鈴木 大地  
一般社団法人日本パラ水泳連盟 会長 河合 純一  
一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 会長 佐野 和夫  
一般社団法人日本デフ水泳協会 会長 竹中 芳晴  
一般社団法人神奈川県水泳連盟 会長 高橋 憲司  
一般社団法人横浜市水泳協会 会長 森野 弘

(2) インクルーシブの視点を踏まえた整備内容についての検討

検討にあたっては、パラ水泳団体等と意見交換※意見交換の内容は次頁参照を行うほか、市民意見募集や地域の皆様との意見交換でのご意見を踏まえて検討しました。

ア サブプールをはじめとした施設内の整備

パラ水泳団体との意見交換では、サブプールはメインプールに比べてバリアフリー動線の使い勝手が良くないというご意見をはじめ、大会開催時の懸念点等が示されました。

サブプールには施設のエントランスからプールサイドへのバリアフリー動線がありますが、現在はスタッフ用の動線として使用されています。再整備にあたっては利用者向けのバリアフリー動線として活用できるよう検討しました。

また、施設内のトイレや更衣室の整備にあたっては、パラ水泳団体との意見交換で得られた知見を反映した仕様とできるよう検討しました。

イ 北山田駅からのアクセス

北山田駅から横浜国際プールまでのアクセスルートのうち最短のルートには高低差が約 17 メートル（おおむね6階建て建物の屋上高さに相当）の階段があり、バリアフリーが確保されていないため、車いす使用者やベビーカーではアクセスできないことが課題となっています。

バリアフリーの観点から3案（斜行モノレール、エレベーター、スロープ）の整備手法を検討した結果、コスト、輸送力、使いやすさ等の点から、斜行モノレールを整備します。

※エスカレーターは車椅子等の利用時にバリアフリー上の課題があるため除外

	斜行モノレール	エレベーター	スロープ
			
評価	エレベーターとほぼ同様の操作で運用可能。工期が短く施工範囲も最小限となり、周辺への影響が少ない	使い慣れた移動手段で運用もスムーズ。建築と橋梁共に大規模な工事が必要となる	総長370mの傾斜路はバリアフリーの基準を満たしても利用上の課題がある
仕様	・定員：16名、エアコン完備 ・バリアフリー（車いす）対応	・定員：11名、エアコン完備 ・バリアフリー（車いす）対応	・バリアフリー基準に適合する緩やかなスロープ ・総長：約370m

## ○インクルーシブの視点を踏まえた改修内容についての意見交換

### 日本パラ水泳連盟との意見交換

#### 発言要旨

- ・やはり、メインプールがなくなるのは残念。重要な拠点である。
- ・練習用プールの新設はありがたい。全日本レベルの大会は観客席のキャパが足りないため、開催はできないが、関東大会レベルまでくらいなら、運営を工夫をする中で開催できると思う。
- ・練習用プールをパラ仕様にするとのことだが、ラポールのようなプールサイド全周を高くするなどの配慮までは不要。ただ水深 120cm の深さからあがるのはしんどい。手すりそばなど、水中の一部に段床があれば十分。多少のことは、状況にあわせて対応していく。
- ・関東大会レベルでも車いすが 50 台は来る。練習用プールや新たに設置するバリアフリー動線上に多目的機能を設けたとしても、エレベーターの数から大会開催は現実的ではない。大会時はメインアリーナと共用でよいので、メインアリーナの更衣室からスロープで移動することとし、サブアリーナで招集など、サブプールでレース、練習用プールでアップ・ダウンをすることを想定すれば、大会の対応はできる。
- ・これとは別に、これを機にエレベーターの拡充（輸送力の向上）は検討したほうが良い。
- ・更衣室やトイレなどは、バリアフリー的にフルスペックのものでなくても、少し広めの空間を作るなど、少しの配慮で使い勝手が大きく向上するので、そうした工夫を考えた方が良い。基準に合ったものが一つあるより、基準に合っていないくても少し大きめに工夫して作られたものが多めにある方が、よっぽど効果が大きい。
- ・アトリウムとサブプール間の空間は準屋内化できる工夫がほしい。

### 日本知的障害者水泳連盟との意見交換

#### 発言要旨

- ・改めてメインプールがなくなるのは残念。今年、日本水泳連盟は 100 周年を迎えた。次の 100 年に向けて発展していこうというところだ。
- ・知的は、施設的に一般と同様で構わない。
- ・サブプールの客席の増設や練習用プールの新設、だれでも更衣室やトイレの整備はよいと思う。大会実施に必要な環境はそろっていると思う。ただ、ラポールのようなプールサイド全周を高くするといったことは、車いすユーザー以外危険だと思うのでやめてほしい。
- ・更衣室に個別の扉やシャワールームのカーテンも不要。密室にすると、シャンプーを使うなど、風呂代わりにする人が出る。倒れてもわからない。
- ・練習用プールは、飛び込みができるよう水深 1.4m は確保したうえで、一般利用時は台をいれるなどの工夫をしたほうが良い。

### 発言要旨

- ・サブプールは、やはり観客席が狭いが、700席に増えることはイメージできた。
- ・デフ大会開催時にスタートランプを都度、持ち込んでいる。再整備後は、施設で保有してもらえるとよい。
- ・地震など発災時に、選手や観客が気づけるシステムがあると良い。プールだけでなく、更衣室やトイレなどにもあると良い。
- ・デフの大会は8レーンあれば問題なく、今回の追加整備で、デフの大会は全国レベルの大会も開催できる。
- ・年間を通じて大会が行えるようになることはうれしい。

## 2 素案からの主な変更内容

### (1) サブプールの更なる機能強化

観客席を素案の500席程度から700席程度に増やします。バリアフリー動線の確保、だれでも更衣室※・バリアフリートイレの設置などを行います。

### (2) 練習用プールの整備

25m×5レーンの練習用プールを整備します。だれでも更衣室※、バリアフリートイレ、選手の待機スペースなどにも活用できる多目的スペース等を整備します。

### (3) 人にやさしいアクセス環境の整備

車いす使用者やベビーカーをはじめ、施設利用者にとってのバリアフリー経路の確保のために、北山田駅から施設への最短の経路となる階段の横に斜行モノレールを設置します。

※だれでも更衣室：性別を問わずだれでも利用できる更衣室

## 第6 再整備の内容

### 1 本施設の今後果たすべき役割

前章を踏まえ、再整備後は、新しい市民ニーズ、ライフスタイルに対応した運営方法により、市民のスポーツ実施率の向上や子育て世代を中心とした地域の居場所づくりに寄与する場となることが求められています。また、改修により施設の魅力をさらに高めることで収益性の向上を図るとともに、スポーツによるにぎわいを生み出し、地域経済の活性化に資することも求められています。

再整備にあたっては、バリアフリー動線の確保をはじめ、インクルーシブな視点を踏まえた誰もが使いやすい施設を目指す必要があります。また、本市が進める脱炭素化を推進するとともに、近年頻発する自然災害を受け、地域防災力の強化を求める声に応えるためにも防災機能を充実させ、地域全体の価値の向上にも貢献していく必要があります。

### 2 本施設が目指す姿

子どもたちが多様なスポーツを体験し 成長する場として  
小さな子どもと一緒に 親子がゆとりの時間を過ごせる場として  
市民の皆様がスポーツを通じた交流を重ね にぎわいが生まれる場として  
そして  
誰もが共に多様なスポーツを楽しめるインクルーシブなスポーツ拠点として  
より開かれた 多くの市民の皆様にご喜ばれる施設へと生まれ変わります

#### ■横浜国際プールのリニューアルビジョン

## 次世代を育む複合型スポーツアリーナ

～子どもが主役の夢とにぎわいが生まれる場所に～

#### ■4つの視点



未来への負担を減らした持続可能な施設へ

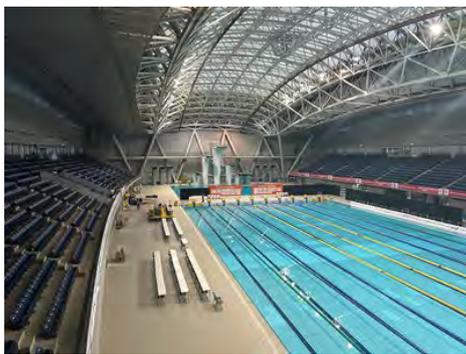
### 3 再整備のイメージ

#### ① メインアリーナの通年スポーツフロア化

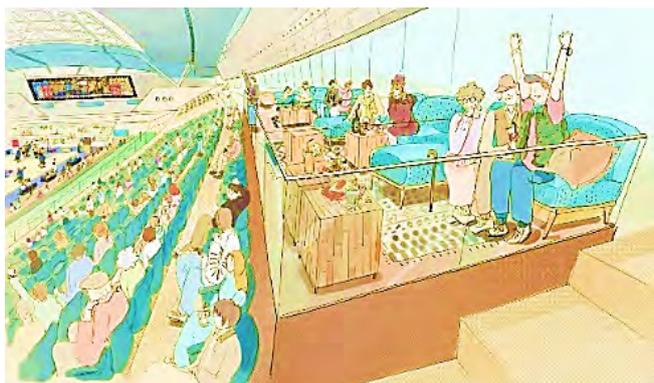
- ・ 体育館の利用ニーズに対応するため、メインプールを廃止して通年スポーツフロアに改修し、障害の有無などに関わらず誰もが多様なスポーツを実施できる施設として、市民のスポーツの場を拡充します。
- ・ 年間を通じて、スポーツ大会の開催や小中高生の様々な催事に対応します。
- ・ 利用状況に応じて、室内の一部にエア遊具を設置するなど親子で楽しめる場を作ります。
- ・ 様々なスポーツ興行にも対応可能となるよう、現在最も要求水準の高い B. PREMIER クラブライセンス交付規則【ホームアリーナ基準】に沿って大型映像装置、空調・音響設備改修等のアリーナ機能の拡充とスイート・ラウンジやファミリー席等の整備を行います。

席数	約 5,000 席→6,000 席以上（可動席を含む）
主な整備内容	大型映像装置更新・設置、空調設備更新、音響設備更新、スイート・ラウンジやファミリー席等整備、特定天井脱落対策

#### ■スポーツフロア化後の利用イメージ



#### ■ファミリー席整備イメージ

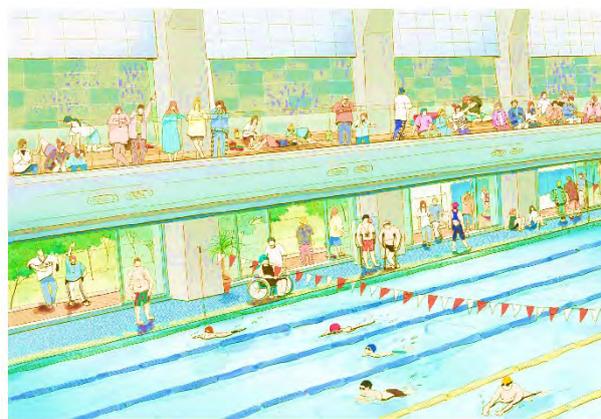
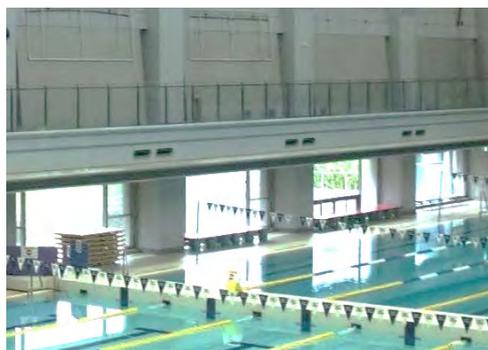


## ② サブプールの機能強化

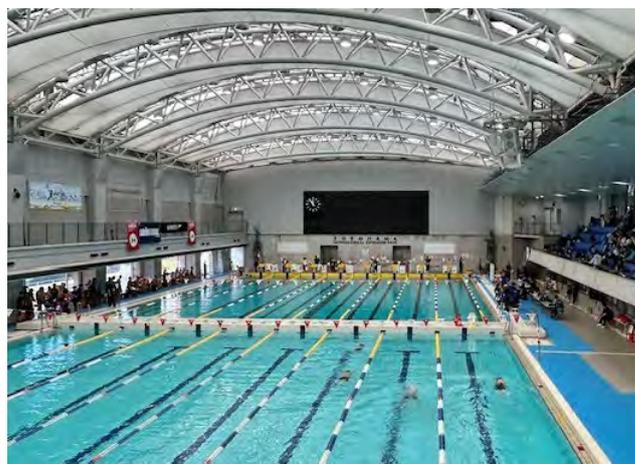
- ・長水路（50m）を生かしながら、観客席の増設、映像装置、空調設備の改修等を行います。
- ・観客席を現状の 355 席から約 2 倍の 700 席程度まで増設します。
- ・エントランスからプールサイドまでのバリアフリー動線を確保し、だれでも更衣室、バリアフリースイールの設置などを行います。
- ・後述の練習用プールと併せ、公益財団法人日本水泳連盟の定める公認プール施設要領に記載の国内プール A を念頭に整備します。

席数	355 席→700 席程度
主な整備内容	映像装置更新、空調設備更新、バリアフリー動線の確保、だれでも更衣室、バリアフリースイールの設置

### ■サブプール観客席増設イメージ



### ■サブプール大会開催イメージ

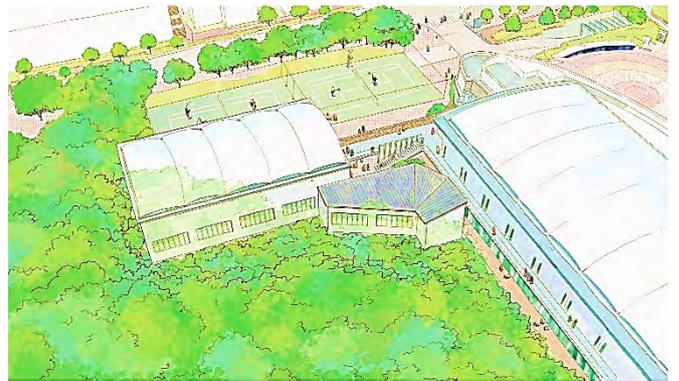


### ③ 練習用プールの整備

- ・だれでも更衣室、バリアフリートイレ、多目的スペース等の付帯設備を持つ、インクルーシブな視点を踏まえた練習用プールを整備します。
- ・サブプールでの大会開催時のウォーミングアップやクールダウン用のプールとしての利用や、水泳教室での利用等を想定しています。

仕様	25m×5 レーン
付帯設備	だれでも更衣室、バリアフリートイレ、多目的スペース等

#### ■練習用プール整備場所



#### ■練習用プール利用イメージ



【参考】サブプールの機能強化、練習用プールの整備をした場合の

メインプールで開催している主な大会のサブプールでの実施可否の想定

大会名（令和5年度実績）	実施可否
第35回フィンスイミング日本選手権大会	□
第45回ジュニア選手権水泳競技大会	—
第61回神奈川県高等学校総合体育大会	□
第26回日本知的障害者選手権水泳競技大会	□
令和5年度神奈川県中学生水泳競技大会	□
横浜市民総合体育大会夏季水泳競技大会	□
令和5年度横浜市中学校総合体育大会水泳競技の部	□
横浜国際プール第2回インクルーシブ水泳大会	◎
第33回神奈川県ジュニア選手権大会（AS）	□
第46回JOCジュニアオリンピックカップ	—
第48回横浜地区高等学校水泳競技大会	□
第99回日本学生選手権水泳競技大会水球競技	□
第35回神奈川県中学生水泳競技大会新人戦	□
第31回神奈川マスターズ長水路水泳大会	□
2023 ジャパンパラ水泳競技大会	—

「—」…50mの練習用プールがないことから実施できない可能性があるもの

「□」…施設の規格上は実施可能と考えるが、実施するかどうかは主催者の意向によるもの

「◎」…主催者が実施可能と判断したもの

#### ④ 子どもや親子が楽しめる空間の整備

- ・幅広い世代が自由に訪れ交流ができ、子どもたちが学習等もできるスペースとしてコミュニケーションスペースを設置します。
- ・スポーツマンガライブラリー等、休憩コーナーを改修して子どもたちがスポーツに親しめる場を作ります。
- ・敷地全体で、地域の皆様がいつでも立ち寄れ、また来たくなるスポーツと健康づくりの場となるよう、屋外遊具を設置し、質の高い、インクルーシブな遊び場を作ります。

主な設備	書架スペース、閲覧スペース、ベビールーム（授乳室等）、コミュニケーションスペース、屋外遊具
------	---

#### ■スポーツマンガライブラリー設置イメージ



再整備前



再整備後イメージ

#### ■屋外遊具設置イメージ



※設置場所は検討中です

## ⑤ 脱炭素・防災力向上

### ・脱炭素化の推進

太陽光発電、高効率空調設備、照明のLED化等を導入し、持続可能な都市の実現を目指し、本市が進める脱炭素化を推進します。

### ・地域防災力の向上

広い敷地を生かし、引き続き、大規模災害時に帰宅困難者を一時的に受け入れ、休憩場所のほか、可能な範囲でトイレ、水道水等や情報の提供を実施する「帰宅困難者一時滞在施設」として機能し、市民の皆様だけでなく、この街を訪れる方々が安心して過ごせるまちづくりを進めます。

あわせて、施設を地域の防災訓練等で活用し、日常的に防災意識向上と地域の連携強化を図れるよう、かまどベンチやソーラー街路灯等を設置します。



かまどベンチイメージ



ソーラー街路灯イメージ

## ○インクルーシブの視点を踏まえた整備

- ・性別や年齢、国籍、障害の有無等に関わらず、すべての施設利用者が安全で快適に分け隔てなく施設を利用できるよう、インクルーシブの視点をもって整備を進めます。
- ・北山田駅から横浜国際プールまでの経路に斜行モノレールを整備することで、車いす利用者やベビーカーをはじめ、施設利用者へのバリアフリー経路の確保を進めます。
- ・施設案内の多言語・やさしい日本語への対応、筆談ボードの設置、点字表記・発災時の視覚的表示機能の充実などをより誰もが利用できる施設運営を進めます。

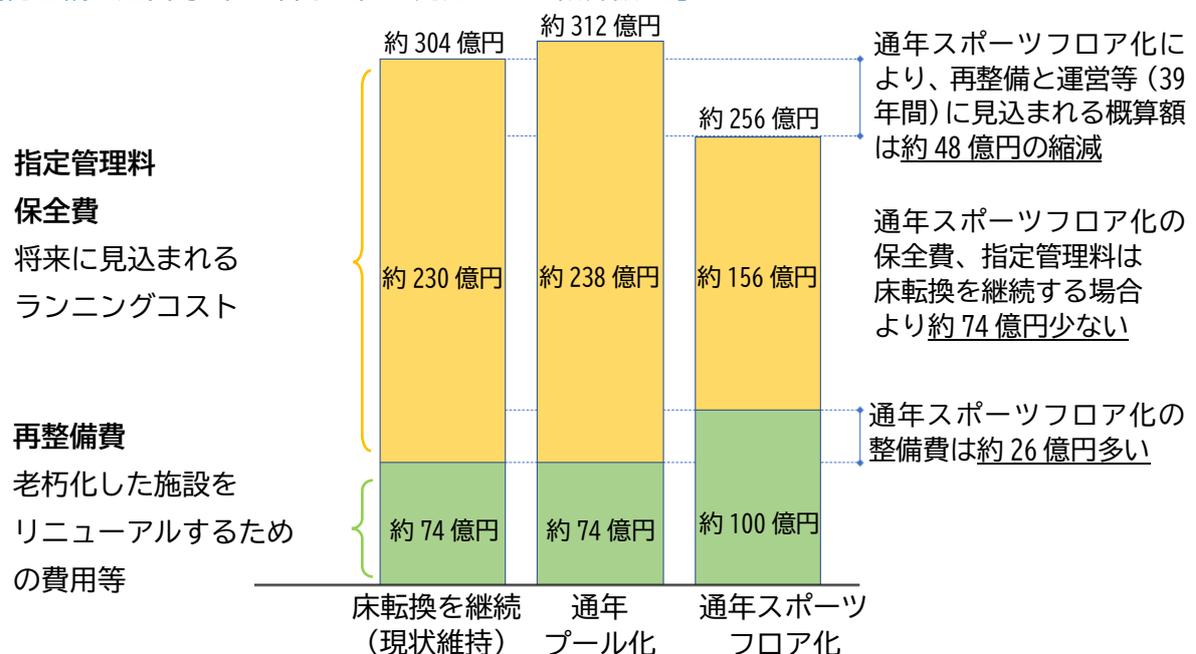


#### 4 再整備による運営費等の削減効果※1

	床転換を継続 (現状維持)	通年プール化の 場合	通年スポーツ フロア化の場合	現状と通年スポー ツフロア化の 場合の差	
運営費	約 6.0 億円/年	約 5.6 億円/年	約 5.7 億円/年	▲約 0.3 億円/年	
光熱水費	約 3.0 億円/年	約 3.7 億円/年	約 2.4 億円/年	▲約 0.6 億円/年	
支出合計	約 9.0 億円/年	約 9.3 億円/年	約 8.1 億円/年	▲約 0.9 億円/年	
利用料 収入	約 4.0 億円/年	約 4.1 億円/年	約 4.7 億円/年	約 0.7 億円/年	
横浜市負担分	指定 管理 料等	約 5.0 億円/年	約 5.2 億円/年	約 3.4 億円/年	▲約 1.6 億円/年
	保 全 費	約 0.9 億円/年	約 0.9 億円/年	約 0.6 億円/年	▲約 0.3 億円/年
	合 計	約 5.9 億円/年	約 6.1 億円/年	約 4.0 億円/年	▲約 1.9 億円/年

※1 現時点での試算であり、今後、事業内容等の精査により変動します

#### 【再整備と運営等（39年間※2）に見込まれる概算額※3】



通年スポーツフロア化する場合の再整備費用は、床転換を継続する場合の再整備費用よりも、約 26 億円多くかかる見込みです。一方で、通年スポーツフロア化する場合のランニングコストは、床転換を継続する場合よりも、約 74 億円削減できる見込みです。

そのため、再整備と運営等（39年間）に見込まれる概算額は約 48 億円削減できる見込みです。

※2 施設を 70 年間利用する場合の残りの耐用年数の想定

※3 現時点での試算であり、今後、事業内容等の精査により変動します

## 第7 地域の魅力向上に向けた取組

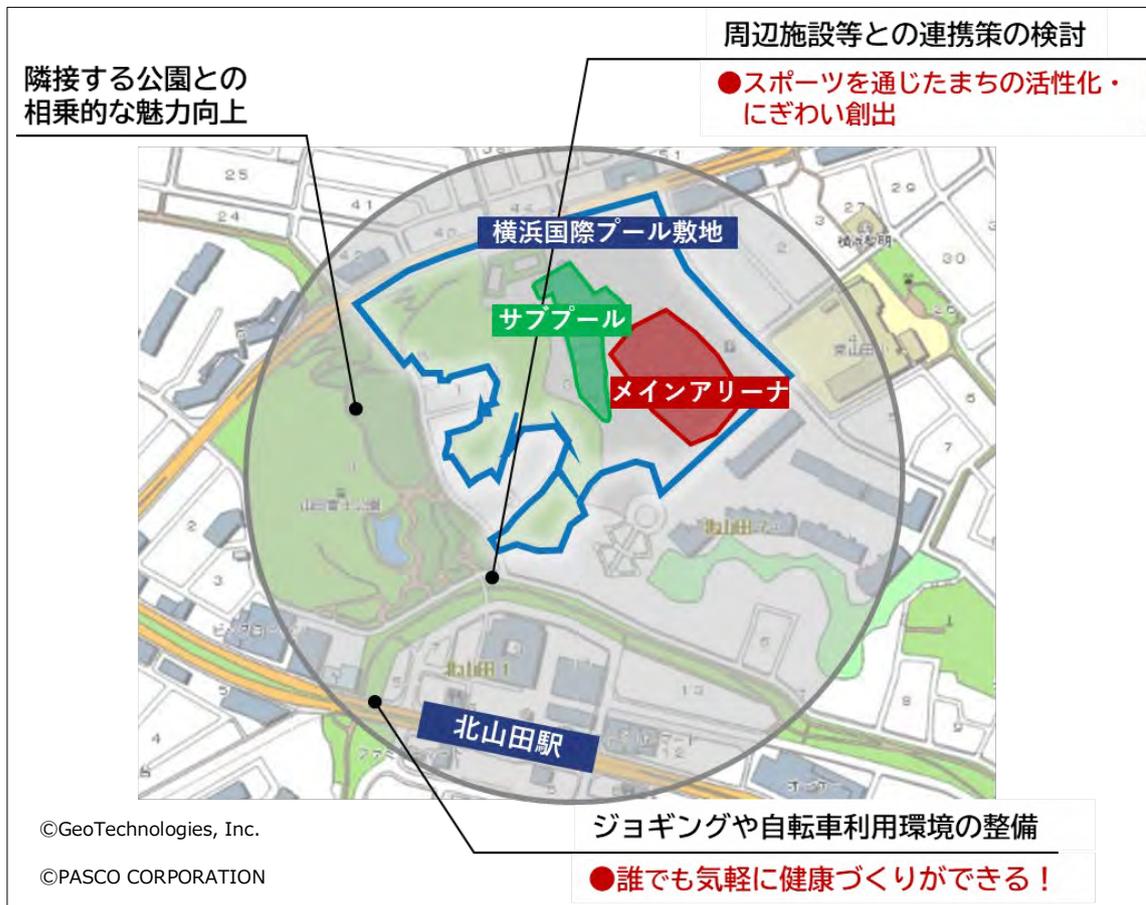
### 1 まちの魅力向上

スポーツアリーナは、単なるスポーツ施設に留まらず、感動体験の共有や恒常的なにぎわいの創出を通じて、地域のシンボルとなり、それを核にして新たな産業が集積するとともに、スポーツの波及効果を活かしたまちづくりが可能となるなど、地域経済活性化や持続的成長といった新たな公益をもたらすことが期待できると言われています。※

周辺施設との連携策等、本施設が地域と一体となり、まちの魅力の向上に寄与するための取組を検討していきます。

### 2 ジョギングや自転車利用環境の整備

本施設を起点に、エリア全体でスポーツに親しみ、市民の健康増進、まちの活性化につながる取組を検討していきます。



※一部引用「スタジアム・アリーナ運営・管理計画検討ガイドライン」スポーツ庁、経済産業省

## 第8 事業手法と今後の流れ

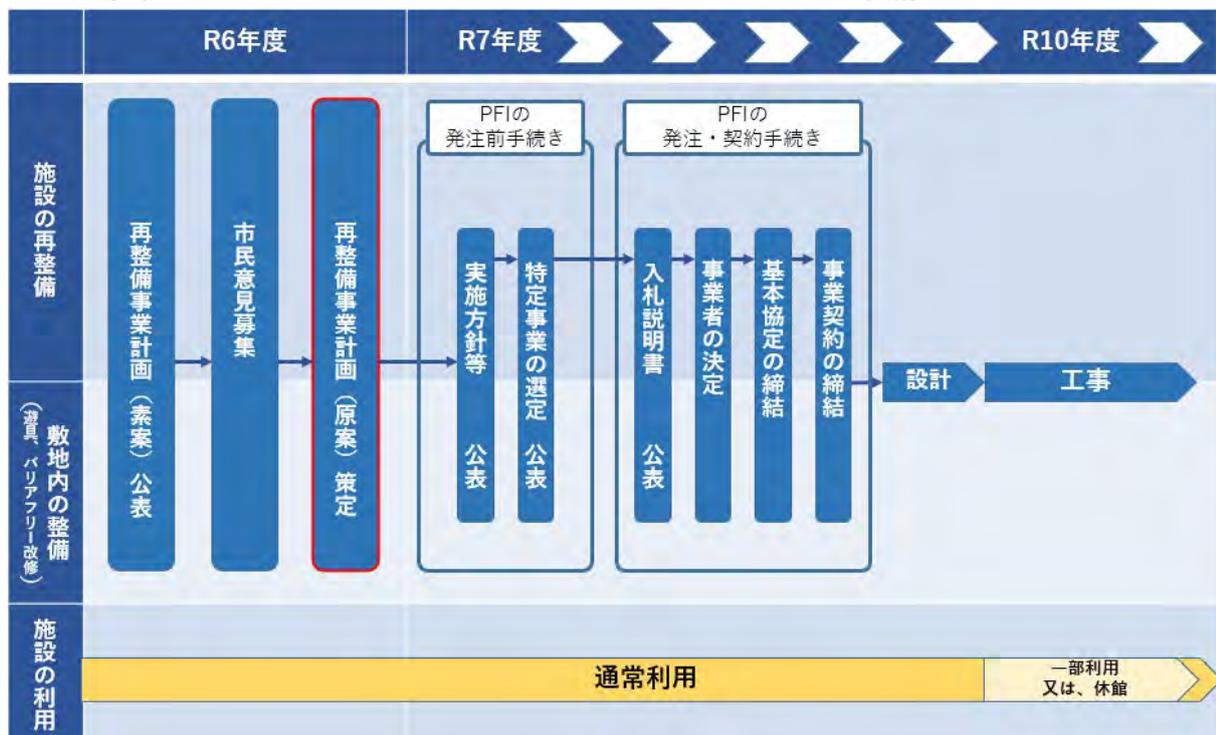
### 1 事業手法

民間事業者との連携により、より効率的かつ効果的な施設整備や魅力的な施設運営が期待できること、また、市の財政支出の抑制、財政負担の平準化が図れることから、PFI方式(※)を前提に検討を進めていきます。

※PFI:公共事業を実施するための手法の一つで、民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修や維持管理・運営を行うものです。

### 2 今後の流れ

事業の流れは次のとおりですが、スケジュールについては今後精査していきます。

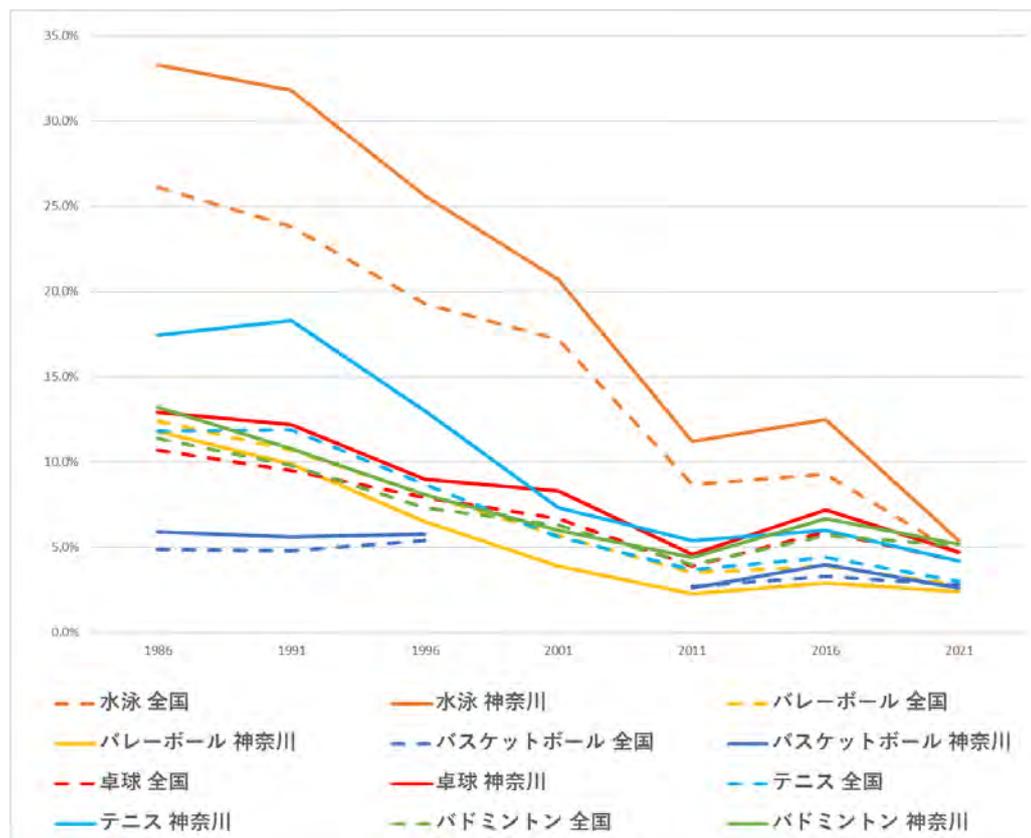


### 3 施設の名称

再整備の方向性にあわせて、施設の名称についても今後検討を行っていきます。

資料

スポーツの種目別実施率の推移



出典：社会生活基本調査（総務省統計局）

「スポーツの種類別行動者率」

※15歳以上で、年に1回以上各競技を行った者の数

### 市内のトップスポーツチームの状況

市内には、野球、ソフトボール、サッカー、フットサル、バスケットボール、アイスホッケー、ラグビーといった多くのトップスポーツチームがあります。本市は、令和2年10月1日に「横浜スポーツパートナーズ」を創設し、市内を活動拠点とする13のトップスポーツチームと連携・協働することで、スポーツ振興や地域活性化などにつながる取組を進めています。

市内の施設を活動拠点として提供することで、市民のスポーツ観戦機会の提供にも貢献していますが、市内スポーツ観戦率は目標値を下回っている状況であり、今後の観戦率の向上のためにも、アリーナ機能を有する施設の整備が有効です。

また、スポーツチームの活動は、地域への新たなアイデンティティ（帰属意識、愛着、誇り、生活満足度）の付与や、コミュニティ活動の活発化、観戦機会・イベントの増加、若い世代への「夢」の付与、スポーツを楽しむ人の増加などの効果が期待できます。

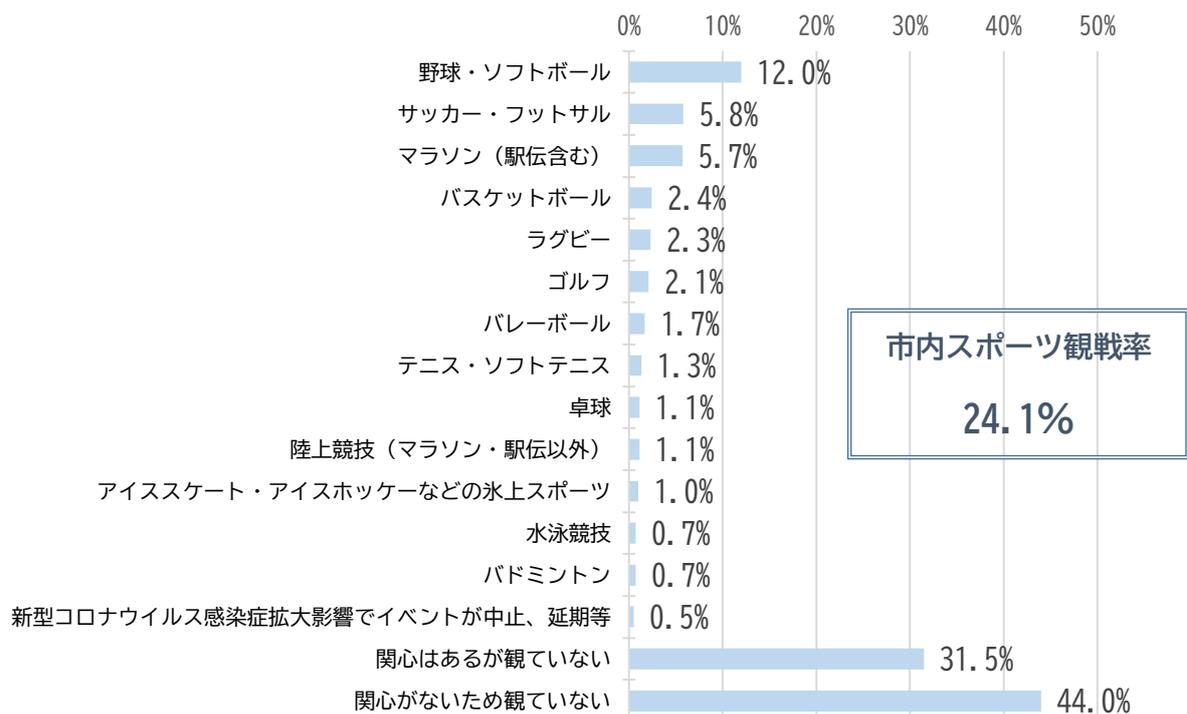
※一部引用「スタジアム・アリーナ運営・管理計画検討ガイドライン」スポーツ庁、経済産業省

トップスポーツチームの施設利用状況（令和6年12月時点）

施設名	リーグ・競技名称	利用団体・チーム名称	設置者	観客席数 (車いす席含む)
横浜スタジアム	NPB（野球）	横浜 DeNA ベイスターズ	横浜市	約 34,000
横浜国際 総合競技場	J1 リーグ（サッカー）	横浜 F・マリノス	横浜市	約 72,000
	ジャパンラグビー リーグワン（ラグビー）	横浜キャノンイーグルス		
三ツ沢公園 球技場	J1 リーグ（サッカー）	横浜 F・マリノス	横浜市	約 15,000
	J2 リーグ（サッカー）	横浜 FC		
	J3 リーグ（サッカー）	Y. S. C. C.		
	なでしこリーグ 1部（サッカー）	ニッパツ横浜 FC シーガルズ 日体大 SMG 横浜		
	ジャパンラグビー リーグワン（ラグビー）	横浜キャノンイーグルス		
横浜国際プール	B1 リーグ（バスケ）	横浜ビー・コルセアーズ	横浜市	約 4,000
横浜武道館	F1 リーグ （フットサル）	Y. S. C. C.	横浜市	約 3,000
	B3 リーグ（バスケ）	横浜エクセレンス		
横浜 BUNTA I	B1 リーグ（バスケ）	横浜ビー・コルセアーズ	横浜市	約 5,000
	B3 リーグ（バスケ）	横浜エクセレンス		

<過去1年間に市内で観戦したスポーツの試合>

n=1,817



出典：「令和5年度横浜市民スポーツ意識調査」（令和6年3月発行）

### 他都市のスポーツアリーナの事例

近年、国内では地方創生の基盤としてスタジアムやスポーツアリーナを整備する事例が増えています。設備を充実させることなどにより「観るスポーツ」の価値を高め、日常的にまちににぎわいをもたらすことができる施設とすることで、施設の収益性が向上し、結果的に公的負担の軽減につながる効果も期待できます。

名称	開館	所有者	メインアリーナ 席数・収容人数	主な設備
沖縄アリーナ	令和3年4月	沖縄市	約8,500人 (バスケット)	510インチの メガビジョン
オープンハウス アリーナ太田	令和5年4月	太田市	約5,000人	可動式 センタービジョン
SAGA アリーナ	令和5年5月	佐賀県	約8,400席	3つの大型ビジョン 多彩なシート VIP ルーム、 プレミアムラウンジ
横浜 BUNTAI	令和6年4月	横浜市	約5,000人	約400インチ×3面 のワイドビジョン
TOYOTA ARENA TOKYO	令和7年秋頃 予定	トヨタ 不動産	約10,000人	※未定
川崎新！アリーナシテ ィ・プロジェクト	令和10年10月 予定 ※令和6年4月時点	【事業主】 ディー・エ ヌ・イー/ 京浜急行 電鉄	約15,000人	※未定

## B. PREMIER クラブライセンス交付規則 [ホームアリーナ基準] (主な基準を抜粋)

【入場可能数】 5,000 席以上の観客席数を有する

【固定席・可動席（壁面収納型）および移動席（移動式設備）】

すべての座席から試合コートが見渡せる、座席の幅は、1 席当たり 400mm 以上  
チケットに表記する番号・記号と同じ表示が取付けてある、独立したイスで背もたれが付いている固定席と可動席の出入りが可能

【スイート・ラウンジ】

- ・スイート・ラウンジがあること
- ・VIP が利用時には入場口からスイートには他の利用者と隔離された動線（一時的でも可）確保されている ※入場口を分けることが望ましい
- ・固定席(スタンド席)からの出入りが不可能な場所にスイート・ラウンジ利用人数相当の座席が用意されている
- ・VIP が利用時にはスイートから座席に独立の（一時的でも可）動線で座席にアクセスできる
- ・スイートについてはホームゲーム開催時には入場可能数の 2%以上が利用可能な席がある
- ・ラウンジについては（スイートと合計して）入場可能数の 5%以上が利用できるエリア・スペースがある
- ・飲食の提供が可能である

【大型映像装置】

- ・映像および文字を高精度で表示でき、すべての観客から視認可能な位置に設置された大型映像設備を常設設備として備えている
- ・常設設備が存在しない場合は仮設により設置する

※仮設の場合は 2026 年以降の利用時に判断する

## 公認プール施設要領 (国内プールA) (主な基準を抜粋)

### 【競泳競技会用プール施設要領】国内プールA

- ・ 本連盟の公認大会、県レベルの大会、予選会等に使用される競技場。
- ・ 大会：全国大会県予選・県大会・全国大会ブロック大会・全国マスターズ・本連盟公認競技会などを開催するプール施設。
- ・ 施設：プール公認規則の国内基準プールに適合し、8レーン以上、レーン幅2.00m～2.50m、水深1.35m以上。

### 【練習施設】

50m 国際プール AA については、50m プールを1か所以上併設、また50m 国際プール A については、50m または25m プールを1か所併設する。50m 国内プール AA、A については50m プールまたは25m プールを併設する。ただし、競技者が容易に使用できる練習施設が近隣にある場合は、これに変えることができる。

### 【観客席】

仮設席を含めて、国際プール AA 15,000 席以上、国際プール A、国内プール AA は2,500 席以上とする。国内プール A は800 席以上、国際プール、国内プールは300 席以上とすることが望ましい。





## 横浜市にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話:045-671-3583 FAX:045-664-0669

